

【江津市56】江津市有福温泉町本明 松下氏宅東 泰雲院殿碑

所在地 江津市有福温泉町本明 松下氏宅東

北緯34°56'15.03" / 東経132°12'13.04"



(調査日2022年9月7日)

「石見潟第七号」では「スス玉前」と表記されていた碑。赤道と思われる細い道があり、高さ約85cmの擁壁の上に立っている。自然石で傷みはないが、かなり前方に傾いている。2段目台石に卒塔婆を立てる溝が細工してあり、古い卒塔婆が立ててあった。以前は定期的な供養をしていたのだろう。

【建立年】慶応元年（1865）
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石右面】慶応元年／乙丑十月廿六日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】

(単位：cm)
 碑石 高さ84/幅35/奥行29
 台石1段目
 高さ19/幅74/奥行107
 台石2段目
 高さ20/幅123/奥行不明



【江津市57】江津市有福温泉町本明 本明山登山口 正明君碑

所在地 江津市有福温泉町本明 本明山登山口交差点

北緯34°56'06.61" / 東経132°12'33.27"



(調査日2022年9月7日)

「石見潟第七号」では「本明宅前」と表記されていた碑。本明山の登山口の交差点の広場にある。台石一段目はブロックで周囲を囲んだ円形という珍しい形。創建は明治29年なのでどこの時点で手入れされたのだろう。すぐそばに令和3年と書かれた卒塔婆が立ててあった。継続的に供養されているのだろう。

【建立年】明治29年（1896）
 【建立者】谷中
 【碑石前面】正明君碑（右に）明治廿九年（左に）十月廿六日（下に）谷中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】

(単位：cm)
 碑石 高さ91/幅36/奥行35
 台石1段目（円形）
 高さ23/直径165
 台石2段目
 高さ10/直径不明（埋没）



【江津市58】江津市有福温泉町本明 千代延氏宅西 **正明碑**

所在地 江津市有福温泉町本明 千代延氏宅西 K50 沿い

北緯34°56'29.05" / 東経132°12'33.32"



(調査日2022年9月7日)

【建立年】明治28年(1895)
 【建立者】不明
 【碑石前面】正明碑
 【碑石右面】明治廿八年十月二十
 六日立之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 「石見潟第七号」では「温泉小
 学校上」と表記されていた碑。
 高さが「上」と解釈して元小学
 校の裏山を探していたところ、
 出会った方から「上(かみ)」で
 はないか。道路沿いで見たよう
 な気がする」と助言をいただ
 き、県道50号沿いの千代延さん
 宅でお尋ねして発見できた。
 台石はあるが埋もれており、
 幅、奥行きを確認できなかつ
 た。



(単位: cm)
 碑石 高さ111/幅55/奥行39
 台石
 高さ38/幅不明/奥行不明

【江津市59】江津市有福温泉町本明 福田八幡宮参道 **井戸君碑**

所在地 江津市有福温泉町本明 福田八幡宮参道右手

北緯34°55'45.52" / 東経132°13'07.35"



(調査日2022年9月7日)

【建立年】明治26年(1893)
 【建立者】福田中
 【碑石前面】井戸君碑
 【碑石左面】明治廿有六年/旧十
 月廿六日/福田中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 金城町境に近い福田八幡宮の
 参道石段の右手に立つ。
 自然石で軟らかそうに見える
 が傷みはなく、文字もはっきり
 読める。
 「石見潟第七号」では「境内」と
 あるが、いつの時点にか参道ま
 で移動したのだろうか。数個の
 石を組み合わせた台石2段目
 は散乱気味である。



(単位: cm)
 碑石 高さ81/幅45/奥行47
 台石1段目
 高さ25/幅100/奥行108
 台石2段目
 高さ40/幅159/奥行213

【江津市60】江津市清見町 K297 沿い 集会所横 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 江津市清見町 K297 沿い 集会所横

北緯35° 02' 21.00" / 東経132° 19' 58.76"



【建立年】平成9年（1997）
 再建
 【建立者】清見連中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八年丑五月廿六日没／井戸正明君／明治廿三年己丑四月／為追慕建之／世話人兼太郎／大下伊作／松本啓太郎／山崎清治／清見連中「碑石左面」平成九年十一月三十日再建
 面／世話人／盆子原武／古川良知
 天野定／大下義賢／山崎紘一
 大下数年／山下嘉憲／岩本芳三
 河上弘／嘉戸憲／寄付者
 大下千枝子／大下マサ子／嘉戸山
 豊／河上俊行／古川政博／山下崎積／山本勝美／大川貢／大崎房美／林保
 フミカ／坂善晴／古川剛／山崎

「調査の経過」
 明治22年の旧碑を、地域住民挙げて平成に再建した碑。
 （調査日2022年7月8日）



(単位: cm)
 碑石 高さ166/幅87/奥行67
 台石1段目 高さ20/幅99/奥行73
 台石2段目 高さ61/幅126/奥行126

【江津市61】江津市井沢町 K297 沿い 浜田屋横 **井戸正□□**

所在地 江津市井沢町 K297 沿い

北緯34° 56' 37.38" / 東経132° 16' 05.46"



【建立年】明治21年（1888）
 再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸正□□
 【碑石右面】享保十有八癸丑曆五月二十六日卒去「碑石左面」千時明治二十一年三月／為追慕建之「碑石後面」井戸正明碑
 井戸正明碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 桜江町の調査に続いて、井沢町と清見町を調査した。桜江町長谷から山越えすると井沢、清見両町は近く、2基の碑は約900mの近距離にある。清見町の墓石型の旧碑は明治22年建立なので、井沢町の碑を参考にし再建したことだろう。
 井沢町の碑は最下段のコンクリートを含め4段の台石があるが、福光石で傷みがかなりあり、正面の「井戸正明碑」の文字もほぼ読めなくなっている。
 （調査日2022年7月8日）



碑石 高さ106/幅37/奥行38
 台石1段目 高さ27/幅57/奥行58
 台石2段目 高さ23/幅78/奥行80
 台石3段目 高さ13/幅97/奥行120
 台石4段目（コンクリート） 高さ12/幅150/奥行150

【江津市62】江津市桜江町川越鹿賀 春日神社本殿左 **井戸神社**

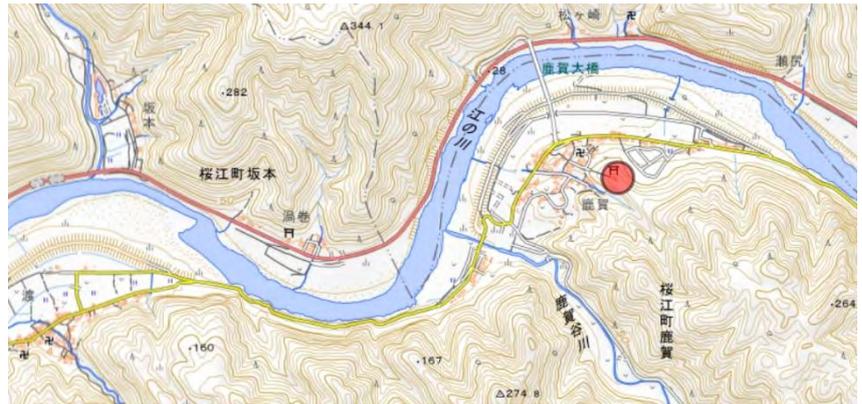
所在地 江津市桜江町川越鹿賀 春日神社本殿左

北緯34° 57' 41.41" / 東経132° 26' 50.41"



(調査日2020年9月14日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【祠】文字なし
 【調査の経過】
 桜江町の井戸公碑は「次世代への贈りもの 桜江の碑と野の仏」(桜江碑を探る会・平成16年)(以下「野の仏」と表記)に詳しく紹介されている。
 春日神社の井戸神社も「当時の神官等が大森の井戸神社に参宮勧請され明治27年に建立された。鹿賀の氏は芋殿様として敬い、毎年12月9日ごろ薩摩芋などをお供えして感謝の伝統を守り続けている」と紹介されている。



(単位：cm)

祠 高さ320/幅208/奥行316

【江津市63】江津市桜江町川越 元渡踏切西 **井戸正明碑**

所在地 江津市桜江町川越 元渡踏切西

北緯34° 57' 27.77" / 東経132° 25' 44.15"



(調査日2020年9月14日)

【建立年】不明
 【建立者】當村中
 【碑石前面】井戸正明碑
 【碑石右面】享保十八癸丑年五月廿六日「二段目台石前面」當村中「同右面」世話人/楸元十/中原丈四郎/石橋為治/野坂英三郎/中島菊四郎/石工/甚四郎
 【調査の経過】
 「野の仏」によると、以前は現在地より150mほど鹿賀寄りに立っていたが、三江線敷設によってここに移転されたという。碑石は傷みがあつて前面の「井戸正明碑」が読みにくくなっているものの、発起人の名前などははっきり読める。



碑石 高さ98/幅32/奥行32
 台石1段目 高さ22/幅51/奥行52
 台石2段目 高さ24/幅70/奥行70
 台石3段目 高さ18/幅93/奥行94

【江津市64】江津市桜江町川越坂本 原田氏宅後 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 江津市桜江町川越坂本 原田氏宅後 共同墓地

北緯34°57'42.84" / 東経132°25'41.71"



(単位：cm)
 碑石 高さ130/幅82/奥行38
 台石 高さ15/幅95/奥行103

【建立年】安政4年(1857)
 【建立者】坂本・渦巻中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士(下に)坂本/渦巻/中
 【碑石右面】享保十八癸丑五月廿六日/井戸平左衛門正朋
 【碑石左面】安政四年/立之
 【台石】文字なし
 【調査の経過】
 国道261号近くの原田氏宅裏の共同墓地の手前に、高さ約80cmの広い石の台があり、その上に地蔵、無縁墓などとともに立つ。
 自然石の碑はかなり堅いようで、前面の碑銘ははっきり読めるが、左右面の文字は彫りが浅く読みにくい。左面にはほかの文字もあるようだが読めない。すぐそばに「坂本口川船改番所跡」の解説板もある。
 (調査日2020年9月14日)



【江津市65】江津市桜江町川越大貫 興盛寺 (梵)泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市桜江町川越大貫 興盛寺 本堂左手

北緯34°57'06.43" / 東経132°24'10.10"



(単位：cm)
 碑石 高さ112/幅39/奥行33
 台石 高さ25/幅106/奥行76

【建立年】不明
 【建立者】(8人の名あり)
 【碑石前面】(梵)泰雲院殿義岳良忠居士「碑石右面」享保十八癸丑年五月二十六日「碑石左面」井戸平左衛門尉正明
 【台石後面】……/松屋才吉/トクソ原勘三郎/竹屋森平/森脇澤吉/竹添菊治/岡田屋栄蔵/山本屋延右エ門/馬場尻良平
 【調査の経過】
 国道261号沿いの興盛寺の本堂の左手に、無縁墓、五輪塔が並ぶ場所があり、その中央に立つ。碑石は福光石と思われ、少し傷みがあり、苔も生えているが、碑銘のほか文字は読める。
 (調査日2022年9月14日)



【江津市66】江津市桜江町川越田津 正泉寺 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市桜江町川越田津 正泉寺 鐘楼横

北緯34° 57' 02.36" / 東経132° 23' 41.28"



碑石 高さ95/幅34/奥行34
 台石1段目
 高さ21/幅52/奥行51
 台石2段目
 高さ26/幅68/奥行68
 台石3段目
 高さ33/幅89/奥行89
 台石4段目
 高さ13/幅120/奥行122

【建立年】明治39年(1906)
 【建立者】田津中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑五月二十六日於備中国笠岡没/代官井戸平左衛門正朋事
 【碑石左面】明治三十九年十一月建之/發起主大世話人/坂根長蔵/世話方/平田只一/坂根常一/坂根長太郎/小松安一/坂田□二郎/坂根光次郎/□田友太郎/森山春次郎/月森貞次郎
 【二段目台石前面】川越村大字田津中
 【その他】文字なし
 【調査の経過】
 「野の仏」には載っていないが令和2年度の照会調査で、ご住職と江津市教委から知らせていただいた。
 碑石の傷みは少ない。
 (調査日2022年9月14日)



【江津市67】江津市桜江町谷住郷日浦 R261 沿い 不明

所在地 江津市桜江町谷住郷日浦 R261 沿い バス停近く

北緯34° 58' 30.47" / 東経132° 18' 52.48"



(単位: cm)
 碑石 高さ77/幅26/奥行21
 台石1段目
 高さ18/幅40/奥行40
 台石2段目
 高さ20/幅56/奥行56

【建立年】万延2年(1861)
 【建立者】鍋倉・日裏中
 【碑石前面】不明(剥落して読めず)
 【碑石左面】維時万延二庚酉三月上旬
 【一段目台石前面】世話人/円蔵/施主/鍋倉中/日裏中
 【調査の経過】
 令和3年、道路工事に伴って約150m以西から地蔵、灯籠と一緒に移転し、花立てなどが新設された。移転前も国道沿いだつたものの山影だったが、新天地は整地された広い場所である。移転した。とあるので、今回2度目の移転となる。碑石に小さな亀裂など傷みはあるが、2回の移転によく耐えている。
 (調査日2022年6月16日)



【江津市68】江津市桜江町谷住郷 天神郷集会所横 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 江津市桜江町谷住郷 天神郷集会所横

北緯34° 58' 00. 21" / 東経132° 20' 15. 12"



【建立年】平成12年(2000) 再建
 【建立者】住江組・谷組・入野組
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士(右に)享保十八癸丑年(左に)五月二十六日
 【碑石右面(碑文)】「碑石左面」當御料所御代官/井戸平左衛門正明
 【碑石後面】修復再建/平成十二年庚辰年三月吉日 「三段目台石前面」施主/住江組/谷組/入野組
 【調査の経過】地域から国道261号に出る県道の拡幅工事の際に御影石で再建された。新碑は5段目台石を石組にしてかさ上げし、旧碑より68センチも高い総高さ315センチもある、見上げるほどの碑だ。碑に彫った文字は旧碑と同じ内容とし、施主名も旧碑と同じ「住江組/谷組/入野組」として先人に敬意をはらった。
 (調査日2020年9月14日)



【碑石右面碑文】
 報恩供養修之讚/泰岳慈雲蓋
 銀山 濟民 諸芋 絶比倫 至仁
 身殺救飢餓 每歲向秋懷此人
 /日笠十五世實勇撰

碑石 高さ128/幅34/奥行31
 台石1段目 高さ22/幅56/奥行56
 台石2段目 高さ26/幅77/奥行77
 台石3段目 高さ31/幅97/奥行97
 台石4段目 高さ35/幅123/奥行123
 台石5段目(石組) 高さ70/幅201/奥行196

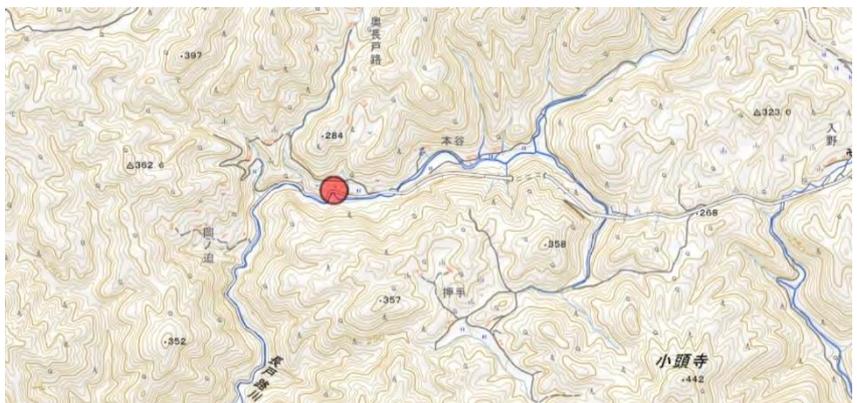
【江津市69】江津市桜江町谷住郷 長戸路集会所西 為泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市桜江町谷住郷 長戸路集会所西

北緯34° 59' 44. 03" / 東経132° 21' 28. 90"



【建立年】明治5年(1872)
 【建立者】當村連中
 【碑石前面】為泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】明治五年申年「碑石左面」大森先/梵 井戸平左衛門正明 叟「碑石後面」享保十八辛丑年/五月廿六日
 【二段目台石左面】大願主 當村/戸長/河野吉三郎/河野長一郎/石田久五郎/石田吉治良/石田健治良/安本只三郎/連中/副戸長/朝原清四郎
 【調査の経過】長戸路には現在住んでいる人はいないといひ、以前ここに住んでいた方に電話でお尋ねした。集会所西の道路わきの岩山の上に地藏堂があり、その裏手に碑が立つ。写真は道路から見た左面。前面は隠れたようになっている。傷みはあるが文字は読める。
 (調査日2022年6月26日)



碑石 高さ80/幅31/奥行24
 台石1段目 高さ25/幅52/奥行50
 台石2段目 高さ24/幅55/奥行54
 台石3段目 高さ12/幅74/奥行76
 台石4段目 高さ12/幅83/奥行86
 台石5段目(石組) 高さ13/幅114/奥行86

【江津市70】江津市桜江町川戸 薬王寺 泰雲院殿義岳□□大居士

所在地 江津市桜江町川戸 薬王寺境内

北緯34° 57' 30.69" / 東経132° 20' 11.47"



碑石 高さ67/幅36/奥行30
 台石 1段目
 高さ15/幅41/奥行37
 台石 2段目
 高さ22/幅60/奥行50
 台石 3段目
 高さ18/幅75/奥行58
 台石 4段目
 高さ61/幅103/奥行91

【建立年】 文政10年（1827）
 【建立者】 當村中
 【碑石前面】 泰雲院殿義岳□□大居士
 【碑石右面】 享保十八癸丑年五月二十六日 / 井戸平左衛門尉正明墓「碑石左面」 文政十亥年 / 六月吉日 / 當山六世新添 / 施主當村中
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】 江津市桜江支所のすぐ近くにある薬王寺。その駐車場の奥に碑がある。舗装面で碑もきれいにしているので新しく見えてるが傷みはあり、碑石前面の碑銘も一部剥離していて完全には読めない。ご住職によると場所は2度移動し、縮小しているという。
 （調査日2022年7月8日）



【江津市71】江津市桜江町小田 新旧道交差点 井戸明君碑

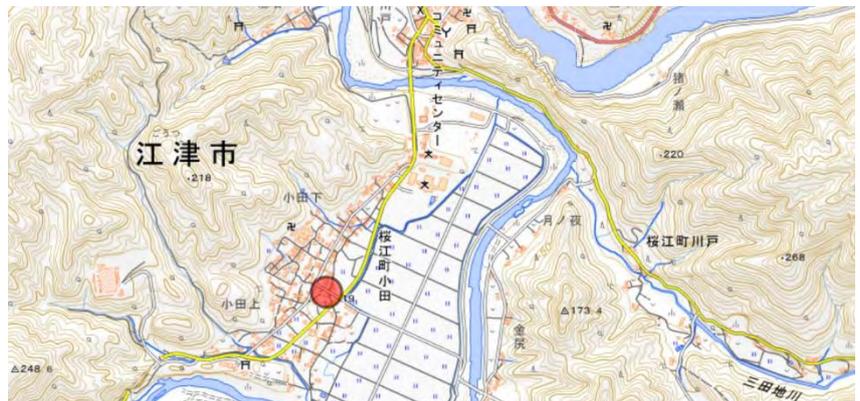
所在地 江津市桜江町小田 K41 から西へ50m

北緯34° 56' 53.85" / 東経132° 19' 50.65"



(単位：cm)
 碑石 高さ133/幅100/奥行78
 台石 (コンクリート)
 高さ20/幅116/奥行93

【建立年】 明治24年（1891）
 【建立者】 (世話人名あり)
 【碑石前面】 井戸明君碑 (右に) 明治廿四年 (左に) 十月廿六日 / 世話人左木□ / 若……
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】 県道41号沿いの小田宮農組合の角を西へ曲がって50m行くと道路沿いに立っている。黒っぽい堅そうな自然石で、文字の彫りが浅く読みにくい。石の形をそのまま生かしているのが井戸明君碑の文字も飛び飛びに彫つてある。
 標高は県道とほとんど変わらないが、2020年の水害でも、県道東側の田は冠水したが、西側のこの碑は無事だったと、地元の方が話していた。
 （調査日2022年7月8日）



【江津市72】江津市桜江町今田 田淵氏宅横 旧会場跡 **井戸明君碑**

所在地 江津市桜江町今田 田淵氏宅横道路沿い 旧会場跡

北緯34°56'30.01" / 東経132°20'00.54"



碑石 高さ152/幅50/奥行32
 台石1段目
 高さ33/幅93/奥行66
 台石2段目
 高さ7/幅111/奥行75
 台石3段目
 高さ17/幅148/奥行115

(調査日2022年6月26日)

【建立年】明治24年(1891)
 【建立者】今田中
 【碑石前面】井戸明君碑
 【碑石右面】明治廿四年十月廿六日
 【二段目台石前面】今田中/世話人/湯浅幸太郎/森下友太郎/湯浅初太郎/渡辺竹五郎
 【調査の経過】道路沿いに一段高くなった広場があり「野の仏」には「旧会場敷地」とある。その広場の、道路に近い場所に立っており、堅そうなすらりとした自然石。痛みはない。



【江津市73】江津市桜江町市山 市山八幡宮参道 **井戸明君之碑**

所在地 江津市桜江町市山 市山八幡宮参道左側

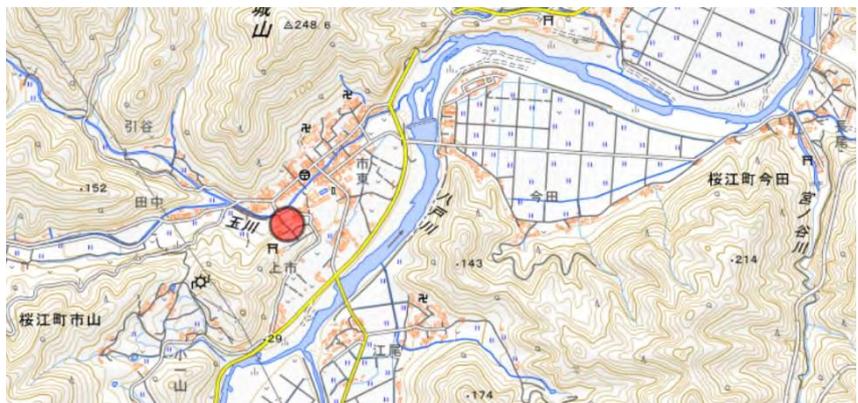
北緯34°56'21.59" / 東経132°19'02.62"



碑石 高さ122/幅34/奥行34
 台石1段目
 高さ23/幅55/奥行55
 台石2段目
 高さ24/幅75/奥行76
 台石3段目
 高さ26/幅100/奥行100
 台石4段目
 高さ24/幅126/奥行125

(調査日2022年6月26日)

【建立年】文久2年(1862)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】井戸明君之碑
 【碑石右面】文久二年歳次壬戌
 【碑石左面】十月祥辰建立之
 【二段目台石前面】當村中
 【調査の経過】参道の途中にある石の鳥居の下に左側に立つ。台石を4段積んだ総高さ219センチの堂々たる碑が参道石段を上がる参詣者を出迎える。福光石と思われる墓石型の碑だが、目立った傷みはないようだ。



【江津市74】江津市桜江町市山江尾 松野氏宅横 **井戸明君之碑**

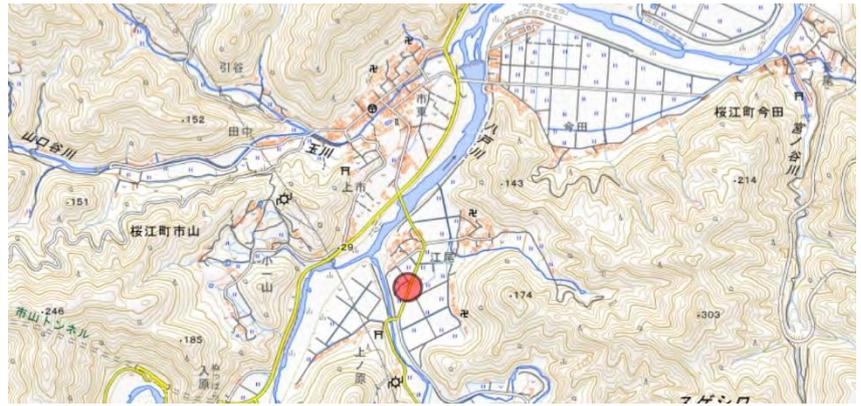
所在地 江津市桜江町市山江尾 松野氏宅横

北緯34°56'03.52" / 東経132°19'10.72"



(調査日2022年6月26日)

【建立年】明治10年(1877)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】井戸明君之碑
 【碑石右面】明治十年/丁亥七月日/区長/渡辺竹五郎/佐々木初吉「碑石左面」當村中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 松野氏宅のブロック塀に接する形で高さ約60センチの広い台石を造り、耕地整備記念碑と井戸公碑の2基が並んで立っている。自然石だが5角形に整形され、表面もほぼ平らにしてある。硬そうな石で、碑文などの文字の彫りが浅く読みにくい。傷みはないようだ。



(単位: cm)

碑石 高さ137/幅60/奥行41

【江津市75】江津市桜江町後山 集落センター横 **泰雲院殿義岳良忠居士**

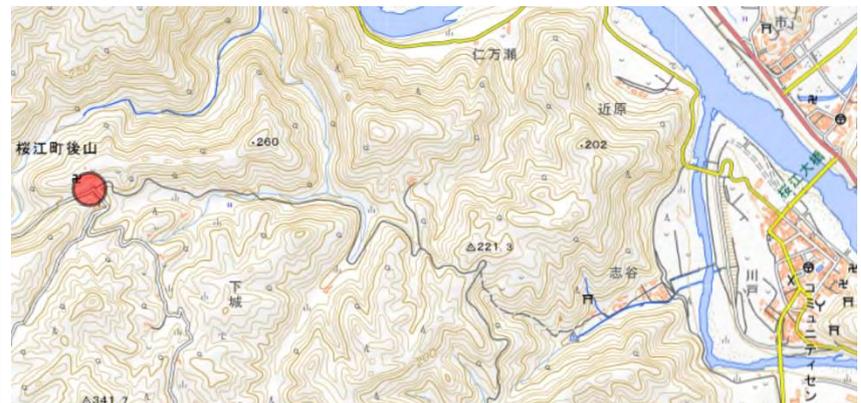
所在地 江津市桜江町後山 集落センター横

北緯34°57'39.65" / 東経132°18'28.85"



(調査日2022年6月16日)

【建立年】文久3年(1863)
 【建立者】當邑中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】大森前御代官/享保十八年/癸丑五月二十六日/井戸平左衛門正明「碑石左面」干時文久三年/癸亥七月七日建之「二段目台石前面」當邑中/世話人/百姓/仁三郎/同/岩太/庄屋今田助右衛門/組頭/伊右衛門/同/勇右衛門後山
 【調査の経過】
 後山集落センター横の道路沿い高手に地藏堂と並んで立つ。前には1対の石灯籠がある。構造、碑文などていねいな造りだが、苔や草がかなり多い。福光石と思われるが傷みは少なく文字は読めた。



碑石 高さ94/幅31/奥行31
 台石1段目
 高さ20/幅53/奥行53
 台石2段目
 高さ23/幅73/奥行73
 台石3段目
 高さ9/幅94/奥行100

【江津市76】江津市桜江町長谷 長谷西（松ヶ下右） **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 江津市桜江町長谷 長谷西（松ヶ下右）

北緯34°56'15.32" / 東経132°16'35.74"



碑石 高さ51/幅23/奥行23
 台石1段目
 高さ14/幅35/奥行35
 台石2段目
 高さ12/幅45/奥行45
 台石3段目（石組）
 高さ108/幅147/奥行不明

〔建立年〕明治19年（1886）
 〔建立者〕長谷村・徳治組
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕明治十九年戊戌三月立造「碑石左面」……世話人／長谷村 湯浅万吉／徳治組
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 井沢峠から東に入り、山道を進むと、次第に車では進みにくくなり、道路右手の家で情報を聞いた。前の道路に車を止めて約300メートル歩くと左側に住居跡が現れ、その奥の一段高い場所に立っている。石を4段も積んだ3段目の台石が1メートル以上あり、碑石は51センチと小ぶりだが、全体では185センチになる。石質は福光石で、かなり傷みが進んでおり、文字がやっと読めた。
 （調査日2022年7月8日）



【江津市77】江津市桜江町長谷 長谷東（横手上） **泰雲院殿**

所在地 江津市桜江町長谷 長谷東（横手上）道路沿い

北緯34°55'36.64" / 東経132°16'37.74"



（単位：cm）
 碑石 高さ114/幅73/奥行30

〔建立年〕明治43年（1910）
 〔建立者〕長谷中
 〔碑石前面〕泰雲院殿
 〔そのほか〕文字なし
 〔隣接の石柱〕明治四十三年八月日建／長谷中／発起人 山下
 〔調査の経過〕
 長谷西の旧道の家が途切れたあたりの道路沿いの高手に、地藏と並んで立つ。台石がない碑で、碑石そのものには碑銘しか彫ってない。隣に石柱があり、そこに建立年、建立者の情報があるので、これを石碑の情報として採用した。
 （調査日2022年6月16日）



【江津市78】江津市桜江町長谷 山中郷 迫田屋上 **井戸正明碑**

所在地 江津市桜江町長谷山中郷 迫田屋上

北緯34° 55' 19.72" / 東経132° 15' 40.77"



(調査日2022年6月16日)

【建立年】明治20年(1887)
 【建立者】山中上組
 【碑石前面】井戸正明碑
 【そのほか】文字確認できず
 【調査の経過】
 建立年、建立者情報は「野の仏」による。
 現地は碑のすぐ後ろが墓地になっていて、境界に植栽された生け垣の木が生長していて、碑石の左右面、後面の文字が確認できなかった。
 「野の仏」によるとこの場所は「旧川戸・市山・長谷・山中・追原・三又温泉に通じる往還道で、巡検の道でもあった」という。



(単位: cm)
 碑石 高さ163/幅102/奥行23
 台石1段目
 高さ17/幅280/奥行不明
 台石2段目
 高さ45/幅350/奥行不明

【江津市79】江津市桜江町長谷 山中東 峠屋前 **井戸君碑**

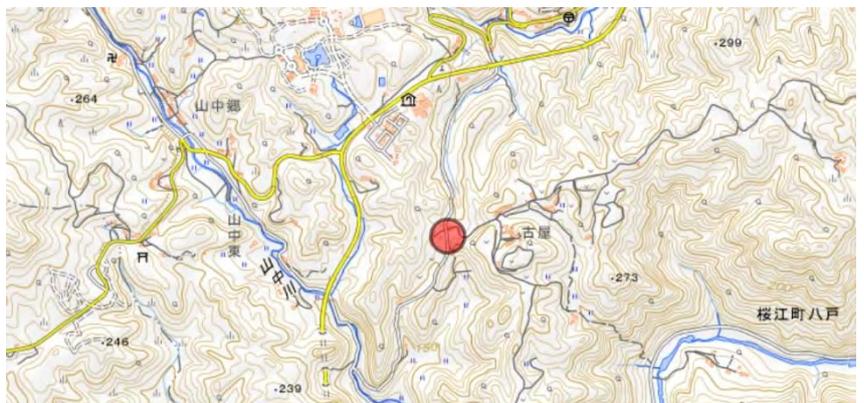
所在地 江津市桜江町長谷 山中東 峠屋前

北緯34° 55' 04.31" / 東経132° 16' 16.91"



(調査日2022年6月16日)

【建立年】明治20年(1887)
 【建立者】山中村下組・八戸内田尻組
 【碑石前面】井戸君碑
 【碑石後面】石工日貫村右森藤太郎/明治廿年八月吉日/山中村下組/寄付人廿名/八戸内田尻組/寄付人八名
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 峠に近い道路の法面を削って4段の台石を積んでいる。下に行くほど広い台石となり、法面の擁壁の役割も果たしている。碑は自然石で傷みはなく、創建時の姿そのままに立っている。



碑石 高さ124/幅88/奥行55
 台石1段目
 高さ44/幅150/奥行不明
 台石2段目
 高さ37/幅245/奥行不明
 台石3段目
 高さ70/幅400/奥行不明

【江津市80】江津市桜江町長谷勝地 松納屋横 **泰雲院碑**

所在地 江津市桜江町長谷勝地 松納屋横 交差点広場沿い

北緯34°54'28.21" / 東経132°16'11.52"



(単位：cm)
 碑石 高さ82/幅68/奥行80
 台石 高さ10/幅62/奥行60

(調査日2022年6月16日)

【建立年】明治35年(1902)
 【建立者】勝地組中
 【碑石前面】泰雲院碑
 【碑石右面】勝地組中
 【碑石左面】明治三十五年八月吉日建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道329号から下って勝地に入ると川の近くが変形の交差点で、交差点が広場になっている。資源ゴミステーションがあるほか、川畔には家古屋川竣工記念碑も立っている。
 碑石は自然石で、ソラマメを思わせる形で、少し艶もある。法面を加工して石を積んで場所を造り、この碑だけが立っている。



【江津市81】江津市桜江町八戸 集会所 **井戸君追慕碑**

所在地 江津市桜江町八戸 集会所

北緯34°55'02.43" / 東経132°17'31.14"



(単位：cm)
 碑石 高さ113/幅52/奥行36
 台石1段目 高さ30/幅86/奥行51
 台石2段目(コンクリート) 高さ62/幅174/奥行121

(調査日2022年6月16日)

【建立年】明治41年(1908)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸君追慕碑
 【碑石左面】明治四十一年八月建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 八戸集会所の前庭、道路側に立つ。横に倉庫があるので、東側から行くと石碑を見つげずに通り過ぎてしまう。
 碑石は細い卵形の自然石で傷みもなく、手入れが行き届いていて、台石まで苔も全くない。二段目の台石はコンクリートで外側から石がはめ込んである。



【浜田市01】 浜田市下有福町 K50 沿い 泰雲院殿碑

所在地 浜田市下有福町 K50 沿い

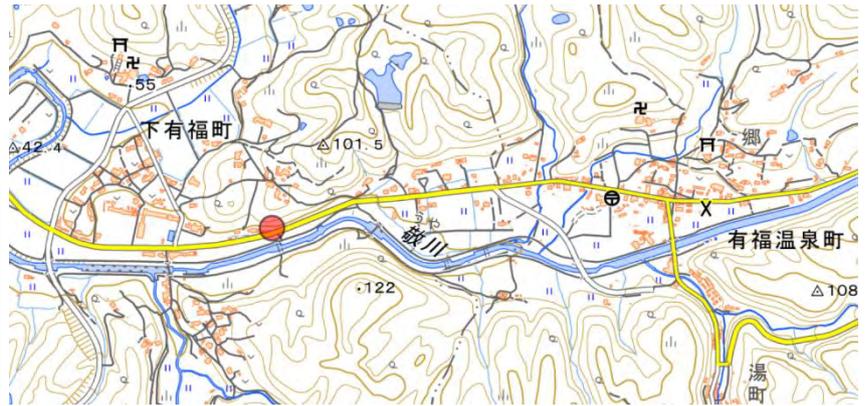
北緯 34° 56' 42.95" / 東経 132° 11' 18.34"



(調査日 2022年 8月 26日)

〔調査の経過〕
 県道50号を西から進むと、江津市有福温泉町に入る少し手前、直線道路左手の民家の奥に立つ。隣に民家の墓地がある。墓石型だが傷みも苔も見られず、文字も読める。黄色の野菊が供えてあった。

【建立年】 文久2年 (1862)
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 泰雲院殿碑
 【碑石右面】 享保十八丑歳五月廿六日 / 井戸平左衛門正明
 【碑石左面】 文久二壬戌年 / 十月 建之



(単位: cm)
 碑石 高さ100/幅34/奥行33
 台石 1段目
 高さ23/幅67/奥行53
 台石 2段目
 高さ21/幅73/奥行67

【浜田市02】 浜田市大金町 大年神社前・姉金公民館横 井戸君之碑

所在地 浜田市大金町 大年神社・姉金公民館横

北緯 34° 55' 45.54" / 東経 132° 10' 51.91"



(調査日 2021年 11月 18日)

〔調査の経過〕
 令和2年度の照会調査で下有福町の光現寺のご住職から情報をいただいたもの。以前は少し北側にあったこの碑と忠魂碑を、昭和28年ごろに現在地に移したという。堅そうな自然石。碑の前に置いてある小さな丸い石は芋を供えている形といい、松江市などほかにも数か所見られるもの。

【建立年】 安政6年 (1859)
 【建立者】 當村中
 【碑石前面】 井戸君之碑 (左に) 當村中
 【碑石右面】 安政六己未年十月廿六日 / 庄屋上有福住 / 千代延治郎右エ門 / 組双 則暢 / 新一郎



(単位: cm)
 碑石 高さ118/幅65/奥行45

【浜田市03】 浜田市大金町 K50 交差点 **泰雲院**

所在地 浜田市大金町 K50 交差点

北緯 34° 56' 49.01" / 東経 132° 10' 48.21"

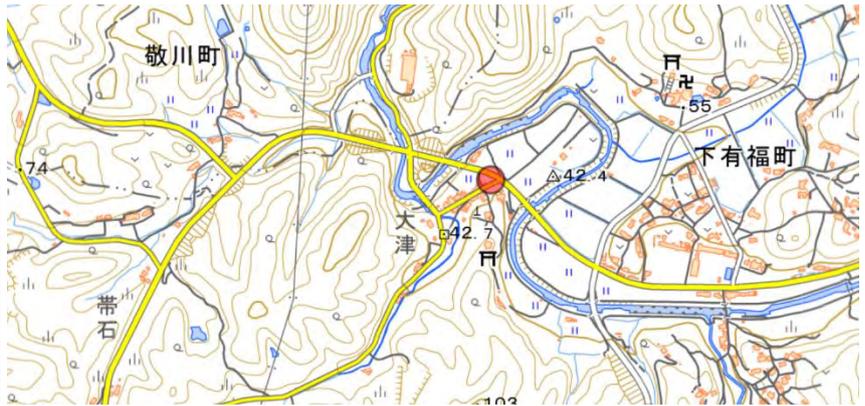


碑石 高さ141/幅73/奥行25
 台石 1段目
 高さ26/幅120/奥行81
 台石 2段目
 高さ18/幅137/奥行115
 台石 3段目
 高さ37/幅185/奥行153

(調査日 2021年 11月 18日)

〔調査の経過〕
 県道50号の三差路の角の一段高い場所に、地藏堂と並んで立つ。道路との境にはガードパイプもある。
 碑は白っぽい自然石で大きめのゆったりした台石が3段積んである悠然とした碑。碑石も周囲もとてもきれいだ。彫ってある文字も大きいので読みやすい。
 碑の前の花立てには色とりどりの野菊などが供えてあった。

【建立年】 大正3年 (1914)
 【建立者】 大津中
 【碑石前面】 泰雲院
 【碑石後面】 大正三年十月建之 / 大津中
 【そのほか】 文字なし



【浜田市04】 浜田市宇野町 市道三差路 **泰雲院**

所在地 浜田市宇野町 市道三差路

北緯 34° 55' 34.12" / 東経 132° 09' 26.22"



(単位: cm)
 碑石 高さ121/幅103/奥行64
 台石 1段目
 高さ24/幅150/奥行95
 台石 2段目 (コンクリート)
 高さ46/幅209/奥行133

(調査日 2021年 11月 18日)

〔調査の経過〕
 令和2年度の照会調査で宇野町の順興寺のご住職から情報をいただいたもの。
 平成22年度、砂防ダム工事に伴って近くからこの場所に移転、再建された。市道三差路の広場に石を埋め込んだコンクリートで台石を造って、地藏と並んで立つ。彫られた文字には墨が入れられ、つい最近できたもののようにきれいだ。

【建立年】 平成22年 (2010) 再建
 【建立者】 宇野町再建委員会
 【碑石前面】 泰雲院
 【碑石右面】 なし
 【碑石後面】 平成二十二年一月吉日 / 宇野町再建委員会
 【そのほか】 文字なし



【浜田市05】浜田市宇野町 河野氏宅横 **井戸平左衛門正明顕彰碑**

所在地 浜田市宇野町 河野氏宅横 道路沿い

北緯34° 55' 37.73" / 東経132° 09' 29.93"



【建立年】平成21年（2009）
 【建立者】河野氏
 【碑石前面】石見代官 井戸平左衛門正明／顕彰碑
 【碑石後面】平成十九年島根県が計画実施した日の女塔砂防工事に依り 大正初期祖父河野丈吉が建立せし石碑の位置移設となる 従って祖父の遺志を継承 後世に伝えるべく再建す／平成二十一年晩秋
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】宇野町の碑（No.04）を調査した際に、遠目に白っぽい碑が見えたので行ったところ井戸公碑だった。No.04の碑から直線距離で約140mの距離。碑は白御影石を磨いたもので、最近新設したようにきれい。（調査日2021年11月18日）



(単位：cm)
 碑石 高さ120/幅60/奥行25
 台石1段目 高さ32/幅90/奥行60
 台石2段目 高さ35/幅121/奥行143

【浜田市06】浜田市久代町荒相 太子堂前 **井戸平左エ門正朋塚**

所在地 浜田市久代町荒相 太子堂前

北緯34° 56' 22.91" / 東経132° 09' 01.39"



【建立年】天保3年（1832）
 【建立者】荒和村
 【碑石前面】井戸平左エ門正朋塚（右に）享保十八癸丑（左に）五月二十六日
 【碑石右面】天保三辰四月
 【碑石左面】荒和村小三郎／重次郎／上口
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】近くの方に案内していただいた。旧浜田市で最も古い碑で、碑石は高さ40cmと小ぶりだ。福光石と見える碑石に傷みがほとんどなく、文字もはっきり読めて、最近建立のようにも見える。碑は岩盤を削って場所を作って建ててあり、上部が覆いかぶさる形になって、これが屋根の役割を果たし、傷みが少ないのだろう。（調査日2021年11月18日）



(単位：cm)
 碑石 高さ40/幅19/奥行19
 台石 高さ14/幅30/奥行30

【浜田市07】 浜田市久代町 浄土寺 泰雲院殿義岳良忠大居士

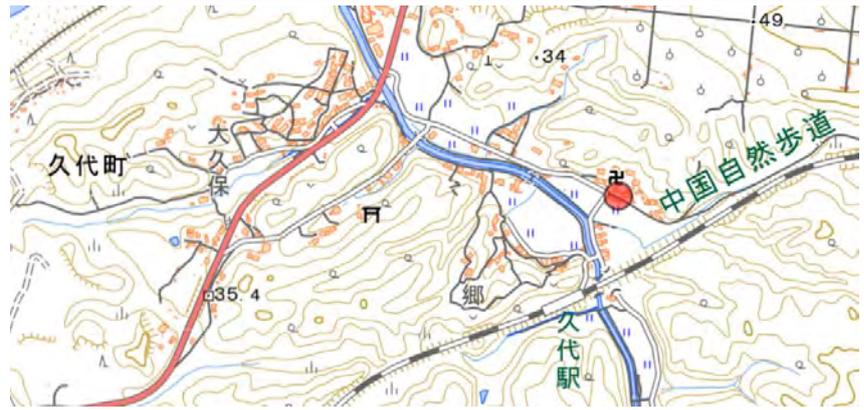
所在地 浜田市久代町 浄土寺

北緯34° 57' 05.39" / 東経132° 08' 24.74"



碑石 高さ111/幅96/奥行49
 台石1段目 高さ26/幅141/奥行94
 台石2段目 高さ29/幅162/奥行133
 台石3段目 高さ31/幅182/奥行184

【建立年】平成5年（1993）
 再建
 【建立者】久代自治会
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石後面】この碑は享保十七年（西暦一七三二）の大飢饉の際大森代官井戸平左衛門が薩摩の国からサツマイモの種を取り寄せ栽培させ、また年貢の免除を行ない、餓死者を出さなかつたことを通称芋代官さまと讃えて、この地に建立されていたものを一九九三年一月吉日再興した。久代自治会
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】久代町に近い浄土寺に再建された。卒塔婆が何本もあり、毎年供養をされているようだ。
 （調査日2021年11月18日）



【浜田市08】 浜田市国分町 国分寺跡入口 泰雲院殿

所在地 浜田市国分町 国分寺跡入口

北緯34° 56' 41.35" / 東経132° 07' 20.58"



(単位：cm)
 碑石 高さ187/幅71/奥行59
 台石1段目 高さ34/幅81/奥行97
 台石2段目 高さ21/幅150/奥行150

【建立年】安政6年（1859）
 【建立者】国分村
 【碑石前面】泰雲院殿
 【碑石右面】安政六末年三月建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】元は金蔵寺近くの往還道にあつたが、平成元年に国分寺跡入口に移転された。道路沿いの1段高手に、玉垣で囲んだ慰霊碑と並んで、ブロックで囲まれたこの碑があり、国分寺への誘導ゾーンを形成する。
 碑石は目の粗い大きな自然石で、碑銘を入れる場所は四角く囲んで磨いてある。
 碑の横に、移転した井戸公遺徳顕彰会が黒御影石の解説板を建てている（説明文次葉）。
 （調査日2021年11月18日）



井戸公頌徳碑の由来

井戸平左衛門正明公は、享保十七年(一七三二)当地方を襲った享保の大飢饉の時、石見銀山領の代官であった。公は飢餓の迫った領民を救うため、幕府の許可を待たずに甘藷の種芋を置いて、食料を分け与えるとともに、年貢の取立てを免じさらに甘藷の種芋を取り寄せて、作付けるように命じ、領内に一人の餓死者も出さないように心血を注がれた。公は、翌享保十八年五月二十六日、備後の国笠岡で逝去された。行年六十二歳、墓は笠岡市で威徳寺にあり、戒名は泰雲院殿義岳良忠居士である。井戸公の取り寄せた甘藷は、年と共に石見一円に拡がり、その後の大飢饉にも、多くの人々の命を救う重要な食料となった。人々は公を「芋代官」と追慕し、村毎に頌徳碑を建てて、その遺徳を偲び、感謝と報恩の標とした。この碑は、安政六年(一八五九)三月、国分村の人々により、御堂山の旧山陰道沿いに建てられたが、年代の推移とともに、その地は荒廃に帰し、存置するに忍びない状態となったので、平成元年八月現在地に移転した。歳月は、その昔石見地方に繰り広げられ、多数の餓死者を出した悲惨な事実と、感動的な出来事を忘却させようとしている。私たちは、先人の遺徳を顕彰し、いつまでも石見の歴史として継承したいと思う。

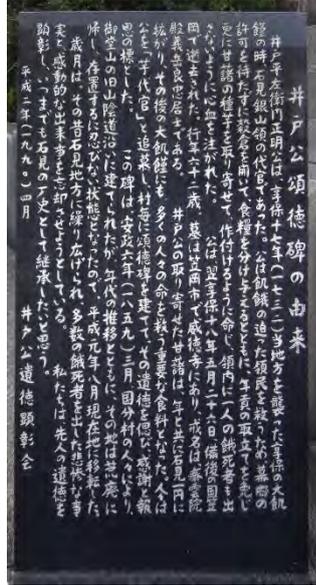
平成二年(一九九〇)四月

井戸公遺徳顕彰会

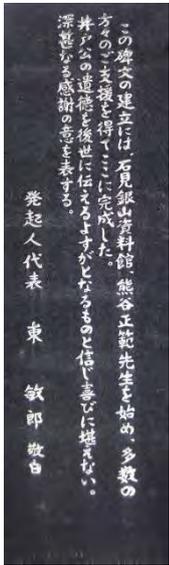
(裏面)
この碑文の建立には、石見銀山資料館、熊谷正範先生を始め、多数の方々のご支援を得てここに完成した。
井戸公の遺徳を後世に伝えるよすがとなるものと信じ喜びに堪えない。深甚なる感謝の意を表す。

発起人代表

東 敏郎 敬白



解説板の表面(右)と裏面(左)



発起人代表 東 敏郎 敬白

所在地 浜田市国分町唐鐘 忠魂碑横

北緯34° 56' 30.38" / 東経132° 06' 46.32"



碑石 高さ115/幅69/奥行52
台石1段目
高さ25/幅142/奥行128
台石2段目
高さ22/幅 共通/奥行 共通
台石3段目(石組)
高さ45/幅 共通/奥行 共通

(調査日2022年5月27日)

【建立年】明治42年(1909)
【建立者】唐鐘區中
【碑石前面】泰雲院殿
【碑石右面】明治四十二年十一月建之
【そのほか】文字なし
〔調査の経過〕
唐鐘地区の町並みの外れの道路沿いに階段を4段上がる場所を造り、忠魂碑と並んで立つ。3段の台石は両碑共通のもので、忠魂碑の台石1段目の前面に「唐鐘區中」と彫られているので、井戸公碑も唐鐘區中とした。井戸公碑の前の地面には井戸公の家紋である「違い鷹の羽」を焼き込んだ円形の赤い石州瓦が埋め込んであり、興味深い。



【浜田市10】 浜田市国分町 唐鐘公民館（安楽寺）横 **不明**

所在地 浜田市国分町 唐鐘公民館（安楽寺）横

北緯34° 56' 30.66" / 東経132° 06' 36.55"



(調査日2022年5月27日)

〔調査の経過〕
唐鐘地区に2基あり、どちらも地区の北側の同じ道路沿いにある。直線で約250mの近さだ。No.09は自然石で傷みはないが、こちらは墓石型で剥落がかなり進んでおり、何の碑かわからないといつてもいいほど。井戸公が亡くなった日付けの一部がやつと読めるので、井戸公碑と分かる。台石の1段目がコンクリートで、2段目が自然石。ここには20個以上の盃状穴がある。

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】………
【碑石右面】享保十……… / 五月………

(単位: cm)
碑石 高さ100/幅40/奥行34
台石1段目
高さ12/幅60/奥行51
台石2段目
高さ26/幅90/奥行84



【浜田市11】 浜田市下府町 光明寺 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 浜田市下府町 光明寺 境内

北緯34° 55' 43.84" / 東経132° 06' 38.62"



(調査日2021年11月18日)

〔調査の経過〕
御影石ではないようだが碑石はしっかりしており、世話人の名前もはっきり読める。台石の花立てだけでなく、碑の前にも小さなプランターの花を供えているなど、大切にされているのがわかる。

【建立年】昭和11年(1936) 再建
【建立者】下府村中
【碑石前面】南無大師遍照金剛 / 泰雲院殿義岳良忠居士
【碑石右面】紀元二千五百九十六年
【碑石左面】昭和十一年三月再建
【一段目台石前面】下府村中 / 同左面 / 世話人 / 大辻 / 森ヶ下 / 池ノ畑 / 蜜柑屋 / 玉屋 / 仲屋 / 本屋 / 新枝屋 / 先前 / 半場 / 下宮風呂 / 中新井屋 / 竹田屋 / 山根屋 / 川崎 / 才新井屋 / 吉野屋 / 大下 / 中村屋 / 下川崎

碑石 高さ112/幅42/奥行42
台石1段目
高さ31/幅67/奥行67
台石2段目
高さ34/幅109/奥行110
台石3段目(石組)
高さ22/幅135/奥行160



【浜田市12】 浜田市上府町 三宅墓地 泰雲院義岳良忠大居士

所在地 浜田市上府町 三宅墓地入口

北緯34° 55' 25.63" / 東経132° 07' 43.87"



(調査日2021年11月18日)
(写真2011年6月24日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】泰雲院義岳良忠大居士
【そのほか】文字なし
〔調査の経過〕
多く墓がある三宅墓地の入口に立つ。台石を含め大ぶりの碑だ。自然石に見えるが、よく見ると碑石の前面と左右面はセメントで補修してあり、その上から文字が彫られている。表面が剥落したか何かで補修が必要になったのだろう。
10年前に訪れたときも花立てに生花が供えてあったが、今回も花立てからあふれるほどの菊が供えてあった。墓参りに来た人がお参りされるのだろう。



(単位：cm)

碑石 高さ174/幅90/奥行50
台石1段目 高さ48/幅180/奥行172
台石2段目 高さ53/幅316/奥行237

【浜田市13】 浜田市長沢町4の2町内 地藏堂横 泰雲院殿之碑

所在地 浜田市長沢町4の2町内 地藏堂横

北緯34° 54' 33.04" / 東経132° 05' 54.35"



(調査日2022年3月30日)

【建立年】安政2年(1855) 再建
【建立者】不明
【碑石前面】泰雲院殿之碑
【碑石後面】安政二己卯三月再建
【そのほか】文字なし
〔調査の経過〕
宮本調査では「陸軍墓地東」とあり、そのあたりを探したが見つからず、近くの理髪店で場所を教えていただいた。地藏堂の隣に立つ。自然石で目の粗い表面だが文字は読める。「安政二年再建」とあるが、旧碑はいつのものだろう。この碑にも台石があったかもしれないが現在はなく、碑石をコンクリートに少し埋めて安定させてある。花立てにはシビキ(シキミ)が供えてあった。



(単位：cm)

碑石 高さ139/幅81/奥行43

【浜田市14】 浜田市松原町 心覚院 泰雲院殿

所在地 浜田市松原町 心覚院境内

北緯34° 54' 23.44" / 東経132° 04' 40.68"



(調査日2022年3月30日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿
 【碑石左面】□甲寅歲初冬建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 海沿いの心覚院に立つ。自然石で傷みはなく苔が生えたりもせず、きれいな姿で立っているが、文字が浅く読みにくい。左面に建立年があると思われるが不鮮明で読み切れず、確定できなかった。



(単位：cm)

碑石 高さ134/幅55/奥行46

台石 高さ21/幅67/奥行61

【浜田市15】 浜田市天満町 今宮トンネル西 小公園 井戸君之碑

所在地 浜田市天満町 今宮トンネル西 R186 沿い 小公園

北緯34° 53' 46.23" / 東経132° 04' 44.26"



(調査日2022年3月30日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸君之碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 今宮トンネル西出口のすぐそばに小公園があり、国道186号寄りの場所に立つ。近所の方に聞くと以前はここに遊具があつて公園として使われていたが、今では遊具も撤去されて空き地になり使う人もいないようだ。小公園全体に草があり、碑も草で隠れ気味だったが、草を除いて調査、撮影した。碑石は目の粗い自然石。傷みはないようだった



(単位：cm)

碑石 高さ135/幅68/奥行45

台石 高さ25/幅82/奥行83

【浜田市16】 浜田市大辻町 寶福寺墓地 泰雲院殿

所在地 浜田市大辻町 寶福寺墓地角

北緯34° 53' 47.32" / 東経132° 04' 11.70"



(調査日2022年3月30日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿
 【そのほか】文字なし
 「調査の経過」
 寶福寺の下の道路沿いに墓地があり、その角に区画を造り、この碑が立つ。御影石を自然石の形で使っているようで、表面には艶もあり、文字もはっきり読めるが、前面以外は文字が彫られていない。
 石製の大きな花立てに松や梅が供えてあった。



(単位：cm)

碑石 高さ94/幅60/奥行68

【浜田市17】 浜田市原井町 JRガード南 泰雲院殿墓

所在地 浜田市原井町 JRガード南 道路沿い

北緯34° 53' 18.66" / 東経132° 04' 09.68"



(調査日2022年3月30日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿墓
 【そのほか】文字なし
 「調査の経過」
 国道9号を外れて南に少し進んでJR山陰線をくぐると左手の道路沿いに立つ。碑の横、前に民家がある。
 黒っぽい自然石で傷みはない。大きめの台石を3段積んだ堂々たる碑だが、碑石前面の文字以外に全く文字がなく、情報がない。
 花立にはヒバやスイセンが供えてあった。



碑石 高さ134/幅51/奥行56
 台石1段目
 高さ37/幅140/奥行106
 台石2段目
 高さ34/幅172/奥行156
 台石3段目(石組)
 高さ44/幅200/奥行164

【浜田市18】 浜田市高佐町 大光ハイツ下 泰雲院殿

所在地 浜田市高佐町 大光ハイツ下 道路沿い

北緯34° 54' 13.05" / 東経132° 06' 14.49"



(単位：cm)

碑石 高さ137/幅48/奥行55
台石 高さ48/幅102/奥行143

【建立年】安政4年(1857)
再建
【建立者】谷中
【碑石前面】泰雲院殿(下に)願
主石原/助左エ門/世話方/
谷中/建之
【碑石左面】安政四己年七月日再
建
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
黒川町の東の高佐町。「大光ハ
イツ」の向いの道路沿いに地藏
堂と並んで立つ。自然石で傷み
はなく、文字も読める。碑石左
面の最後に「再建」の文字があ
るが、2段目台石はコンクリー
トであり、違う場所からここに
移設されたのかもしれない。
この碑の前では毎年法事が続
けられているという。
(調査日2021年11月18日)



【浜田市19】 浜田市浅井町 交差点のお堂横 泰雲院殿

所在地 浜田市浅井町 交差点のお堂横

北緯34° 54' 06.55" / 東経132° 05' 17.50"



(単位：cm)

碑石 高さ153/幅63/奥行50
台石1段目
高さ30/幅106/奥行83
台石2段目
高さ8/幅125/奥行102

【建立年】安政3年(1856)
【建立者】浅井村
【碑石前面】泰雲院殿
【碑石右面】享保十八己年五月廿
六日卒井戸正明碑/安政三辰
年五月建之 浅井村
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
JR浜田駅からほど近い、繁華
街の交差点にお堂があり、その
角に立つ。
碑石は赤っぽい自然石を墓石
型に加工したもので、堂々とし
た碑だ。前面だけがやや滑らか
に磨いてある。傷みは少しある
が、文字は読める。
碑の前に花立てを入れる穴が
あけてあり、調査日にはそこに
ガラス瓶に入れた造花が彩り
を添えていた。
(調査日2021年3月30日)



【浜田市20】 浜田市黒川町 大石内科横 **泰雲院殿**

所在地 浜田市黒川町 大石内科横

北緯34° 54' 02.50" / 東経132° 05' 28.95"



(単位：cm)

碑石 高さ129/幅60/奥行55

台石 高さ20/幅156/奥行135

【建立年】 文久2年(1862)
 【建立者】 (世話人名あり)
 【碑石前面】 泰雲院殿
 【碑石右面】 文久二年壬戌四月建之／世話人(数名あるも読めず)
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】
 JR浜田駅の正面約300mの、大石内科の横にある。前の広い道路に架かっている橋は新中芝橋。同名のバス停あり。碑は目の粗い自然石で、左上が欠けている。
 前に高さ60cmの「甘薯普及の祖／井戸平左衛門頌徳碑」の石柱が立っている。これは1989年に浜田市文化財愛護会が啓発の意をこめて建てている。花は造花である。
 (調査日2022年3月30日)



【浜田市21】 浜田市黒川町 高佐川放水路口 **井戸之碑**

所在地 浜田市黒川町 高佐川放水路口

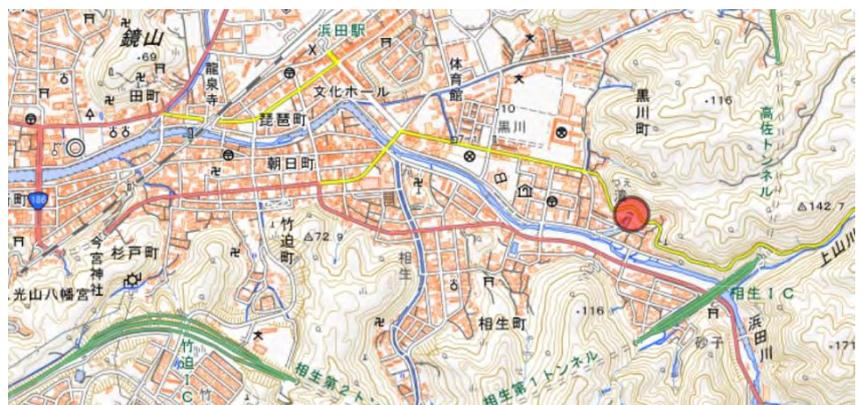
北緯34° 53' 49.80" / 東経132° 06' 02.76"



(単位：cm)

碑石 高さ145/幅66/奥行52

【建立年】 不明
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 井戸之碑
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。県道5号線の直下。碑の隣に地藏、その隣に石柱があり「井戸平左衛門頌徳碑／放水路守護／平成五年三月三日移転／潰水神会建之」と彫ってある。宮本調査では「三宮橋北側」とあるので、約100m南から、放水路の完成を機に、地藏と一緒に平成5年に移転したようだ。井戸公碑に水路の守護を願っている。
 碑石は目の粗い自然石で前面に文字があるだけでほかには情報が無い。
 (調査日2022年5月20日)



【浜田市22】 浜田市後野町 地藏堂横 泰雲院殿之碑

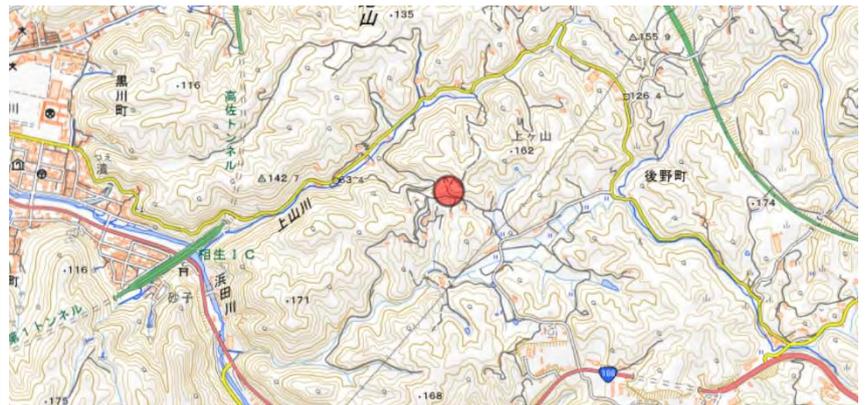
所在地 浜田市後野町 地藏堂横

北緯34° 53' 49.05" / 東経132° 06' 54.22"



(調査日2021年11月28日)

【建立年】元治元年(1864)
 【建立者】上ヶ山組
 【碑石前面】泰雲院殿之碑
 【碑石左面】元治元年/子九月廿九日/建之/上ヶ山組
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 ほぼ集落の外れに、車道から右上に上がる未舗装の細い道があり、歩いて上がると立派な地藏堂とこの碑が立っている。車で下の道を行き来してもわからず、地元の人に道を尋ねた。碑石はこれも目の粗い自然石で、前面の文字も彫りが浅い。左面の建立年などは小さい文字が彫りにくかったのか、前面と同じように、文字を彫る場所だけ平らにして彫ってある。



(単位: cm)

碑石 高さ140/幅66/奥行55
 台石 高さ28/幅138/奥行135

【浜田市23、24、25】 浜田市河内町 K179 河内バス停東 不明

所在地 浜田市河内町 K179 河内バス停東

北緯34° 53' 12.54" / 東経132° 06' 36.65"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】不明
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道179号の河内バス停近くの歩道の外に区画を設け、3基並んで立つ。どの碑も文字は読めない。花立てには「平成四年七月/河内町住民」とあり、1基ずつ独立して花・線香立て、湯飲みが配置され、各シビキ(シキミ)が供えてあった。

(調査日2022年3月30日)



No.23 碑石 高さ129/幅70/奥行33
 台石 高さ15/幅102/奥行84
 No.24 碑石 高さ116/幅88/奥行47
 台石 高さ8/幅61/奥行47
 No.25 碑石 高さ66/幅33/奥行17
 台石 高さ6/幅24/奥行24

【浜田市26】 浜田市相生町 足王神社横 泰雲院殿

所在地 浜田市相生町 足王神社横

北緯34° 53' 39.64" / 東経132° 06' 13.84"



(単位: cm)
 碑石 高さ131/幅58/奥行27
 台石1段目 高さ15/幅63/奥行40
 台石2段目 高さ30/幅110/奥行100

(調査日2022年3月30日)

「調査の経過」
 国道9号浜田バイパスの相生ICを降りてすぐのところにある足王神社。碑は境内というわけではなく、北隣に建てられている。
 碑石は目の粗い自然石で、台石も整形してない自然石。碑石前面の文字が彫られている場所だけ色も質感も違うので、掘り下げた後、ちがう石(素材)が埋めてあるように見える。あるいは剥離したため補修したか。

【建立年】 明治12年(1879)
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 泰雲院殿
 【碑石右面】 泰雲院殿
 【碑石左面】 明治十二年卯八月
 【そのほか】 文字なし



【浜田市27】 浜田市相生町 岩崎橋たもと交差点 なし

所在地 浜田市相生町 岩崎橋たもと交差点

北緯34° 53' 34.91" / 東経132° 05' 32.62"



(単位: cm)
 碑石 高さ152/幅78/奥行43
 台石 高さ21/幅112/奥行71

(調査日2021年11月18日)

「調査の経過」
 岩崎橋の北側に超証寺というお寺があり、宮本調査では寺の近くにあると記録されているので、寺の近くを調べると、少し離れた岩崎橋のたもとにあった。碑の後ろに石板があり、そこに「地藏・芋地藏移転完成/平成四年二月吉日/世話人中村輝/小川正行/土居菊雄/顧問山藤忠/佐々木弘之/地主中野政市/施工者村上正廣」とある。碑の前の道路が広いので、この拡幅工事に合わせてここに移転してきたのだろう。

【建立年】 不明
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 なし
 【そのほか】 文字なし



【浜田市28・29】浜田市野原町1公民館裏広場 **不明**

所在地 浜田市野原町1公民館裏広場

北緯34°53'11.50" / 東経132°04'50.93"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 島根県立大学のすぐ近くの野原町の集会所（野原町一公民館）の裏の広場の擁壁の上に2基が並んで立つ。隣には小さな地藏堂もあり、三階町から移転してきたものという。碑は自然石で、文字はないようだ。

(調査日2022年5月20日)



No.28
 碑石 高さ92/幅54/奥行24
 台石 高さ46/幅138/奥行105
 No.29
 碑石 高さ127/幅53/奥行58
 台石 高さ65/幅174/奥行110

【浜田市30】浜田市三階町下倉 **泰雲院殿**

所在地 浜田市三階町下倉 三差路高手

北緯34°42'46.80" / 東経132°05'47.78"



【建立年】安政2年（1855）
 【建立者】下倉三郎右衛門
 【碑石前面】泰雲院殿（右に）安政二卯年十一月善法日（左に）下倉三郎右衛門造立/地所にいや分
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 三差路になった道路の高手（山の一部）に、木や草を切つて整地し、石を組んで台石とし、三階山を望むように立っている。草や木は常にきれいに手入れされているといい、台石も不安定になった箇所にはセメントを入れて補修してある。この碑の台石の端に昭和3年製の小さな地藏が鎮座している。
 (調査日2022年5月20日)



(単位：cm)
 碑石 高さ148/幅84/奥行33
 台石1段目
 高さ33/幅148/奥行74
 台石2段目
 高さ56/幅208/奥行204

【浜田市31】 浜田市三階町野地 小川氏宅前 なし

所在地 浜田市三階町野地 小川氏宅前入口角

北緯34° 52' 26.30" / 東経132° 05' 18.96"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 小川氏宅に入る角に、庭園のよ
 うに巨石が積んであり、文字は
 ないが昔から井戸公碑と認識
 されていた。近所の方による
 と、以前、この碑の前で大人た
 ちが酒を飲んでにぎやかにし
 ていたという。おそらく芋法事
 が恒例として行われていたの
 だろう。
 碑石も幅90センチと大きい
 が、台石も大きな石が組んであり、
 相当な存在感がある。



(単位：cm)

碑石 高さ111/幅90/奥行47
 台石1段目 高さ47/幅144/奥行86
 台石2段目 高さ78/幅220/奥行198

【浜田市32】 浜田市三階町 石見まちセン細谷分館後ろ なし

所在地 浜田市三階町 石見まちセン細谷分館 (元細谷小学校) 後ろ

北緯34° 52' 22.09" / 東経132° 05' 41.79"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 石見まちづくりセンター細谷
 分館の東側、グラウンドの隣に
 小高い丘があり、道路から石段
 を4段上がってこの碑が立つ。
 写真の下の段は4段目の階段
 である。
 碑も、周囲もきれいに手入れし
 てあるが碑には文字がない。
 元小学校跡地ということだが、
 この碑が学校のどういう場所
 にあったのか(敷地外だったの
 か)、子どもたちはどんな反応
 をしていたのか興味深い。



(単位：cm)

碑石 高さ142/幅54/奥行51
 台石 高さ17/幅128/奥行不明

【浜田市33】 浜田市三階町 2町内集会所下 なし

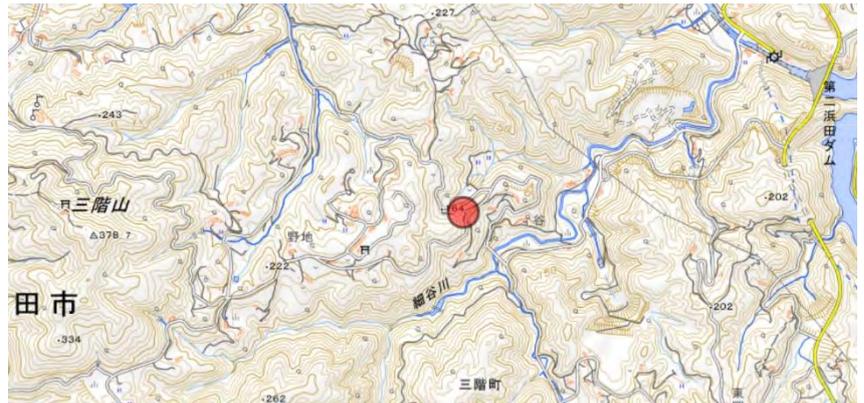
所在地 浜田市三階町 2町内集会所下

北緯34° 52' 25.80" / 東経132° 05' 55.15"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。道路から細い坂道を上がると集会所が建っており、その裏手を平らに整地して、地蔵とこの碑が立つ。碑も、周囲もきれいに手入れしてあるが碑には文字がない。
 花立は竹を切った、どなたかの手製のもので、調査日にはヒバがいっぱい供えられていた。



(単位：cm)
 碑石 高さ103/幅49/奥行32
 台石 高さ32/幅117/奥行不明

【浜田市34】 浜田市三階町中東口 スクールバス停横 泰雲院殿

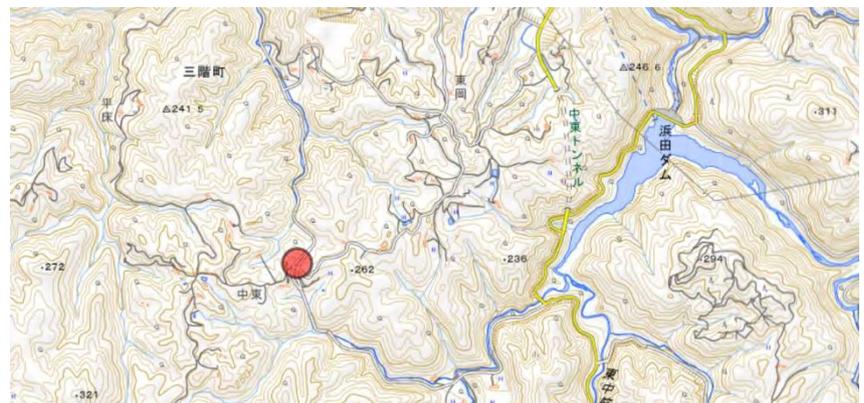
所在地 浜田市三階町中東口 スクールバス停横広場

北緯34° 51' 39.29" / 東経132° 06' 12.30"



(調査日2021年5月15日)

【建立年】安政2年(1855)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿(右に)安政二年(左に)十一月建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 この場所は集落の中心地のようで、比較的広々とした場所。道路が複雑に交差しており、道路と道路の間の空き地にスクールバスの待合所があり、その裏は庭園風に手入れがされて、道路との境にはツツジも植えられている。その庭園に立つのが井戸公碑で、コンクリートの台石の上の黒っぽい自然石に「泰雲院殿」と彫ってある。碑石は傾いているがしっかり安定している。



(単位：cm)
 碑石 高さ111/幅69/奥行50
 台石 高さ20/幅124/奥行111

【浜田市35】 浜田市三階町東岡 長見6・7町内交差点 **泰雲院殿**

所在地 浜田市三階町東岡 長見6・7町内交差点

北緯34° 51' 58.44" / 東経132° 06' 35.38"



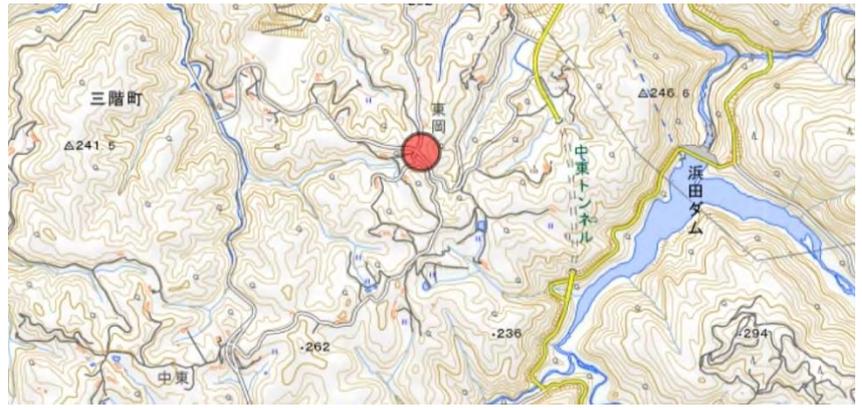
(単位: cm)
 碑石 高さ139/幅55/奥行55
 台石 高さ12/幅70/奥行45

〔調査日2022年5月15日〕

〔建立年〕 文久3年(1863)
 〔建立者〕 東ヲカ中
 〔碑石前面〕 泰雲院殿(右に) 文久三亥年(左に) 東ヲカ中
 〔そのほか〕 文字なし

〔調査の経過〕
 旧東岡の広い四つ角交差点に地蔵堂とともに立つ。地域の皆さんがよく目にする場所らしく、ほかに広報揭示板もあり、一帯はきれいに手入れされている。

碑石は硬そうな自然石で傷みはない。文字もよく読める。碑の前に御影石の花立てが立てられている。



【浜田市36】 浜田市熱田町 福恩寺 **泰雲院殿**

在地 浜田市熱田町 福恩寺 境内左手道路側

北緯34° 52' 13.07" / 東経132° 03' 11.09"



(単位: cm)
 碑石 高さ183/幅101/奥行51
 台石 高さ13/幅177/奥行131

〔調査日2022年3月30日〕

〔建立年〕 不明
 〔建立者〕 不明
 〔碑石前面〕 泰雲院殿
 〔そのほか〕 文字なし

〔調査の経過〕
 JR西浜田駅からほど近い福恩寺。本堂に向かって左側に地蔵堂とこの碑が立つ。
 碑は自然石で、堅そうに見えるが、もろい石質なのか、下の方が剥離している。
 「泰雲院殿」の文字は美しく力強い隷書体。その下の蓮の花も通常より相当大きく、しかもデザイン化されており、江津市二宮町の長久寺(江津No.41)のそれに似ている。
 碑石全面以外に文字がなく、情報がないのが残念だ。



【浜田市37】 浜市内内田町 K34 沿い上内田バス停近く なし

所在地 浜市内内田町 K34 沿い上内田バス停近く

北緯34° 51' 52.23" / 東経132° 03' 41.97"



(調査日2021年11月18日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。県道34号にある「上内田」のバス停近く。広い県道で、法面を切ってブロックで擁壁をし、その広場に地藏堂と井戸公碑が立つ。この碑はさらに左右と後ろがコンクリートの壁で囲まれている。
 碑石は硬そうな自然石で、文字は何も彫ってない。前にある石は台石のように見えるが、碑石は乗っておらず、前に置いてあるもの。浜田市には前石を置いた碑がかなりある。花立てにはサカキが供えてあった。



(単位：cm)

碑石 高さ110/幅86/奥行32

【浜田市38】 浜市内内村町 長福寺 なし

在り地 浜市内内村町 長福寺参道階段右手

北緯34° 51' 10.74" / 東経132° 03' 30.02"



(調査日2022年4月15日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 昭和の時代に宮本豊さんが調査した際には「美川町」だったようだが現在は「内村町」である。本堂に上がる参道の入口付近の右手にある。自然石で表面の下の方に剥落があるようだが、劣化が早いような柔らかい感じはしない。
 ただ、文字が全くないので情報を得られないのは残念。花立てにはすぐ隣に咲いているツツジが供えられていた。



(単位：cm)

碑石 高さ131/幅91/奥行33
 台石 高さ22/幅92/奥行67

【浜田市39】 浜田市内村町 K304 沿い 元善明寺 **なし**

所在地 浜田市内村町 K304 沿い 元善明寺

北緯 34° 50' 55.23" / 東経 132° 02' 48.04"

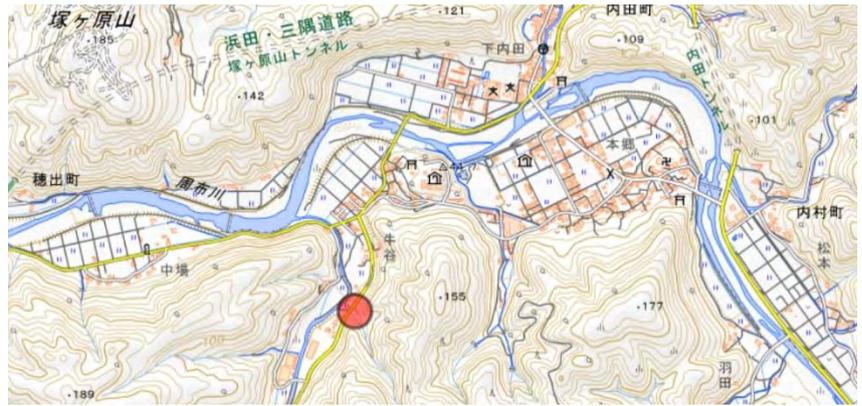


(単位: cm)

碑石 高さ192/幅75/奥行40

(調査日 2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 県道304号沿いに以前あった善明寺という寺への参道入口左側に、地藏堂、弘法大師碑などいくつかの石碑が並び、その一番奥にあって最も大きい碑が井戸公碑。
 白っぽい自然石で、台石はなく、碑石のどの面にも文字はない。碑の横のアジサイの木が大きくなっているので、時期によっては碑が見えにくい時があるかもしれない。



【浜田市40】 浜田市田橋町 金口氏墓地 **井戸正明卿之像**

在 地 浜田市田橋町 金口氏墓地

北緯 34° 50' 19.02" / 東経 132° 03' 06.63"



(単位: cm)

立像の高さ 111
 全体の高さ 316

(調査日 2022年3月22日)

【建立年】昭和11年(1936)
 【建立者】金口伊太郎
 【台石前面】井戸正明卿之像
 【台石右面】字曾り田下/畑 二十三歩/百年貯金/第十九號
 【碑石左面】昭和十一年九月六日 / 農家□□ / 金口伊太郎建之
 【調査の経過】
 現存する井戸公の唯一の像。大正8年に浜田市の近重小次郎翁が三重観音山に井戸公の座像(台座を含め5倍以上)を建立しており、それに刺激を受けての立像建立かもしれない。観音山の座像は戦時中に供出されて今は台座も存在しないので、この立像が唯一のものとなる。今でも親族の方がときどき訪ね、生花を供えているといい、調査日も色とりどりの花が供えてあった。



【浜田市41】 浜田市田橋町東中 K304 東 往還道広場 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 浜田市田橋町東中 K304 東 往還道広場

北緯34° 50' 05.05" / 東経132° 03' 26.01"



(調査日2022年5月15日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士(右に) 庚申八月日建之
 □(左に) 井戸平左エ門正明
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道304号を東に少し入った切通しの先に、斜めに横断するように細い道がある。旧往還道で、一段高手上がると広場になっている。昔は往来する人がここで休憩したのだろう。
 碑石は目の細やかな白っぽい自然石で、周辺の手入れもされていないようだが傷みはない。近くには地藏堂や、天保4年(1834)建立の石の道標があるが、井戸公碑との関係はわからない。



(単位: cm)

碑石 高さ109/幅41/奥行45
 台石 高さ10/幅110/奥行89

【浜田市42】 浜田市田橋町 観音バス停南 なし

在 地 浜田市田橋町 観音バス停南

北緯34° 49' 47.03" / 東経132° 03' 22.56"



(調査日2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 前2基と同じく県道304号沿い。「観音」のバス停の南に奥の民家に入る道があつて三差路になつており、道路に挟まれた三角の場所にこの碑と地藏などが立つ。道路からは木が邪魔して見えないが、細い道路から階段がつけられており、上ると広場になっている。
 自然石の碑には文字は全くない。
 碑の前の丸い石はサツマイモのお供えだろう。



(単位: cm)

碑石 高さ122/幅89/奥行57

【浜田市43】 浜田市櫛田原町 中櫛田原バス停 なし

所在地 浜田市櫛田原町 中櫛田原バス停

北緯34° 49' 11.13" / 東経132° 03' 09.53"



(調査日2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 田橋町から県道304号を南に向かい櫛田原町に入ると、左側の家の向いに「中櫛田原」のバス停があり、バス停のすぐそばにこの碑がある。道路を少し降りると公民館と大歳神社がある。
 碑石は大きめで目の細やかな自然石で、文字は全く彫っていない。台石に見える前石があり、その前に花立てがある。



(単位：cm)

碑石 高さ174/幅77/奥行48

【浜田市44】 浜田市櫛田原上 串崎氏宅入口道路法面 なし

所在地 浜田市櫛田原上 串崎氏宅入口道路法面

北緯34° 48' 58.80" / 東経132° 03' 03.50"



(調査日2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】
 【調査の経過】
 前碑(No.43)から県道304号をさらに500m以南に行くと左側に串崎氏宅に入る進入路があり、その入り口近くの田んぼの法面に立っている。串崎氏によると以前はもう少し下にあったものをここに移動したとのこと。正面は田んぼを向いていると思われる。
 自然石で、どの面にも文字は彫っていない。



(単位：cm)

碑石 高さ102/幅49/奥行21

【浜田市45】浜田市横山町 なるなる会加工場前 なし

所在地 浜田市横山町 なるなる会加工場前 太子堂横

北緯34°49'33.35" / 東経132°02'10.63"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 横山町の「夢フアクトリー」事業なるなる会加工場の前が広場になっており、太子堂とこの碑が立っている。
 断面が三角形の自然石で、文字は何も彫ってない。碑の前には湯飲みと花立てがあり、つい最近花が供えられたようで、まだつぼみだった。



(単位：cm)

碑石 高さ110/幅47/奥行38

【浜田市46】浜田市横山町 西集会所前 なし

所在地 浜田市横山町 西集会所前

北緯34°49'54.49" / 東経132°01'58.98"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 道路から少し下った場所に西集会所があり、その前に立っている。
 比較的大きな自然石で、台石はない。文字は全く彫ってない。碑の前には手づくりの竹の花立てがある。



(単位：cm)

碑石 高さ169/幅86/奥行60

【浜田市47】 浜市内田町猪伏 道路沿い なし

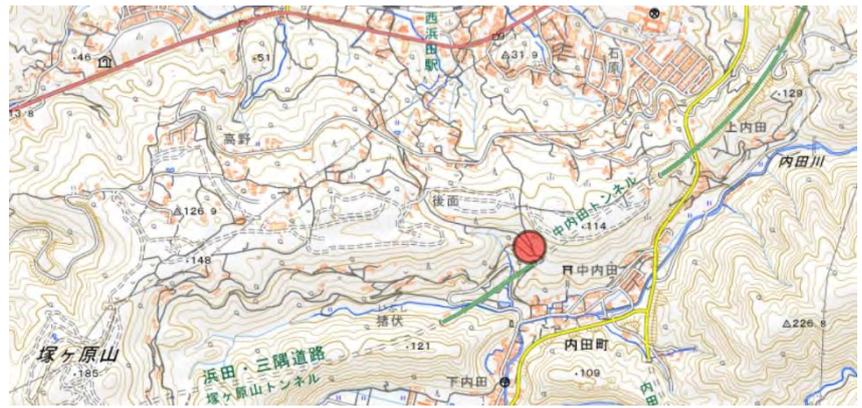
所在地 浜市内田町猪伏 道路沿い

北緯34° 51' 41.28" / 東経132° 03' 17.67"



(調査日2022年5月30日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。山陰道の中内田トンネルにほど近い。猪伏から後面に上がる細い道路沿いで、法面を切つてコンクリートで仕切り、地蔵とこの碑がある。碑石は自然石で、文字は全く彫つてない。碑の前の花立てにはいっぱい生花とヒバが供えてあった。



(単位：cm)

碑石 高さ85/幅63/奥行42

【浜田市48】 浜市内田町の熱田町、長浜町境の畑 泰雲院殿墓

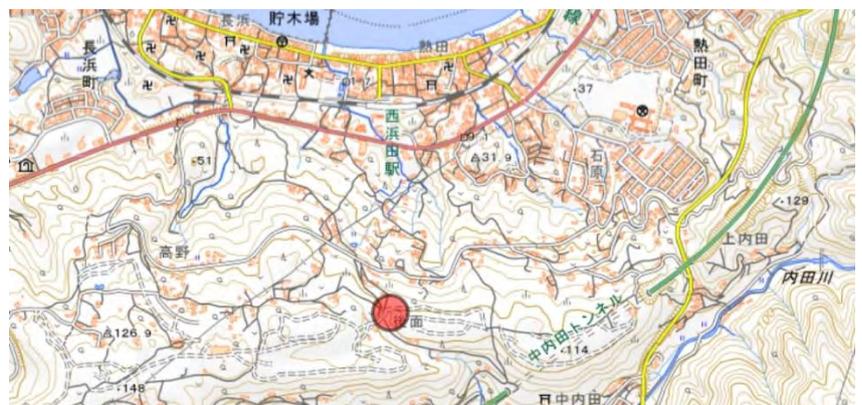
所在地 浜市内田町の熱田町、長浜町境の畑

北緯34° 51' 47.68" / 東経132° 03' 03.17"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】嘉永3年(1850)
 【建立者】内田村善太郎
 【碑石前面】泰雲院殿墓(右に)嘉永三戌三月(左に)内田村施主善太郎/大工屋
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 内田町、熱田町、長浜町の境になる畑にある。ここが「施主善太郎」氏の所有地だったのだろうか。以前はこの一帯はゴルフ場だったが、今はないようだ。碑は、日本でこの周辺でだけ産出されるといふ黄長石霞石玄武岩(島根県指定文化財)という非常に硬くて加工しにくい石で建てられており、文字の彫りは浅い。周囲の石は碑石を支えていないので、台石とはしなかった。



(単位：cm)

碑石 高さ178/幅93/奥行60

【浜田市49】 浜田市長浜町 大元神社横 **泰雲院殿**

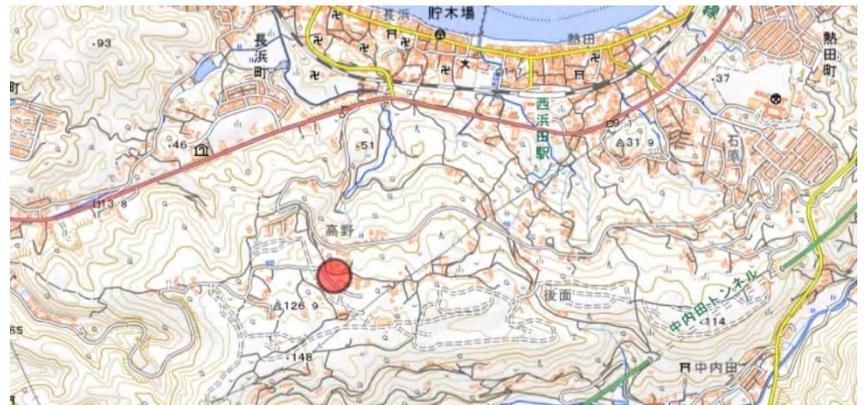
所在地 浜田市長浜町高野西 大元神社横

北緯34° 51' 48.96" / 東経132° 02' 34.41"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 前碑(No.48)からほど近い。道路沿いに広場があり、児童館、大元神社があつて、この碑が立っている。
 かなり広い範囲に2段の石組みをし、その真ん中にゆつたりと碑が立っている。
 碑は白っぽい目の細かい石で傷みはなく、文字は浅く彫つてある。



(単位：cm)

碑石 高さ86/幅69/奥行32
 台石(石組)
 高さ47/幅178/奥行103

【浜田市50】 浜田市日脚町 デイサービス長寿の里横 **南無弘法大師**

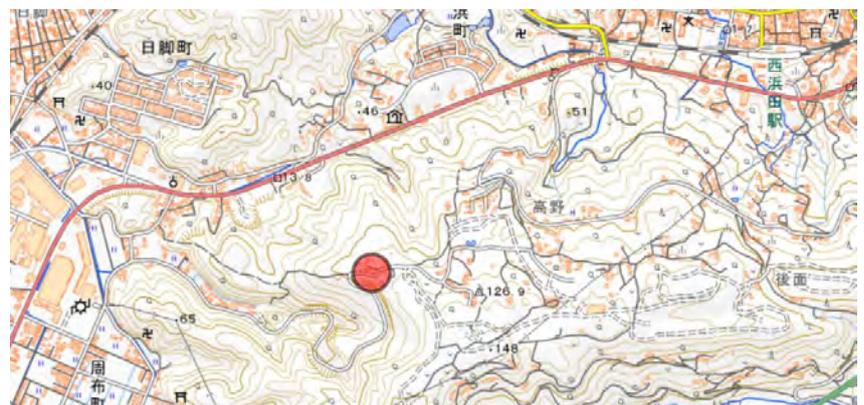
所在地 浜田市日脚町 デイサービス長寿の里横 道路沿い

北緯34° 51' 47.35" / 東経132° 02' 12.98"



(調査日2022年5月20日)

【建立年】万延元年(1860)
 【建立者】不明
 【碑石前面】南無弘法大師(右に)万延元年(左に)十月廿一日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。日脚町の山手にあるデイサービス長寿の里の隣の道路沿いに立つ。周りは庭園風にしつらえてありいくつかの大きな石が配置され、隣にはツツジも植えられている。
 碑石は白っぽい自然石で少し目が粗め。
 前面には「南無弘法大師」と彫つてあるが、地元の方々はこの碑を芋地藏と呼んで親しんでいるという。



(単位：cm)

碑石 高さ130/幅55/奥行23

【浜田市51】 浜田市日脚町 浜田三中下JR沿い 泰雲院殿

所在地 浜田市日脚町 浜田三中下 JR沿い

北緯34° 52' 17.95" / 東経132° 01' 44.71"



碑石 高さ93/幅45/奥行30
 台石 1段目
 高さ27/幅66/奥行53
 台石 2段目
 高さ24/幅110/奥行82
 台石 3段目
 高さ24/幅140/奥行106

【建立年】 昭和25年（1950）
 再建
 【建立者】 日脚区中
 【碑石前面】 南無大師遍照金剛
 （右に） 探玄如海法師（左に）
 泰雲院殿
 【碑石右面】 昭和二十五年庚寅年
 /二月廿一日
 【碑石左面】 再建設者/日脚区中
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】
 浜田三中の入り口の前の県道241号と線路の間に立つ。碑の左右には地蔵もある。碑から道路までコンクリートで舗装してある。御影石の碑の前面には中央に南無大師遍照金剛と彫り、右側に浜田でサツマイモ栽培を普及させた探玄如海、左側に泰雲院の名を彫っている。
 （調査日2022年3月30日）



【浜田市52】 浜田市西村町 地藏堂前 なし

所在地 浜田市西村町 道路沿い 地藏堂前

北緯34° 50' 48.02" / 東経132° 01' 03.90"



（単位：cm）
 碑石 高さ76/幅67/奥行35

【建立年】 不明
 【建立者】 不明
 【碑石】 文字なし
 【調査の経過】
 西村町の民家のすぐ隣、道路沿いに地藏堂があり、その前にこの碑が立っている。
 碑石は目の細やかさそうな自然石で、きれいな卵形。鉄さびがついたように茶色になっているがこんな色の苔なのだろうか。
 文字は全く彫っていない。前の白っぽい石は前石で、碑石を支えてはいない。
 花立てには紫蘭とシキミが供えてある。地域の方に大事にされているのだろう。
 （調査日2022年5月20日）



【浜田市53】 浜田市西村町 陽光台入口 蔵本氏宅横 **井戸公頌徳碑**

所在地 浜田市西村町 陽光台入口 国道9号の1本西の道路 蔵本氏宅横
北緯34° 50' 50.80" / 東経132° 00' 38.48"



(調査日2022年5月15日)

【建立年】昭和37年(1962) 再建
【建立者】青組中
【碑石前面】井戸公頌徳碑
【碑石後面】昭和三十七年四月改礎／青組中
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
国道9号から陽光台への入口、国道のすぐ西側に並行して走る道のそばに立っている。碑の前は側溝があるが、お参りしやすいように碑の前だけふたがしてある。ただし、周囲に植えられたアジサイなどが大きくなって碑を隠し気味になっている。
卵形の自然石に必要項目がきちんと彫っており、素直な感じがする碑だ。

(単位：cm)
碑石 高さ67/幅37/奥行30
台石1段目
高さ10/幅52/奥行39
台石2段目(コンクリート)
高さ50/幅82/奥行80



【浜田市54】 浜田市西村町 R9のIC入口交差点北の畑 **なし**

所在地 浜田市西村町 R9のIC入口交差点北の畑
北緯34° 50' 33.19" / 東経132° 00' 16.91"



(調査日2022年5月15日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石】文字なし
【調査の経過】
国道9号にある西村IC交差点の信号を北に向かうと高手の畑の空き地に立っているのが見える。碑の左右と、坂を下った先に民家があるので、その中央にということでの場所になったのだろうか。
碑は目の細やかな自然石で、文字は何も彫ってない。台石が2段あるように見えるが、これは碑石の前に置いてあるもので、碑石を支えていないので計測していない。

(単位：cm)
碑石 高さ125/幅57/奥行60



【浜田市55】 浜田市西村町荒磯谷 R9 登坂車線 なし

所在地 浜田市西村町荒磯谷 R9 登坂車線沿い 森本氏宅横

北緯 34° 50' 01.97" / 東経 131° 59' 49.15"

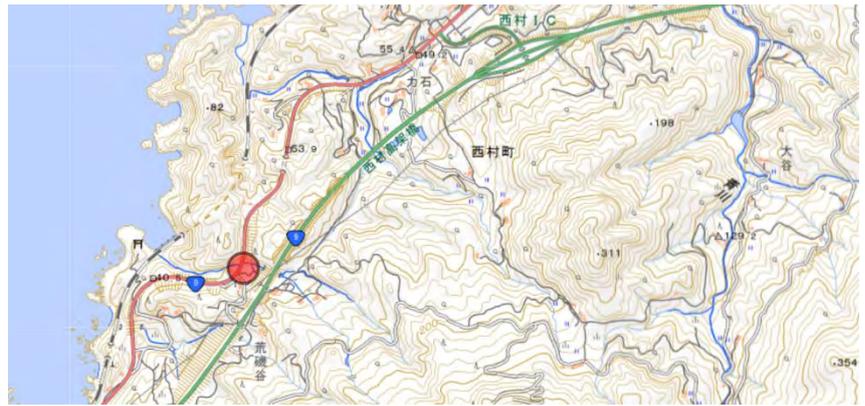


(調査日 2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 国道9号荒磯谷の、東に向かって登坂車線になる地点の道路沿い、森本氏宅のブロック塀の横に、この碑を建てるために造ったと思われる庭園風の場所があり、広い石積みの台石の上には白っぽい自然石の碑が立っている。隣にはツツジやサルズベリが植えてある。
 文字が彫ってないので情報がないが、大切に守られているようだ。

(単位: cm)

碑石 高さ110/幅53/奥行38
 台石 1段目
 高さ18/幅97/奥行102
 台石 2段目
 高さ46/幅182/奥行210



【浜田市56】 浜田市西村町荒磯谷 一町内集会所裏 なし

所在地 浜田市西村町荒磯谷 一町内集会所裏の道路沿い

北緯 34° 49' 52.49" / 東経 131° 59' 48.80"

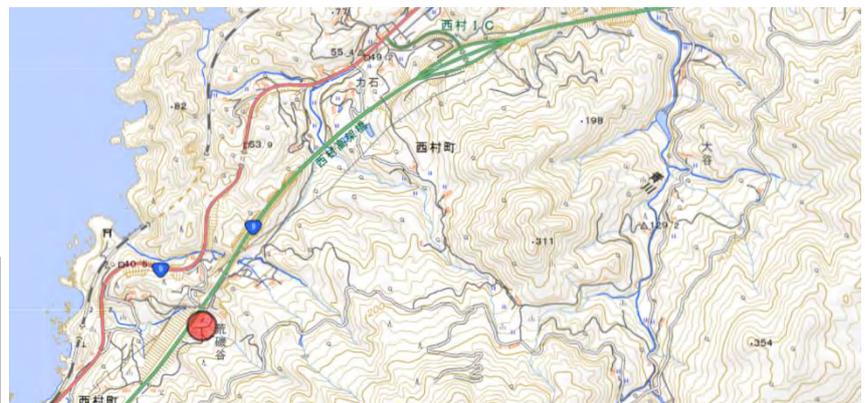


(調査日 2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 山陰道にほど近い場所に一町内の集会所があり、その裏の道路沿いに立っている。
 前碑(No.55)によく似た形の自然石で、文字は全くない。
 この地域の3基(No.55、56、57)は非常に近距離に立っていて、さらに山陰道建設の際に撤去された碑も1基あるというので、合計4基となる。「文字を彫らなくてよいのなら、うちでも建てられる」と競い合うように建てたのかもしれない。

(単位: cm)

碑石 高さ116/幅58/奥行49
 台石(一部コンクリート)
 高さ12/幅147/奥行120



【浜田市57】 浜田市西村町荒磯谷 長見氏宅横 なし

所在地 浜田市西村町荒磯谷 長見氏宅横

北緯34°49'46.21" / 東経131°59'44.25"



(調査日2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 長見氏の家屋はもうないが、道路沿いに立派な地藏堂があり、同じ土台の上に、地藏堂と並んでこの碑がある。
 この碑は前2基とは少し色合いや形が違うが、文字が全くないのは共通している。直線距離でNo.55とは約500m、No.56とは約200mの近さだ。



(単位：cm)

碑石 高さ80/幅76/奥行19

【浜田市58】 浜田市折居町 巖島神社 井戸公之碑

所在地 浜田市折居町 巖島神社横

北緯34°55'45.54" / 東経132°10'51.91"



(調査日2022年3月22日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸公之碑
 【二段目台石後面】H16・2・8
 【調査の経過】
 JR山陰線折居駅の近くの国道9号を南に曲がるとすぐ、巖島神社がある。正面から向かって右側にこの碑があり、しっかりとした広い基礎を造った上に2段目の台石を積み、1段目の台石は大きな1枚岩だ。
 目の細かそうな自然石に碑銘だけが彫ってあってほかに情報がないが、近くの方に聞くと有志の方数人が神社の左側から右側に移転したといい、その日付が、台石に彫られた平成16年2月8日だったのだから。全体にゆつたりとした碑だ。



(単位：cm)

碑石 高さ113/幅78/奥行40
 台石1段目
 高さ17/幅106/奥行65
 台石2段目
 高さ36/幅238/奥行165

【浜田市59】 浜田市旭町 後谷入口 **泰雲院殿**

所在地 浜田市旭町 K5 から後谷への入口付近

北緯 34° 52' 25.17" / 東経 132° 14' 42.56"



(調査日 2021年 11月 2日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道5号から後谷に入る交差点の空き地にお堂があり、その隣にこの碑がある。
 茶色っぽい自然石で、前面に「泰雲院殿」が浅く彫ってある。ほかに文字はない。
 お堂と共にこの碑の周りもきれいにしており、草もほとんど生えてなかった。



(単位：cm)

碑石 高さ78/幅54/奥行32

【浜田市60】 浜田市旭町丸原 元育苗センター前 **なし**

所在地 浜田市旭町丸原 元育苗センター前

北緯 34° 51' 49.76" / 東経 132° 15' 07.38"



(調査日 2021年 11月 2日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 元JAの育苗センターだった場所では使われていない。道路からの入口の角にブロックを積んで場所を造り、地蔵とこの碑が立っている。以前は道路の反対側にあったという。
 碑石は目の粗い、灰色の自然石で、奥行は10センチしかない。台石が2段あるように見えるが、碑の前に置いてあるだけで、後にも黒っぽい石があってそれらが挟むようにして碑石を安定させている。



(単位：cm)

碑石 高さ127/幅88/奥行10

【浜田市61】 浜田市旭町今市 満福寺 泰雲院殿碑

所在地 浜田市旭町今市 満福寺参道階段左

北緯34° 51' 33.12" / 東経132° 15' 45.96"



(調査日2021年10月28日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石右面】享保十八年丑五月廿五日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 満福寺に上がる緩い石段の参道に並んで坂道があり、その左手にこの碑がある。
 碑石は目の粗そうな茶色っぽい石で、前面に大きな文字で碑銘が彫られている。右面に井戸公が亡くなった日が彫っているが、26日が25日になっている。



(単位：cm)
 碑石 高さ141/幅42/奥行56
 台石 (石積み)
 高さ49/幅123/奥行142

【浜田市62】 浜田市旭町木田白角 大元神社 嘉恵碑

所在地 浜田市旭町木田白角 大元神社

北緯34° 53' 26.63" / 東経132° 15' 53.32"



(調査日2021年11月2日)

【建立年】明治25年(1892)
 【建立者】白角谷中
 【碑石前面】嘉恵碑(左に) 明治二十五年十月健之(下に) 白角谷中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道50号と329号が交わるT字路に大元神社がある。神社の規模は小さく、前に鳥居があつてその手前の広場の隅にこの碑と地蔵が立っている。碑石は目の粗い灰色の自然石で、前面の中央部分を浅く彫り下げて平らにし、碑銘を彫っている。
 台石は自然石を組み合わせており、石と石の間はセメントを入れて固めてある。



(単位：cm)
 碑石 高さ143/幅83/奥行32
 台石 高さ42/幅121/奥行86

【浜田市63】 浜田市旭町山ノ内 市道三差路 **泰雲院殿碑**

所在地 浜田市旭町山ノ内 市道三差路

北緯34° 53' 53.81" / 東経132° 16' 56.22"



(単位：cm)
碑石 高さ180/幅117/奥行14

【調査日】2022年11月2日

【建立年】明治25年(1892)
【建立者】山之内惣連中
【碑石前面】泰雲院殿碑(右に) 享保元年五月廿六日(左に) 山之内惣連中/明治二十五年卯十月十八日建
【そのほか】文字なし

【調査の経過】
木田の中心地から北へ約2・5kmの市道三差路の一段高い場所に産婆記念碑と並んで立つ。碑石は目の粗い灰色の自然石。奥行が14センチもなく、台石に見える石も前に置いてあるだけなので安定が悪いようで、後ろ側に角材などを入れ支えている。右横に供養した歴代の卒塔婆がずらりと立てかけてあり、地域の皆さんに大切にされていることがわかる。



【浜田市64】 浜田市旭町木田 旧小学校裏 **正明君之碑**

所在地 浜田市旭町木田 旧小学校裏(現「木田暮らしの学校」の体育館下の旧道沿い)

北緯34° 53' 22.51" / 東経132° 16' 55.74"



(単位：cm)
碑石 高さ136/幅62/奥行35
台石 高さ33/幅98/奥行63

【調査日】2021年11月2日

【建立年】明治34年(1901)
【建立者】不明
【碑石前面】正明君之碑
【碑石後面】明治三十四年七月立之
【そのほか】文字なし

【調査の経過】
木田暮らしの学校(元木田小学校)の体育館の下の旧道沿いに立つ。現在は道路として使われておらず、体育館のかなり下の林の中。碑石は茶色っぽい自然石で前面に大きく碑銘が彫られている。前にある楕円形の石はサツマイモのお供えか(少し大きすぎる感じがするが)。



【浜田市65】 浜田市旭町木田 正蓮寺 嘉恵碑

所在地 浜田市旭町木田 正蓮寺 山門入って右手

北緯34° 53' 13.74" / 132° 17' 04.58"



(調査日2022年11月2日)

〔調査の経過〕
正蓮寺の山門をくぐってすぐ右手。土塀を広げる形で幅175㍍、奥行180㍍の場所を造り、玉砂利を敷き詰めて建ててある。
碑石は少し目の粗そうな自然石で、頂上を鋭角にとがらせた形になっている。
今でも彼岸会と一緒に芋法事を営んでいるという。

【建立年】明治25年(1892)
【建立者】木田村中
〔碑石前面〕嘉恵碑(右に)明治廿五年十月(左に)木田村中/石材寄附/佐々岡伴治郎/世話人/佐々岡富太郎/湯浅長市



(単位: cm)
碑石 高さ156/幅140/奥行32
台石 高さ52/幅175/奥行180

【浜田市66】 浜田市旭町戸川 大元神社参道 井戸正明君碑

所在地 浜田市旭町戸川 大元神社参道階段手前

北緯34° 52' 07.81" / 東経132° 19' 33.65"



(調査日2021年10月28日)

〔調査の経過〕
県道7号からぐっと下に下がると戸川の集落に至るが、集落に入るとすぐの場所にあるのが大元神社。参道階段下の左手の共通の台石の上に石碑が3基並んでおり、その左側が井戸公碑。一番背が高い。
3基とも同じような灰色の自然石で、形もやや似ている。
碑の周りはいきれいに手入れされていた。

【建立年】大正5年(1916)
【建立者】戸川中
〔碑石前面〕井戸正明君碑
〔碑石左面〕大正五年十一月廿日 建役/戸川中/石工横山三吉



(単位: cm)
碑石 高さ127/幅64/奥行40
台石 高さ33/幅112/奥行74

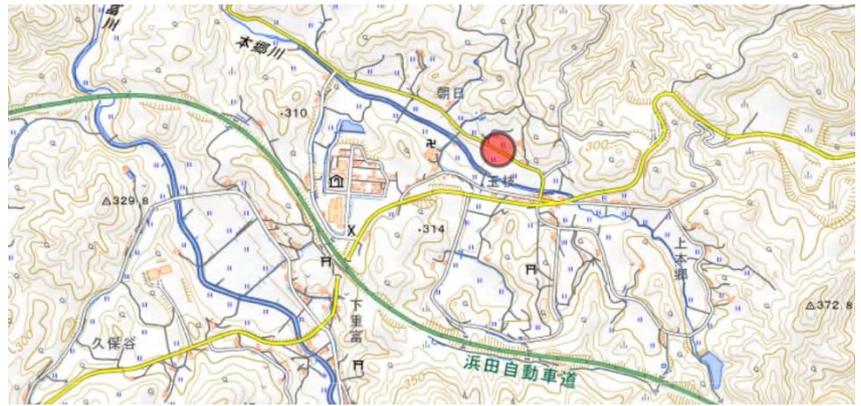
【浜田市67】 浜田市旭町本郷 K50 沿い **井戸正明君碑**

所在地 浜田市旭町本郷 K50 沿い

北緯 34° 51' 58.19" / 東経 132° 18' 34.05"



【建立年】 明治22年 (1889)
 【建立者】 本郷有志者
 【碑石前面】 井戸正明君碑
 【碑石右面】 本郷有志者
 【碑石左面】 明治廿二年十二月廿六日建設
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】 県道50号の本郷地内の道沿いに、圃場整備の記念碑、力士碑と並んでこの碑が立っている。3碑は共通の土台の上に立っており、碑石に傷みはなく、周囲もきれい。
 自然石でどっしりした形や碑石左右面の文字が前面の碑銘に負けないほどの大きさと彫られていること、台石は1枚岩を使っていることなど、建てた皆さんの意気込みが伝わる。
 (調査日2021年11月2日)



(単位: cm)
 碑石 高さ127/幅74/奥行49
 台石1段目 高さ31/幅110/奥行82
 台石2段目 高さ14/幅125/奥行93

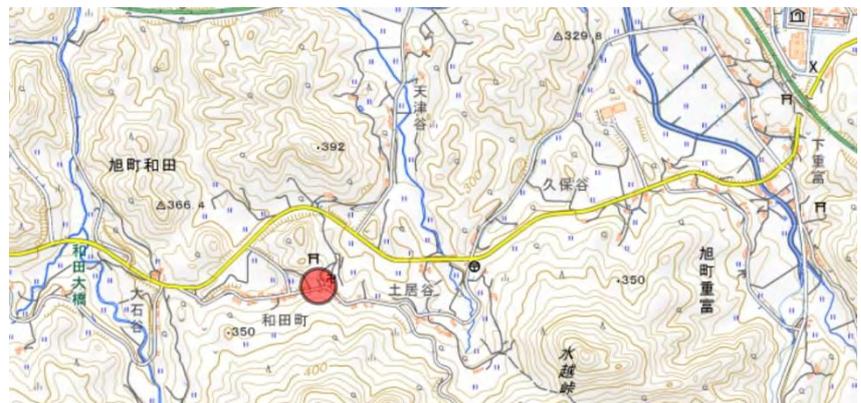
【浜田市68】 浜田市旭町和田 和田八幡宮参道 **泰雲院殿碑**

所在地 浜田市旭町和田 和田八幡宮参道石段右側

北緯 34° 51' 25.45" / 東経 132° 17' 09.88"



【建立年】 明治23年 (1890)
 【建立者】 和田中
 【碑石前面】 泰雲院殿碑 (右に)
 明治二十三年四月建之/施主/和田中 (左に) 地主/大屋氏ヨリ借地/発起/石田政太良
 【碑石後面】 世話人/大野実太/山崎類治/岩本保工門/外二十名
 【調査の経過】 和田八幡宮の参道石段の左右に立っているいくつかの石碑のうち、石段のすぐ右に立っているのが井戸公碑。大きくて立派な石碑だが、周囲に植えられた庭木が生長していて、石碑全体が見渡せないのが残念。写真の撮影も困難だった。
 (調査日2021年10月28日)



(単位: cm)
 碑石 高さ198/幅110/奥行20
 台石 高さ23/幅158/奥行42

【浜田市69】 浜田市旭町重富 教員住宅入口 **井戸正明碑**

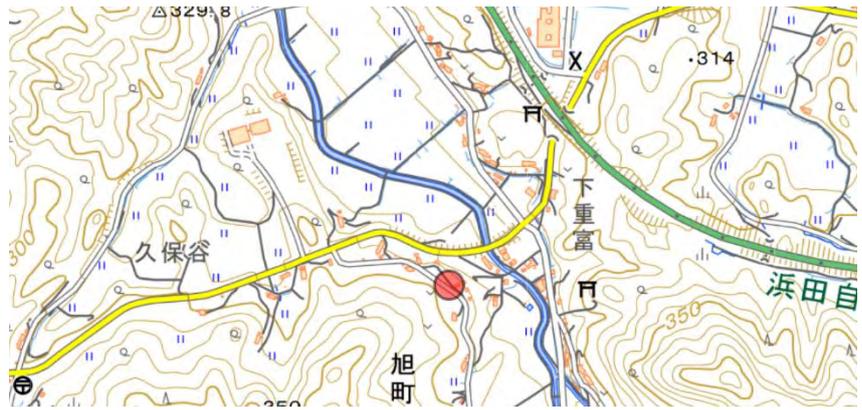
所在地 浜田市旭町重富 教員住宅入口 道路沿い

北緯34° 51' 42.95" / 東経132° 11' 18.34"



(調査日2022年10月28日)

【建立年】明治23年(1890)
 【建立者】重富中
 【碑石前面】井戸正明碑
 【碑石左面】明治廿三年一月重富中/石寄附ヨコ
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 重富の、割と平坦で広い場所に教員住宅があり、その前の道路沿いに圃場整備の記念碑と井戸公碑が立っている。井戸公碑があった場所にブロックを積んで記念碑を建てて並べたのだろう。教員住宅もその後建てられたのかもしれない。
 1段目の台石はコンクリートで、碑石と2段目の台石の安定をよくするため、後から追加したと思われる。



(単位: cm)
 碑石 高さ115/幅92/奥行25
 台石1段目
 高さ12/幅81/奥行41
 台石2段目
 高さ22/幅95/奥行85

【浜田市70】 浜田市旭町坂本 徳善寺前三差路 **井戸泰雲院**

所在地 浜田市坂本 徳善寺前三差路広場

北緯34° 49' 40.19" / 東経132° 16' 04.42"



(調査日2021年10月28日)

【建立年】明治25年(1892)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸泰雲院
 【碑石右面】明治廿五年八月建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道5号の坂本トンネルを南に進むと、徳善寺の前が広い三差路で、その東側が石碑を建てたり庭木を植えたりして、庭園のようになっており、その道路近くにこの碑がある。
 目はそう細かくない石で、上を丸めた墓石型。台石も自然石だが、ところどころセメントで補修してある。
 碑石の上が丸いせいか、碑銘の周囲の枠が輪郭のようになっていて、西洋の墓石に雰囲気似ている。



(単位: cm)
 碑石 高さ105/幅61/奥行40
 台石1段目
 高さ34/幅75/奥行66
 台石2段目
 高さ49/幅130/奥行122

【浜田市73】 浜田市旭町来尾 柵田向い **泰雲院殿**

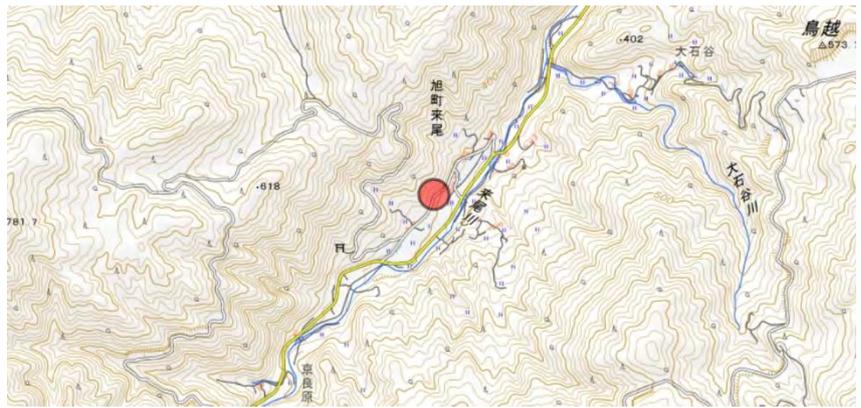
所在地 浜田市旭町来尾 来尾の柵田の向い側

北緯34°49'17.87" / 東経132°20'27.51"



碑石 高さ142/幅52/奥行50
 台石1段目 高さ32/幅91/奥行78
 台石2段目 高さ63/幅119/奥行119
 台石3段目 高さ116/幅228/奥行不明

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 来尾の県道11号から1本西の道路に上がり、「来尾の柵田ビューポイント」の看板が立っている場所の山側にこの碑が立っている。碑の場所は近くのお宅で伺ってすぐにはなかった。碑石はやや大きいサイズだが、台石に大きな石が組み合わさって使っており、3段目は高さが1段を超す巨石を組み合わせてある。道路から2段ほど高い場所に立っているの、見上げるほど大きな碑に見える。周囲はともきれいに手入れされている。



【浜田市74】 浜田市旭町越木 浜田道直下 **井戸正明君碑**

所在地 浜田市旭町越木 浜田道直下 K11 沿い

北緯34°50'32.47" / 東経132°21'12.15"



(単位：cm)
 碑石 高さ123/幅74/奥行28
 台石1段目 高さ25/幅112/奥行83
 台石2段目 高さ20/幅142/奥行138

【建立年】明治32年(1899)
 【建立者】越木中
 【碑石前面】井戸正明君碑
 【碑石右面】明治三十二年一月建之/越木中
 【碑石左面】本村に始めて琉球芋を試作したる者は今於去五十年前当地住民高場為治氏也/発企人/森連川弥太郎/川部……
 【調査の経過】
 浜田道が真上で交わる県道11号の川沿いは来尾川災害復旧事業竣工記念として、桜を10本植えるなど憩いの場となっている。工事の竣工記念碑、力士碑、そして道路向い側から移転した井戸公碑が立ち、庭石がいくつも配置されている。



【浜田市75】 浜田市旭町市木中郡 森迫バス停 **井戸正明君霊**

所在地 浜田市旭町市木中郡 K50 沿い 森迫バス停横

北緯 34° 50' 24.30" / 東経 132° 23' 13.46"



(調査日 2021年10月28日)

【調査の経過】
市木地内を走る県道5号の直線にある森迫橋のたもとにバス停、バス待合所、倉庫などが並ぶ一角にこの碑が堂々と立っている。
黒っぽく、比較的大きな碑は存在感があり、よく目立つ。碑銘には数少ない「霊」の文字があり、呼応するように井戸公の命日も「飯幽」と彫られている。

【建立年】 明治31年(1898)
【建立者】 中郡・宮ノ地講中
【碑石前面】 井戸正明君霊
【碑石左面】 自享保十八年五月廿六日飯幽ノ相當百六十六年ノ明治三十一年十二月卅日立之ノ中郡ノ宮ノ地ノ講中
【そのほか】 文字なし

(単位: cm)
碑石 高さ187/幅120/奥行62
台石 1段目
高さ43/幅143/奥行114
台石 2段目
高さ26/幅184/奥行166



【浜田市76】 浜田市金城町水上谷 集会所先高手 **井戸平左工門**

所在地 浜田市水上谷 集会所約200m先高手

北緯 34° 52' 31.70" / 東経 132° 08' 25.29"

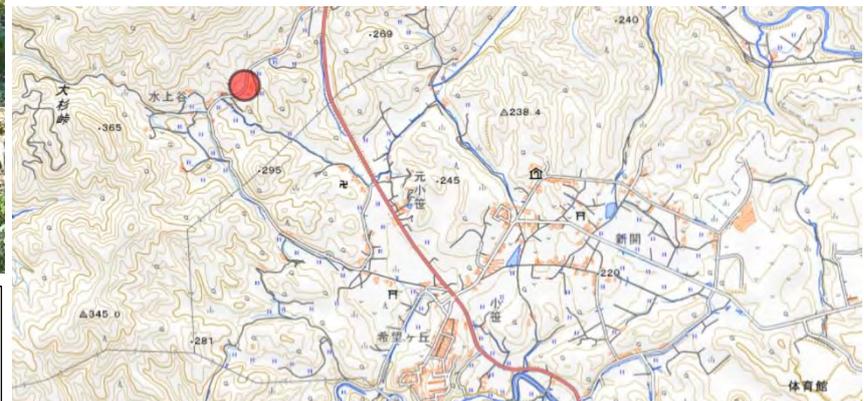


(調査日 2021年10月5日)

【調査の経過】
次碑(No.77)の調査中を通りかかった地元の方に場所を教えただいて向かった。集会所の先を右折して約200mの道路沿い左の高手に立つ。碑石はごつごつした自然石で前面の中央部がふくらんでいるため、文字もそこを避けて彫っている。どの文字も線が細く、達筆とは言えない。「門」の下に蓮の花が彫っているが、これも簡略化されている。素朴なたたずまいに好感が持てる。

【建立年】 不明
【建立者】 不明
【碑石前面】 井戸平左工門
【そのほか】 文字なし

(単位: cm)
碑石 高さ98/幅49/奥行43
台石 高さ17/幅107/奥行134



【浜田市77】 浜田市金城町七条 さざんか向い なし

所在地 浜田市金城町七条 さざんか向い 七条バス停横 R186 沿い

北緯34° 52' 06.93" / 東経132° 08' 55.06"



(単位：cm)
 碑石 高さ117/幅57/奥行36
 台石(石組)
 高さ90/幅167/奥行140

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 国道186号沿いで、道路の向いは介護老人保健施設さざんか。七条バス停の横の広場に4段の石組みがあり、その上に碑が乗っている。地元の方に聞くと3回ほど移転をして、最終的にここに落ち着いたという。前を通る国道もかなり広く、整備が行き届いている。
 碑石は表面、形ともごつごつしており、どの面にも文字はない。しかし、通りがかりの方も認知されているように、地元ではしっかりと井戸公碑と認識されているようだ。花立てにもお供えがしてあった。
 (調査日2021年10月5日)



【浜田市78】 浜田市金城町新開 新開集会所 なし

所在地 浜田市金城町新開 新開集会所

北緯34° 52' 12.61" / 東経132° 09' 16.78"



(単位：cm)
 碑石 高さ92/幅54/奥行39
 台石1段目
 高さ60/幅82/奥行72
 台石2段目
 高さ37/幅111/奥行132

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 広い道路沿いにある新開集会所。庭もかなり広く、東屋、ブランコなどがある。庭の奥まったところに地藏堂とこの碑が立っている。
 草はあったものの、手入れはされていないようだ。
 碑石は目の細かい茶色っぽい自然石。台石1段目は背の高い石を使っている。
 (調査日2021年10月5日)



【浜田市79】 浜田市金城町若林 R186 沿い 蔦屋向い なし

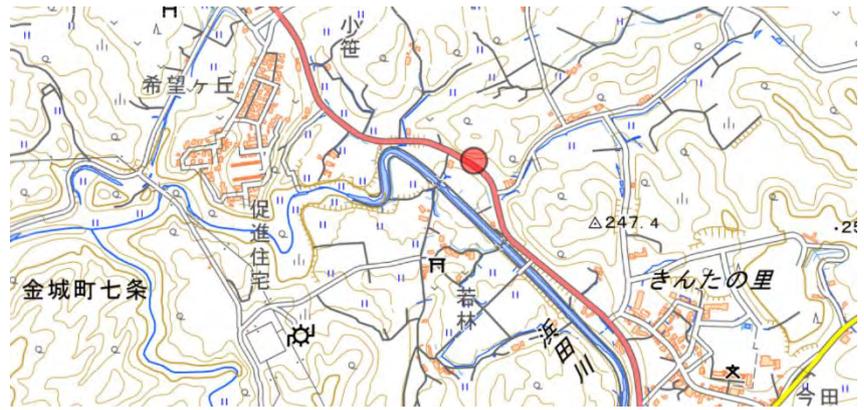
所在地 浜田市金城町若林 R186 沿い 蔦屋向い

北緯 34° 51' 53.68" / 東経 132° 09' 15.52"



(調査日 2021年10月5日)
(写真 2023年3月29日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
国道186号の歩道沿いのブ
ロック擁壁の上に、地藏堂、支
道改修記念碑(明治36年)、井
戸公碑が、道路に向かって立っ
ている。周囲は手入れが行き届
き、ほぼ草のないきれいな状態
だ。
碑石は硬そうな茶色っぽい自
然石で、台石は幅が碑石と同じ
くらいの石。
文字が彫ってなく、情報がない
のが残念。



(単位: cm)
碑石 高さ102/幅73/奥行31
台石 1段目
高さ22/幅69/奥行62
台石 2段目
高さ4/幅93/奥行54

【浜田市80】 浜田市金城町伊木 伊木バス停 40m南 泰雲院

所在地 浜田市金城町伊木 伊木バス停 40m南

北緯 34° 52' 42.95" / 東経 132° 08' 18.34"



(調査日 2021年10月5日)

【建立年】大正2年(1913)
【建立者】伊木区
【碑石前面】泰雲院
【碑石左面】大正二年春建之/伊
木区
【碑石後面】享保十八年/享年六
十二才
【調査の経過】
伊木バス停の約40m南。ガード
レールの間にこの碑が立って
いる。最初からこのように道路
ぎりぎりではなかったと思う
が、道路の拡幅工事であろうな
つたのか、前もすぐ車道、後ろは
急斜面になっている。
碑石は灰色の大きめの自然石
で、広い前面に「泰雲院」の3
文字が力強い。



(単位: cm)
碑石 高さ170/幅100/奥行53
台石(コンクリート)
高さ25/幅130/奥行110

【浜田市 8 1】 浜田市金城町青原 なごみの里横 **井戸公之碑**

所在地 浜田市金城町青原 なごみの里横待避所

北緯 34° 51' 08.90" / 東経 132° 09' 14.54"



(調査日 2021年10月5日)

自然石風のコンクリートの基礎の上に穏やかな雲形の台石を置き、その上に黒っぽい目の細やかな卵形の自然石が立っている。後面の文字も大きく彫られており、気持ちのいい碑だ。

【調査の経過】
青原なごみの里の横に広い待避所があり、その奥にこの碑だけ立っている。

【建立年】大正4年(1915)
【建立者】青原區中
【碑石前面】井戸公之碑
【碑石後面】大正四年八月建之
青原區中 / 地所寄附主 静岡守代

【そのほか】文字なし

(単位: cm)
碑石 高さ102/幅70/奥行28
台石 1段目
高さ30/幅120/奥行98
台石 2段目 (コンクリート)
高さ52/幅147/奥行128



【浜田市 8 2】 浜田市金城町今田 永徳寺下 **泰雲院**

所在地 浜田市金城町今田 永徳寺下

北緯 34° 51' 20.41" / 東経 132° 09' 36.98"



(調査日 2021年10月5日)

碑石は茶色っぽい自然石で高さが230cmあり、金城町では最も高い。建立年は彫ってあるが、建立者名がないのが残念。

【調査の経過】
永徳寺の下の道路沿いの少し奥まったところに、地藏堂、寺田八百助翁の碑とこの碑が立っている。碑の周りは舗装してあることもあってきれいにしてある。

【建立年】大正15年(1926)
【建立者】不明
【碑石前面】泰雲院
【碑石右面】大正十五年三月建之
【そのほか】文字なし

(単位: cm)
碑石 高さ230/幅79/奥行39
台石 高さ36/幅155/奥行83



【浜田市 8 3】 浜田市金城町下来原吉留 八幡宮前の丘 泰雲院殿碑

所在地 浜田市金城町下来原吉留 下来原八幡宮前の丘

北緯 34° 51' 46.25" / 東経 132° 10' 24.41"



(調査日 2021年10月5日)

【建立年】明治 37 年 (1904)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石右面】明治卅七年三月建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 下来原八幡宮の東約 150 坪
 にある丘の上に立つ。階段と手
 すりが設置され、地元の皆さん
 が「吉留芋地蔵さんの由来」と
 いう看板も立て、訪れやすくし
 ている。
 白っぽい自然石で、前面に碑
 銘、右面に建立年が彫られてい
 るが、建立者名はない。
 いつも周囲はきれいにしてい
 る、毎年 11 月 23 日の朝に供養
 をしているという。



(単位: cm)

碑石 高さ142/幅68/奥行35
 台石 高さ28/幅142/奥行85

【浜田市 8 4】 浜田市金城町下来原 上組集会所前 泰雲院殿碑

所在地 浜田市金城町下来原 上組集会所道路向い

北緯 34° 51' 48.78" / 東経 132° 11' 32.86"



(調査日 2021年10月5日)

【建立年】明治 37 年 (1904)
 【建立者】谷中有志
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石左面】明治三十七年七月建
 之 / 願主岡本信太 / 外谷中有
 志
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 上組集会所は四辻に立っており、
 集会所の向い側の斜面を、
 井戸公碑設置場所として整備
 している。道路からの進入路は
 スロープを造り、その上に石組
 みを組んで平面を造り、3 段の
 台石を積んで碑を建てるとい
 うていいねいさだ。
 碑石は目の細やかな灰色の自
 然石で、しめ縄が巻いてある。



碑石 高さ100/幅54/奥行17
 台石 1 段目
 高さ27/幅76/奥行43
 台石 2 段目
 高さ42/幅113/奥行83
 台石 3 段目
 高さ52/幅177/奥行不明

【浜田市 85】 浜田市金城町下来原 金田集会所先 400m **泰雲院殿塔**

所在地 浜田市金城町下来原 金田集会所先 400m

北緯 34° 52' 14.91" / 東経 132° 10' 48.91"



〔建立年〕慶應元年（1865）
 〔建立者〕金田・吉富・長屋・上組・七町・坂原講中
 〔碑石前面〕泰雲院殿塔（下に）松龍菴住大橋／山本富太郎代
 〔碑石右面〕慶応元丑年十月日／村長山本泰蔵／發主佐々田勤之助
 〔碑石左面〕講中／金田 吉富 長屋／上組 七町 坂原
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 金田集会所付近の家で尋ねて場所が判明、集会所から約400 以奥にあった。
 道路沿いをかなり広く整地して碑の場所としており、手入れもされている。この碑は6つの地区の皆さんが協力して建てている。これにもしめ縄が巻いてある。
 （調査日 2021年 10月 5日）



(単位：cm)
 碑石 高さ164/幅73/奥行63
 台石 高さ8/幅124/奥行124

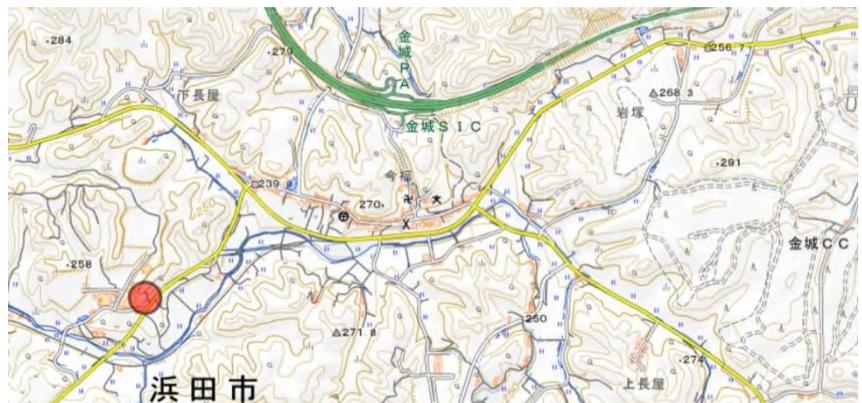
【浜田市 86】 浜田市金城町下来原 下長屋集会所裏 **なし**

所在地 浜田市金城町下来原 下長屋集会所裏山

北緯 34° 52' 35.52" / 東経 132° 10' 57.12"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕なし
 〔碑石・台石〕文字なし
 〔調査の経過〕
 下長屋集会所の裏に回ると、裏山に上がる石段が10段あり、それを上がったところに祠と井戸公碑が立っている。
 碑石は一見墓石型に見えるが、目のやや粗い自然石で、磨いてなく、文字も全く彫られていない。台石に見える石も前に置いてあるもの。
 祠と碑の周囲はきれいに手入れされていて、草は生えていなかった。
 この碑にもしめ縄が巻いてある。
 （調査日 2021年 10月 5日）



(単位：cm)
 碑石 高さ123/幅56/奥行53

【浜田市 87】 浜田市金城町上来原 農村公園 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 浜田市金城町上来原 上来原八幡宮下の農村公園

北緯 34° 50' 11.82" / 東経 132° 10' 04.76"



【建立年】明治24年（1891）
 【建立者】神藤兵治
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】施主神藤兵治／明治廿四年旧二月吉日／世話人／佐々木玄太／田原常治／田原兼太
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】上来原八幡宮の下にある農村公園。その八幡宮側の隅にこの碑が立っている。碑石は灰色の目の粗い自然石で、前面の中央だけ平らに磨いて碑銘が彫ってある。台石は割と広い範囲をコンクリートで固め、周囲に石がはめ込まれている。この碑にもしめ縄が巻いてある。
 （調査日2021年10月7日）



(単位：cm)
 碑石 高さ173/幅103/奥行63
 台石 高さ23/幅227/奥行181

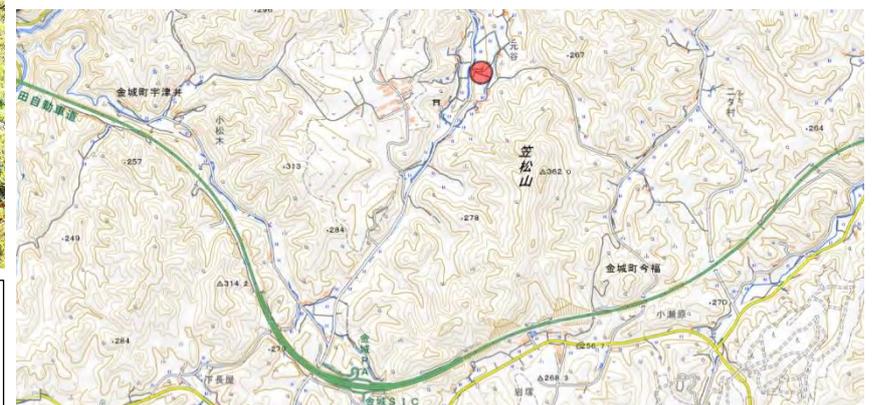
【浜田市 88】 浜田市金城町今福元谷 辻屋入口 泰雲院

所在地 浜田市金城町今福元谷 辻屋入口

北緯 34° 53' 51.14" / 東経 132° 11' 58.10"



【建立年】明治30年（1897）
 【建立者】山原
 【碑石前面】泰雲院
 【碑石右面】明治参拾酉年七月／山原立
 【碑石左面】世話人／植田善平／植田吉太／羽手原耕太郎
 【碑石後面】世話人／梅田努太／植田屋太／後倉太
 【調査の経過】浜田道の北にある元谷はなかなか棚田が広がる、農村景観の美しい地域で、この碑も田んぼに挟まれたなだらかな丘の上に立っているが、周囲は見事に草が刈ってあった。碑石はかぎ型に曲がった変わった形をしており、その下半分に碑銘が大きく彫ってある。
 （調査日2021年10月14日）



(単位：cm)
 碑石 高さ108/幅32/奥行38
 台石 高さ26/幅72/奥行70

【浜田市 89】 浜田市金城町今福二夕村 二夕村集会所 なし

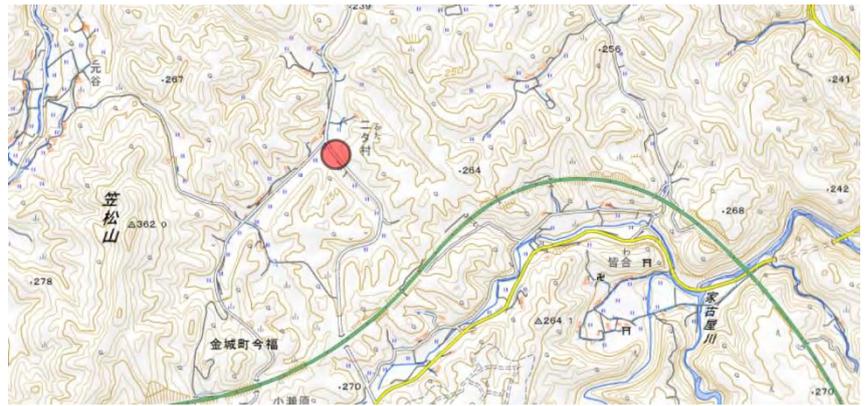
所在地 浜田市金城町今福二夕村 二夕村集会所

北緯 34° 53' 43.92" / 東経 132° 12' 44.19"



(調査日 2021年10月14日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 今福まちづくりセンターの紹介による。
 二夕村集会所の前、道路境の側溝ぎりぎりに立っている。「島根県」の標柱はそのため。碑石は濃い灰色の自然石、台石一段目はコンクリート、2段目は円形の土管という構成になっている。
 文字は全く彫られていないが、地域の皆さんは芋地蔵として親しんでおり、碑石の前には線香立てが置いてあった。



(単位: cm)

碑石 高さ92/幅37/奥行42
 台石1段目(コンクリート)
 高さ10/幅90/奥行80
 台石2段目(土管)
 高さ30/幅74/奥行74

【浜田市 90】 浜田市金城町今福皆合 安楽寺 なし

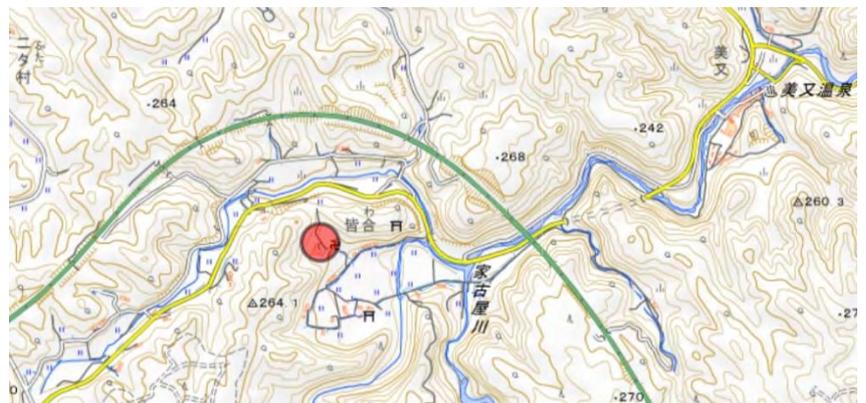
所在地 浜田市金城町今福皆合 安楽寺車参道沿い

北緯 34° 53' 27.61" / 東経 132° 13' 25.75"



(調査日 2021年10月7日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 安楽寺の車の参道沿いの最後のカーブ外側。
 斜面に立っているため、台石の奥行が計測できなかった。
 碑石は白っぽく、目の粗い自然石。前に少し傾いている。文字は何も彫られていない。



(単位: cm)

碑石 高さ140/幅83/奥行33
 台石 高さ57/幅205/奥行不明

【浜田市91】 浜田市金城町上長屋 JA施設近く十字路下 **なし**

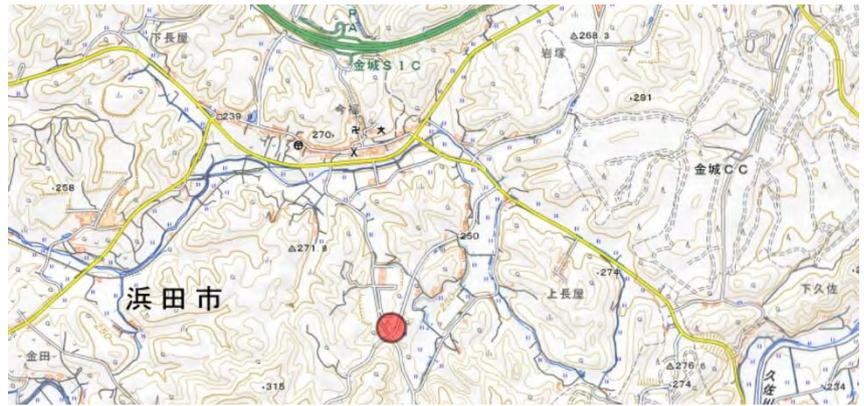
所在地 浜田市金城町上長屋 JA育苗施設南の交差点降りる

北緯34° 52' 20.80" / 東経132° 11' 40.64"



(調査日2021年10月11日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 今福まちづくりセンターの紹介による。
 JA育苗施設の南側に広い交差点があり、その交差点の斜面を下りたところに、祠とこの碑が立っている。前は広場になっており、共通の台石として厚さ約30センチのコンクリートの台がある。
 碑石は灰色の目の細かい自然石。文字は何も彫っていない。しめ縄が巻いてある。縄は傷んでいるが紙垂は最近のものに見える。



(単位：cm)

碑石 高さ62/幅42/奥行28

【浜田市92】 浜田市金城町上長屋 上長屋集会所南 **井戸正明碑**

所在地 浜田市金城町上長屋 上長屋集会所南 道路沿い

北緯34° 52' 28.70" / 東経132° 11' 57.23"



(調査日2021年10月14日)

【建立年】明治25年(1892)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸正明碑(右に) 紀元二千五百五十二年冬建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 上長屋集会所の南の道路沿い。道路東側の側溝の外のスペースに、コンクリートで約60センチの高さの台を造り、その上に祠とこの碑が立っている。
 コンクリートの台の前中央部に「建之/平成14年4月吉日」と書いてある。上に乗っている二つをここにまとめたのが平成14年だったということだろう。
 碑石は黒っぽい自然石。前に花立てと線香置きを組み合わせた台が置いてある。



(単位：cm)

碑石 高さ110/幅55/奥行36

【浜田市93】 浜田市金城町小瀬原 温泉入口バス停 なし

所在地 浜田市金城町小瀬原 温泉入口バス停 ガソリンスタンド向
北緯34° 53' 03.71" / 東経132° 12' 47.45"



(調査日2021年10月5日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】なし
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
今福から美又に向かう大きな交差点のガソリンスタンドの前にバス停があり、その奥の斜面に立っている。
碑石に対して台石がかなり大きく、ていねい。
碑石は灰色つぼく目の粗い自然石。碑石にも台石にも何も文字は彫ってない。

(単位：cm)
碑石 高さ109/幅36/奥行31
台石1段目
高さ20/幅117/奥行93
台石2段目
高さ23/幅107/奥行122



【浜田市94】 浜田市金城町今福 久佐川集会所東 泰雲院殿

所在地 浜田市金城町今福 久佐川集会所東 100m K5 沿い
北緯34° 52' 40.26" / 東経132° 13' 23.99"



(調査日2021年10月11日)

【建立年】明治40年(1907)
【建立者】久佐川・中倉
【碑石前面】泰雲院殿(右に)明治四十年(左に)久佐川/中倉 / 丁未一月建設
【調査の経過】
県道5号沿いにある久佐川集会所を過ぎて東へ約100m進んだところにある待避所に、水子地藏堂と並んで立つ。
碑石は茶色つぼく目の粗い自然石で167cmと大きく、上がとがっている。
台石に見える石は前石で、後ろ側には石を置いたり土を盛ったりして支えているようだ。
前を走る県道も広く、待避所も広いので、そこにある大きな碑は存在感がある。

(単位：cm)
碑石 高さ167/幅74/奥行62



【浜田市95】 浜田市金城町久佐山根原 K114 T字路 なし

所在地 浜田市金城町久佐山根原 K114 T字路 久佐まちセン北150m
北緯34°51'40.75" / 東経132°12'30.57"



碑石 高さ114/幅66/奥行24
台石1段目
高さ7/幅80/奥行80
台石2段目
高さ7/幅145/奥行88
台石3段目(コンクリート)
高さ55/幅182/奥行不明

(調査日2021年10月7日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】なし
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
県道114号沿いにある久佐まちづくりセンターの北約150mの、集落におけるT字路の道路沿いに立つ。
側溝に沿って高さ約55cmのコンクリートの台を造り、その上に2段の台石がある碑が乗る。道路工事の際にここに移動してきたか。
碑石は茶色っぽい目の細やかな自然石で、文字は何も彫っていない。
碑にはしめ縄が巻いてある。



【浜田市96】 浜田市金城町小原谷 小原谷集会所向い 不明

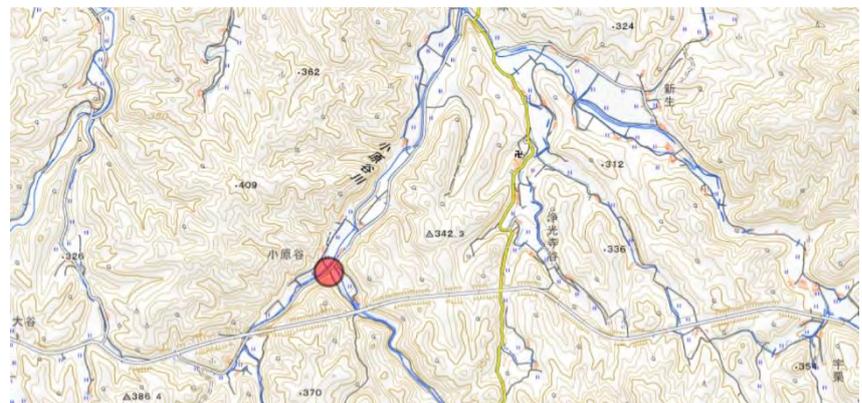
所在地 浜田市金城町小原谷 小原谷集会所向い 榎木地藏堂横
北緯34°56'56.09" / 東経132°12'05.13"



碑石 高さ124/幅73/奥行54
台石1段目
高さ18/幅88/奥行不明
台石2段目
高さ24/幅104/奥行不明
台石3段目
高さ24/幅112/奥行50

(調査日2021年10月7日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】不明
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
小原谷集会所の道路向いにある榎木地藏堂の隣に立つ。集会所の前の橋を渡ると「抱月ふる里公園」で島村抱月文学碑などがある。
井戸公碑は道路沿いの地藏堂の隣に窮屈そうに立っており、碑石も台石も斜面ぎりぎりだ。湿気が多そうな場所で、かなり苔が生えている。
碑石は茶色っぽい自然石で、軟らかさでもないが、前面がえぐれていて、ここに碑銘が彫ってあったのかもしれないが、全く読めない。



【浜田市97】 浜田市金城町美又 美又温泉向い K50 沿い **泰雲院殿碑**

所在地 浜田市金城町美又 美又温泉向い K50 沿い

北緯34° 53' 42.82" / 東経132° 14' 16.56"



(調査日2021年10月7日)

【建立年】明治27年(1894)
 【建立者】美又組
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石右面】明治二十七年十月二十三日 美又組
 【調査の経過】
 以前は違う場所にあったようだが、現在は美又温泉の前を通る県道50号沿いに立っている。移転してきたときに造られたと思われるコンクリートの台石には、花立て用の穴もあけられ、そこにステンレスの花立てが入れている。
 碑石は茶色の目の粗い自然石。花立てには造花が供えられていた。

(単位: cm)
 碑石 高さ101/幅54/奥行33
 台石1段目(コンクリート)
 高さ18/幅100/奥行100



【浜田市98】 浜田市金城町追原 植松集会所 **なし**

所在地 浜田市金城町追原 植松集会所

北緯34° 55' 38.50" / 東経132° 14' 02.91"



(調査日2021年10月7日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 道路から植松集会所に入ると、建物の手前の左側に、訪問者を迎えるように立っている。碑石は灰色の目の粗い自然石で高さが136センチで、幅115センチ。上がとがったひし形をしている。驚くのは厚さが10センチしかないこと。この状態で割れたりすることなく、よく持っている。それを支える台石は幅241センチもある広いもの。この碑石と台石の組み合わせは存在感があるもの。
 残念ながら文字はどこにも何も彫ってなく、情報がない。

(単位: cm)
 碑石 高さ136/幅115/奥行10
 台石 高さ26/幅241/奥行112



【浜田市99】 浜田市金城町入野 岡本氏宅100m先法面 **なし**

所在地 浜田市金城町入野 岡本氏宅100m先法面

北緯34°54'36.96" / 東経132°12'29.14"



(単位：cm)
碑石 高さ108/幅64/奥行30

(調査日2021年10月7日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】なし
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
美又まちづくりセンターの紹介による。
入野の岡本氏宅を約100m東に進むと、道路から約1・5mの高さの法面に白っぽい石を発見。かなり背の高い草に覆われていたが、草を刈るとその姿が見えてきた。
碑石は灰色で目の粗い感じの自然石。文字は何も彫っていない。碑の前のペットボトルに造花が挿してあった。
斜面の下の方に台石の部分と思われる石が何個か落ちていた。



【浜田市100】 浜田市金城町入野 越沢集会所 **泰雲院殿碑**

所在地 浜田市金城町入野 越沢集会所

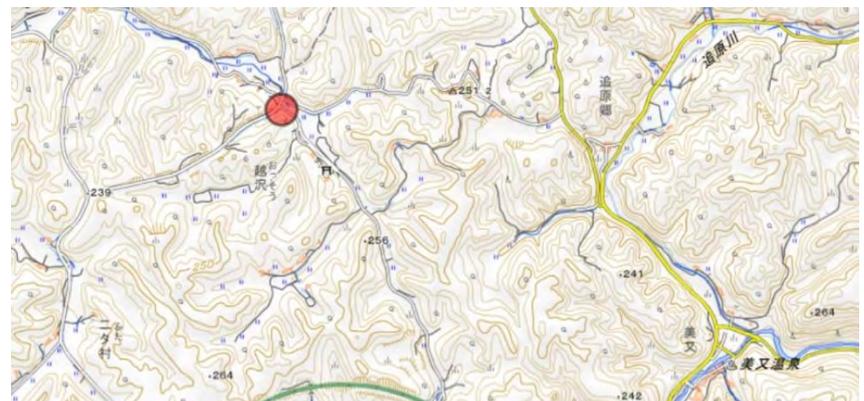
北緯34°54'14.15" / 東経132°13'15.08"



(単位：cm)
碑石 高さ135/幅49/奥行32
台石1段目
高さ28/幅70/奥行58
台石2段目(コンクリート)
高さ43/幅100/奥行90

(調査日2021年10月7日)

【建立年】明治24年(1891)
【建立者】當谷中
【碑石前面】泰雲院殿碑
【碑石左面】明治廿四年/二月日
/當谷中/發起人/岡本友人
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
越沢集会所の前に立つ。碑石は墓石型に見えるが、自然石である。黒っぽい石で目が粗く、左面の文字はかなり大きく彫ってあるが読みにくい。
一段目の台石が変わっていて、碑石をセメントに埋めて、周囲に薄い石を貼り付けて整形してあるようだ。



【浜田市101】 浜田市金城町追原 大元坂本谷十字路 **泰雲院**

所在地 浜田市金城町追原 大元坂本谷十字路

北緯34° 54' 43.65" / 東経132° 14' 30.35"



(調査日2021年10月11日)

〔調査の経過〕
大元坂本谷の細い道の左カーブの外側に広場があり、そこにこの碑が立っている。
碑石は灰色の目の細かくない自然石で、碑銘もやや細く、その左右の文字も線が細くて浅いため読みにくい。井戸公の没年、名前が違っている。
台石はないが、小石で碑石の周囲を丸く囲んだような形跡が見える。

【建立年】明治30年(1897)
【建立者】當谷中
【碑石前面】泰雲院(右に)享保十五年五月/井戸平工門(左に)明治三十年/八月十三日建之(下に)當谷中
【そのほか】文字なし



(単位: cm)

碑石 高さ95/幅58/奥行45

【浜田市102】 浜田市金城町追原 福原集会所向い **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 浜田市金城町追原 K41 沿い 福原集会所向い 宮本氏宅横

北緯34° 54' 45.00" / 東経132° 14' 58.93"



〔調査の経過〕
金城町で唯一の墓石型だが、碑石が後ろに倒れている。碑石は割れたりはしていない。

【建立年】明治30年(1897)
【建立者】追原原組・大倉谷・平□組・板木谷組
【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
【碑石右面】享保十八年五月二十六日/井戸平左衛門正明吏「碑石左面」明治三十年旧六月十三日建之「二段目台石前面」世話人/追原/原組十四人/森□治/大倉谷八人/松原良助/平□組十一人/守関太/□□組十七人/竹中保治/板木谷組十三人/□□十三人

(調査日2021年10月11日)

碑石 高さ77/幅32/奥行31
台石1段目
高さ24/幅53/奥行53
台石2段目
高さ25/幅64/奥行64
台石3段目
高さ27/幅88/奥行90
台石4段目(石組)
高さ60/幅177/奥行172



【浜田市103】浜田市金城町追原 大元集会所左上 **泰雲院**

所在地 浜田市金城町追原 K41 沿い 大元集会所左上の坂道

北緯34°54'25.20" / 東経132°14'16.28"



(調査日2021年10月11日)

〔そのほか〕文字なし
 大元集会所「コミュニティ大元」の後ろの坂道を上がると、路面から約2mの高さに地藏堂とこの碑が立っている。前まではきれいに草が刈ってあったが、横と後ろは草が残っており、かなり急な斜面で草を刈りながら文字を読んだ。
 碑石は目の細かな灰色の自然石で、傷みはなく、きれいに残っている。

【建立年】明治30年(1897)
 【建立者】追原組
 【碑石前面】泰雲院
 【碑石後面】明治三十年/八月廿日建之/追原組/上組/中組/下組/栗市谷/世話人/松原京治
 【調査の経過】

(単位: cm)
 碑石 高さ128/幅64/奥行42
 台石 高さ25/幅77/奥行44



【浜田市104】浜田市金城町追原 大元美又線無線塔向い **芋代官碑**

所在地 浜田市金城町追原 大元美又線無線塔向い

北緯34°54'09.25" / 東経132°14'42.94"



(調査日2021年10月11日)

〔そのほか〕文字なし
 追原の大元美又線の頂上付近に無線塔があり、その前に地藏堂とこの碑が立っている。地藏堂の後ろは広場になっている。碑石は御影石と思われ、2段目の台石がコンクリートであることや文字からみて、比較的新しいものに思われるが、ほかに文字がないので判断できない。「芋代官」の碑銘は金城町では唯一のもの。
 碑の後ろに卒塔婆が2本あり、1本には平成30年の文字があるので、供養をされているようだ。

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】芋代官碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】

(単位: cm)
 碑石 高さ68/幅30/奥行23
 台石1段目
 高さ20/幅63/奥行55
 台石2段目(コンクリート)
 高さ20/幅105/奥行97



【浜田市105】 浜田市金城町小国柚根東 K52 から東へ **井戸正明之碑**

所在地 浜田市金城町小国柚根東 K52 柚根バス停から東へ500m

北緯34°49'25.79" / 東経132°13'45.05"

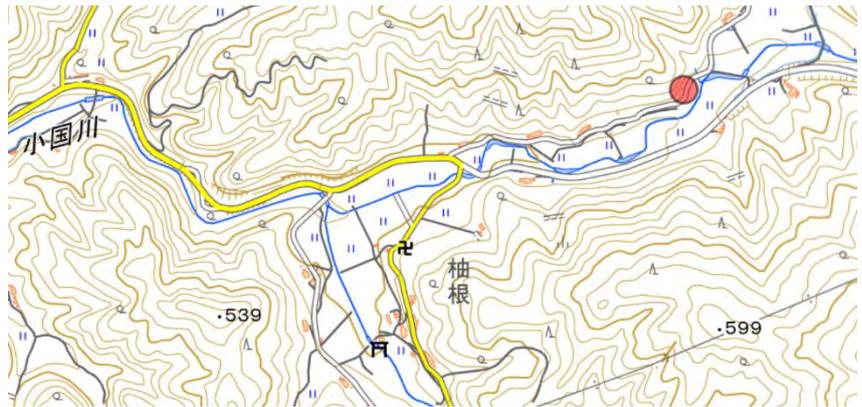


(単位：cm)

碑石 高さ110/幅51/奥行22

(調査日2021年10月14日)

【建立年】明治26年(1893)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸正明之碑(右に) 紀元式千五百五拾三稔(左に) 明治式拾六年建之
 【そのほか】文字不明
 【調査の経過】
 小国の県道52号の柚根バス停を左折して細い道を約500m行くと左側の側溝の外に場所を造り、左に石碑、右側に地藏、真ん中に井戸公碑を置いて、それぞれ屋根がつけてある。前は開けているが横と後ろは壁がすぐあるので、碑の横と後ろに文字があるかどうかは不明。
 碑石は茶色の自然石で、文字には黒い色が入れている。



【浜田市106】 浜田市金城町小国上徳田 K114 沿い **井戸正明碑**

所在地 浜田市金城町小国上徳田 K114 沿い

北緯34°49'26.95" / 東経132°12'53.84"



(単位：cm)

碑石 高さ98/幅63/奥行25
 台石 高さ26/幅76/奥行54

(調査日2021年10月14日)

【建立年】明治36年(1903)
 【建立者】上徳田講中
 【碑石前面】井戸正明碑(右に) 明治三十六年建之(左に) 上徳田講中/世話人/石橋順太
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道52号から同114号に折れてすぐの道路左手、約3mの高さにこの碑だけが立つ。なぜこんなに高い場所に立っているのか不明。気をつけて探さないと、草に覆われていて見逃しそう。
 碑石は前碑(No.105)と同じ茶色の自然石。傷みはないようだ。細い文字で彫られている。



【浜田市107】 浜田市金城町小国徳田下 K52 沿い **井戸正明之碑**

所在地 浜田市金城町小国徳田下 K52 沿い

北緯 34° 49' 16.17" / 東経 132° 12' 12.28"



(調査日 2021年10月14日)

【建立年】 明治 31 年 (1898)
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 井戸正明之碑 (右に)
 明治三十一年八月吉日
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】
 県道 52 号の中徳田バス停近く。道路東側の斜面を利用して地藏堂とこの碑が立っている。道路の側溝の外にブロック 3 段の基礎をして、斜面側もブロックで囲んで、右に地藏堂、左に井戸公碑が並んでいる。碑石は目の粗い濃い茶色の自然石で、文字には白い塗料が入れている。
 昭和 57 年にここに移動してきたよう、碑の隣に小ぶりの遷座記念碑が立っている。



(単位: cm)
 碑石 高さ128/幅64/奥行52
 台石 高さ19/幅79/奥行91

【浜田市108】 浜田市金城町小国 最中山神社横 **井戸正明之碑**

所在地 浜田市金城町小国 最中山神社横

北緯 34° 48' 56.89" / 東経 132° 11' 51.53"



(調査日 2021年10月11日)

【建立年】 昭和 30 年 (1955)
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 井戸正明之碑
 【碑石後面】 昭和三十年九月改建
 【そのほか】 文字なし
 【調査の経過】
 小国の最中山神社の西側。すぐ近くの和田さんが土地を提供されたという。道路から、少し奥にある碑の前まできれいに手入れされ、碑までに 3 段の石段を上げる。周囲は大きな石で囲まれ、その上に美しく剪定された庭木が配置されて、まさに日本庭園の趣。
 碑石は灰色の目の細かい自然石で、後面文字とは別に、奥に遷座記念碑があり、それには昭和 57 年とあるので、最終的にはこの年に落ち着いたのだろう。



(単位: cm)
 碑石 高さ112/幅66/奥行16
 台石 1 段目
 高さ43/幅127/奥行77
 台石 2 段目
 高さ40/幅177/奥行88

【浜田市109】浜田市金城町小国 R186 新小国橋の西 なし

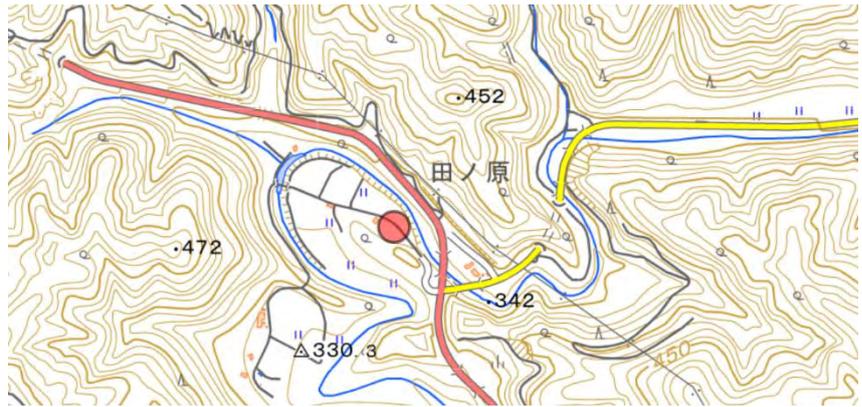
所在地 浜田市金城町小国 R186 新小国橋南を西へ下る

北緯34°48'42.45" / 東経132°10'41.25"



(単位：cm)
碑石 高さ82/幅57/奥行30

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】なし
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
国道186号を県道52号と反対の細い道を下りると、道路左手にすぐある。側溝の山側に幅250cmのコンクリートの台を造り、その上にさらに高さ50cm、幅150cmの台を作って、その上に碑が立っている。台石に見える石は前に置いてある石である。
碑石は目の細かな黒っぽい自然石で、文字は全くない。コンクリートの広い台の真ん中にこの碑だけが立っている姿から、地域の皆さんに大切にされていることがうかがえる。
(調査日2021年10月11日)



【浜田市110】浜田市金城町波佐 R186 沿い まちセン南 (家紋)井戸霊位

所在地 浜田市金城町波佐 R186 沿い 波佐まちづくりセンター南150m

北緯34°46'35.57" / 東経132°11'57.27"



(単位：cm)
碑石 高さ128/幅54/奥行33
台石 高さ8/幅95/奥行67

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】(家紋) 井戸霊位
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
波佐まちづくりセンターの南約150mの国道186号沿い。道路東側の斜面を利用して祠とこの碑が立っている。道路の側溝の外の広場に高さ約60cmの基礎をして、斜面側も石とブロックで囲んで、左に祠、右に井戸公碑が並んでいる。
碑石は黒っぽい自然石で、井戸公の家紋「遠い鷹の羽」を入れる。「井戸霊位」と彫られている。「霊位」の文字も珍しいが家紋が入った碑は非常に珍しい。周辺は舗装しており、とてもきれいにしている。
(調査日2021年10月11日)



【浜田市111】 浜田市弥栄町安城 畑 泰雲院殿之墓

所在地 浜田市弥栄町安城 畑 分教場跡近く 道路沿い
 北緯34°49'06.88" / 東経132°07'51.90"



(単位：cm)
 碑石 高さ108幅45/奥行25
 台石 高さ21/幅55/奥行52

【建立年】明治30年(1897)
 【建立者】畑組中
 【碑石前面】泰雲院殿之墓
 【碑石右面】明治三十丁酉年五月八日
 【碑石左面】畑組中/世話人長野専太
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 視界が開けた場所。弥栄自治区が以前に作成した「芋地藏さん拝観MAP」の表紙になった碑。道路沿いに土を盛り上げて高くし、その上に碑を建てている。下が細く上が太いので不安定に見える。
 碑石は茶色っぽい自然石で傷みはなく、文字も大きく彫られていることもあってよく読める。
 (調査日2021年10月20日)



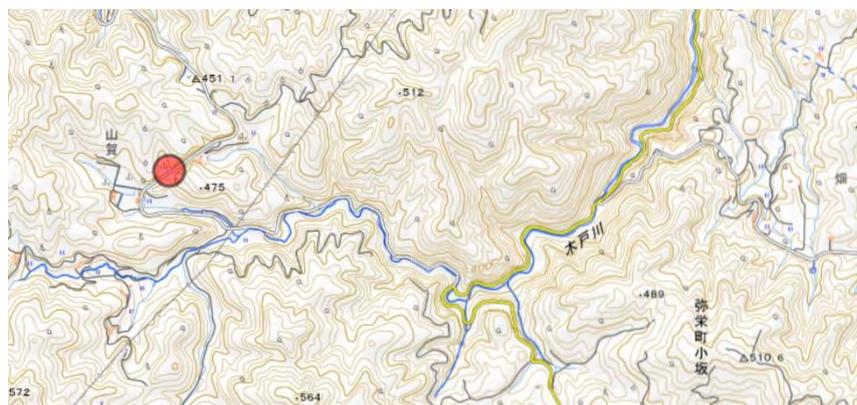
【浜田市112】 浜田市弥栄町安城 山賀 集会所上150m なし

所在地 浜田市弥栄町安城 山賀 集会所上150m道路沿い地藏堂横
 北緯34°48'45.09" / 東経132°06'03.33"



(単位：cm)
 碑石 高さ82/幅42/奥行43

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 山賀集会所の東北約150mの道路沿いにある。坂道の道路沿いに赤瓦の地藏堂があり、その右側にこの碑が立っている。弥栄町の碑には、前述のMAP制作時に同支所が碑のそばに木製の番号札を設置しており、それが発見の目安になった。MAPによると地藏堂と共に何度か移動してきたという。調査時は碑の周りを相当な草が覆っていたが、草をある程度刈って調査を進めた。
 碑石は黒っぽい自然石。文字は何も彫っていない。
 (調査日2021年10月20日)



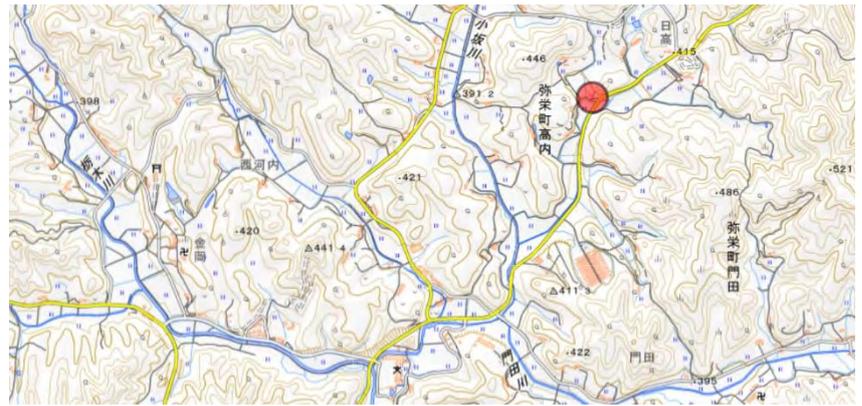
【浜田市 1 1 3】 浜田市弥栄町高内 日高集会所 **井戸碑**

所在地 浜田市弥栄町高内 K52 沿い 日高集会所

北緯 34° 47' 33.74" / 東経 132° 07' 15.13"



【建立年】 不明
 【建立者】 不明
 【碑石前面】 井戸碑
 【そのほか】 文字なし
 「調査の経過」
 県道52号から日高集会所への坂道の進入路の右側に、赤瓦を葺いたブロック造りの地藏堂があり、その左に井戸公碑が立っている。
 碑石は目の粗い感じの灰色の自然石で、前面に大きく「井戸碑」と彫られ、ほかに文字はない。台石に見えるのは前石で、少し離れて置いてある。
 碑の右側にあるのが、弥栄支所が設置した木製の井戸公碑の番号札。倒れたり、番号が消えたりしているものが多く、ここでは番号が消えている。
 (調査日 2021年 10月 14日)



(単位：cm)

碑石 高さ131/幅54/奥行37

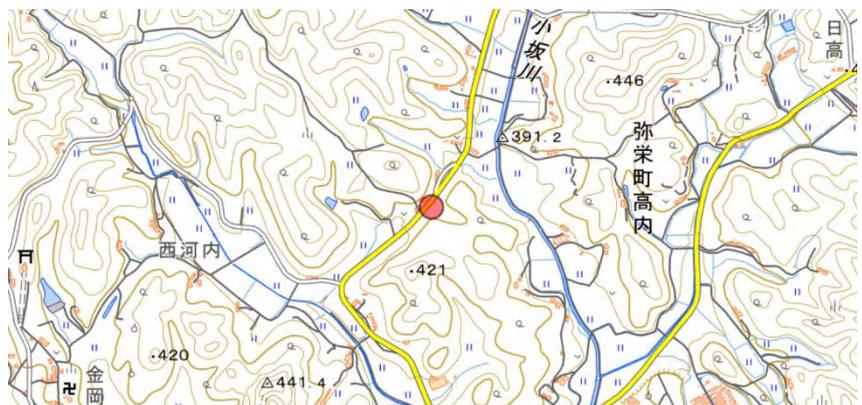
【浜田市 1 1 4】 浜田市弥栄町小坂 K179 沿い **泰雲院殿義岳良忠大居士**

所在地 浜田市弥栄町小坂 K179 沿い 二宮金次郎碑の左

北緯 34° 47' 28.54" / 東経 132° 06' 47.24"



【建立年】 昭和3年 (1928)
 再建
 【建立者】 小坂郷区中
 【碑石前面】 泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石左面】 昭和三年八月再建 / 發企者 小坂壮年修養会 / 施主 小坂郷区中
 【そのほか】 文字なし
 「調査の経過」
 小坂地内の県道179号の東側、木に囲まれた中に太子堂と3基の石碑が並ぶ広場がある。その一番左が井戸公碑(新)。昭和3年に再建された。
 碑石は軟らかそうな石で、全体を見ると墓石型だが、中央部は元の石の形を活かした、珍しいもの。台石も4面とも周辺部は削り中央部は元の形を生かしている。



(単位：cm)

碑石 高さ113/幅54/奥行24
 台石 高さ20/幅76/奥行52

【浜田市115】 浜田市弥栄町小坂 K179 沿い **不明**

所在地 浜田市弥栄町小坂 K179 沿い 二宮金次郎碑の右

北緯 34° 47' 28.54" / 東経 132° 06' 47.24"



(単位：cm)

碑石 高さ77/幅52/奥行18

(調査日 2021年 10月 14日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字不明
 【調査の経過】
 前碑 (No.114) の続き。
 太子堂の左側にコンクリートで高さ20センチの広い台があり、左から井戸公碑(新)、二宮金次郎碑、この碑の3碑が並んでいる。一番右のこの碑は、昭和3年に再建された碑の旧碑である。自然石の碑で、幅が52センチで奥行が18センチ。何らかの理由で折れるか倒壊したのだろう。下しが残っており、文字も読めないが、下部だけとはいえず、しっかりと残って立っている。No.115として登録する。碑の後ろには卒塔婆が何本もあり、定期的には供養されていることがわかる

▷太子堂の横の、共通の台石に乗っている3碑。
 右から井戸公碑(旧)、二宮金次郎碑、井戸公碑(新)



【浜田市116】 浜田市弥栄町西河内 六地藏横 **なし**

所在地 浜田市弥栄町西河内 六地藏横

北緯 34° 47' 23.97" / 東経 132° 06' 23.44"



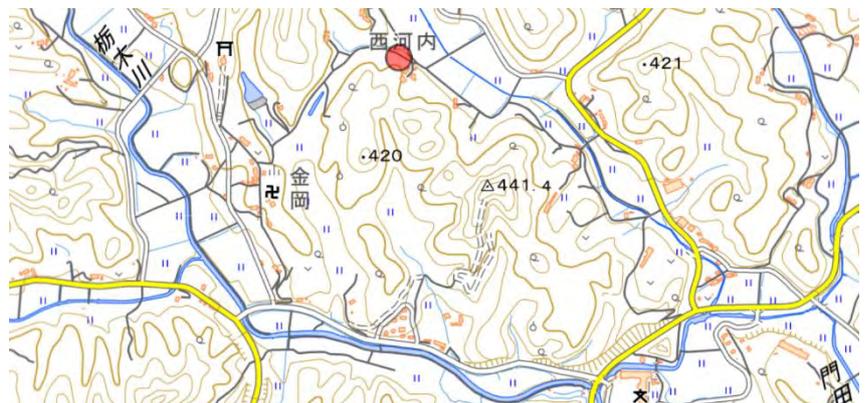
(単位：cm)

碑石 高さ98/幅60/奥行34

台石 高さ30/幅134/奥行123

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 道路から個人宅の墓地に上がる坂道の右手に、この碑と六地藏を祀る地藏堂がある。地藏堂の隣には「第十六番西河内六地藏」、碑の隣には文字が消えかけているが「泰雲院殿碑」と書いた標柱が立っている。
 碑石は目の細かい灰色の自然石で、多少苔が生えている。台石は少し散乱気味だが、たくさん石で碑石を下から抱きかかえるように支えている。周囲はほぼきれいで、地域の皆さんに大事にされていることがわかる。

(調査日 2021年 10月 14日)



【浜田市117】 浜田市弥栄町栃木 金岡集会所向い **泰雲院殿之碑**

所在地 浜田市弥栄町栃木 金岡集会所向い

北緯34° 47' 16.26" / 東経132° 06' 10.62"



(調査日2021年10月14日)

「そのほか」文字なし
 「調査の経過」
 金岡集会所の道路向いに広場があり、道路を正面にして地藏堂とこの碑が立っている。地藏堂は赤瓦が新しいのですがわかるが、その右側に立っている井戸公碑は周りに植えられた庭木が大きくなって道路からは見えにくくなっている。
 碑石は少し目の粗い灰色の自然石で、高さ156センチと大ぶり。台石も高さ49センチもある大きな一枚岩だ。傷みはなさそうに見える。

【建立年】明治34年(1901)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿之碑(右に) 明治三十四年(左に) 八月二十一日



(単位: cm)

碑石 高さ156/幅77/奥行52
 台石 高さ49/幅105/奥行97

【浜田市118】 浜田市弥栄町六歩谷 集会所横 **泰雲院殿墓**

所在地 浜田市弥栄町六歩谷 集会所横

北緯34° 47' 08.50" / 東経132° 05' 40.47"



(調査日2021年10月14日)

「そのほか」文字なし
 「調査の経過」
 広い県道306号の直線部分にある六歩谷集会所。その左側を一段高くして地藏堂と2つの石碑が立っている。右側の碑が井戸公碑で、茶色の目の粗い自然石。
 平成14年に装いを新たにしたいという。傷みはないようだが石の目が粗いため、小さい字は読みにくかった。台石は1個の石ではなく、小さな丸い石が13個、碑の周りをぐるりと取り囲んでいる。

【建立年】安政6年(1859)
 【建立者】(世話人名あり)
 【碑石前面】泰雲院殿墓(右に) 安政六己未九月立之(左に) 世話人 宮屋/□□



(単位: cm)

碑石 高さ92/幅38/奥行35
 台石 高さ12/幅59/奥行59

【浜田市119】浜田市弥栄町門田 六地藏横 **井戸正明之碑**

所在地 浜田市弥栄町門田 六地藏横

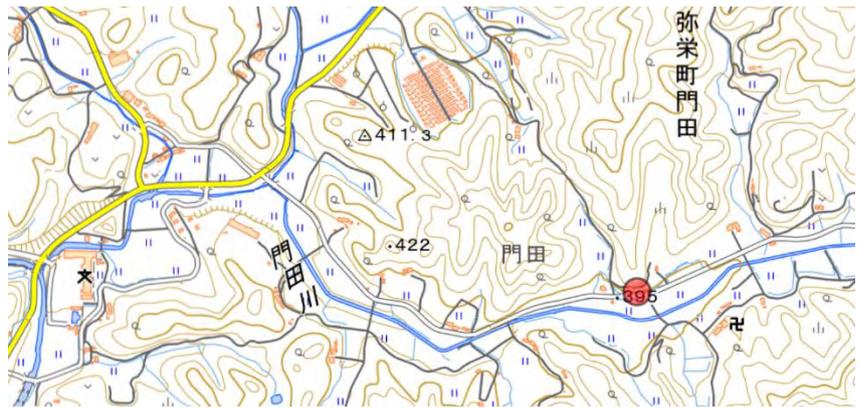
北緯34°46'57.79" / 東経132°07'32.50"



(単位：cm)

碑石 高さ137/幅81/奥行39

【建立年】明治37年(1904)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】井戸正明之碑(右に) 明治三十七年十一月(左に) 當村中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 門田地内の道路北側に、石をびつしり敷き詰めて擁壁にし、3以上に並ぶ六地藏と井戸公碑に誘うスロープと石段をつけている。擁壁は面積もかなり広く、見応えのある風景となっている。途中の段には門田自治会が平成25年に設置した井戸公碑と六地藏尊の説明看板もある。
 碑石は少し茶色がかった灰色の自然石。目は少し粗いようだが傷みはなく、文字も読めた。
 (調査日2021年10月14日)



【浜田市120】浜田市弥栄町長安本郷 多目的広場上 **井戸正明公之碑**

所在地 浜田市弥栄町長安本郷 多目的広場上

北緯34°46'35.08" / 東経132°06'31.43"



(単位：cm)

碑石 高さ94/幅58/奥行45
 台石 高さ18/幅85/奥行90

【建立年】明治43年(1910)
 【建立者】(発起者名あり)
 【碑石前面】井戸正明公之碑(右に) 故銀山代官(左に) 享保十八年五月廿六日
 【碑石右面】明治四十三年七月
 【碑石左面】発起者 石橋里治
 【調査の経過】
 弥栄支所、安城まちづくりセンターの東側の川向うに広いイペント広場があり、その奥の小川を渡ったところに地藏堂とこの碑が立っている。
 少し不安定になっているのか左前に傾いているように見える。
 碑石は目の細かい茶色の自然石で、白い苔がかなり生えているが、彫られている文字ははっきり読める。
 (調査日2021年10月14日)



【浜田市121】 浜田市弥栄町稲代 道路辻 **為泰雲院殿義岳良忠大居士位**

所在地 浜田市弥栄町稲代 道路辻 「長安(支)61」電柱横

北緯34°46'39.74" / 東経132°05'08.07"



〔調査日〕2021年10月20日

〔建立年〕明治30年(1897)

〔建立者〕(世話人名等あり)

〔碑石前面〕為泰雲院殿義岳良忠大居士位(右に) 享保十八癸丑年五月廿六日逝去(左に) 銀山代官井戸平左エ門正明

〔碑石左面〕明治三十年六月建設 / 村長 / 草野忠左エ門 / 区長 / 草野歌之助 / 地主 / 岡田喜五郎 / 願主 / 串崎兵三郎 / 世話人 / 金高信吉 / 斎藤甚三郎 / 田辺利喜太 / 串崎嘉十

〔そのほか〕文字なし

〔調査の経過〕稲代の丁字路、「長安(支)61」の電柱の隣に、地蔵、岡本恵一碑とともに立っている。碑銘もていねいだが、左面の記載で村中の皆さんが力を合わせて建てた様子がわかる。



(単位: cm)

碑石 高さ93/幅67/奥行50
台石1段目
高さ25/幅65/奥行66
台石2段目(コンクリート)
高さ6/幅163/奥行137

【浜田市122】 浜田市弥栄町大坪 ハツラツ事業拠点下 **井戸公之墓**

所在地 浜田市弥栄町大坪 ハツラツ事業拠点下

北緯34°46'00.03" / 東経132°05'45.15"



〔調査日〕2021年10月20日

〔建立年〕明治32年(1899)

〔建立者〕不明

〔碑石前面〕井戸公之墓

〔碑石右面〕明治三十二年八月吉祥日□□

〔そのほか〕文字なし

〔調査の経過〕道路から大坪集会所(ハツラツ事業拠点施設)に上がる坂道のゆるい石段の右側に地蔵堂と並んで立つ。坂道の斜面に合わせるように、コンクリートの台石の下も斜めになっている。碑石は目の細かい濃い灰色の自然石で傷みはない。



(単位: cm)

碑石 高さ126/幅57/奥行53
台石(コンクリート)
高さ57/幅134/奥行115

【浜田市123】 浜田市弥栄町安城 小角 興勝寺下 **井戸公之墓**

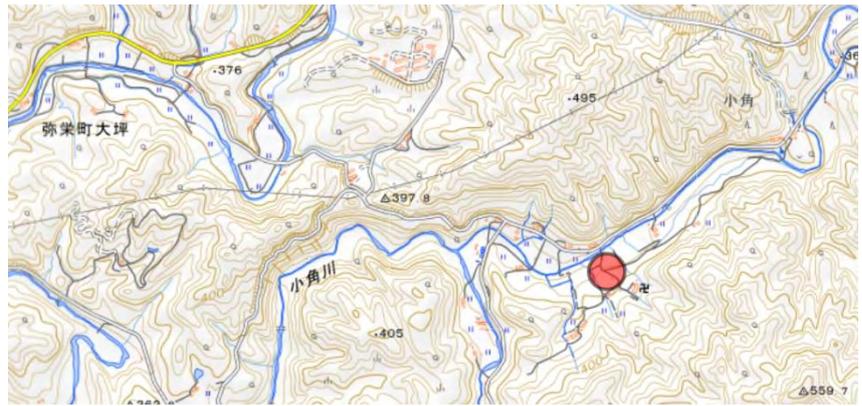
所在地 浜田市弥栄町安城 小角 興勝寺下 道路沿い

北緯34°45'40.88" / 東経132°07'06.10"



(単位：cm)
 碑石 高さ128/幅80/奥行33
 台石 (コンクリート)
 高さ22/幅132/奥行100

【建立年】明治30年(1897)
 【建立者】両組中
 【碑石前面】井戸公之墓(右に) 明治三十年九月日(左に) 両組中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 川を渡って興勝寺に上がる坂道の途中、寺まで約100mのところ、三差路があり、その辻に地藏堂とこの碑が立っている。
 碑石は目の粗い灰色の自然石で、傷みはない。幅が広く、大ぶりの碑石は田園風景の中で存在感を示している。MAPでは建物の横に立っているの、最近ここに移動したのう。周囲は比較的きれいにしている。
 (調査日2021年10月20日)



【浜田市124】 浜田市弥栄町程原下 どんびき橋東 **なし**

所在地 浜田市弥栄町程原下 どんびき橋東 100m 道路沿い

北緯34°45'16.31" / 東経132°06'10.99"



(単位：cm)
 碑石 高さ94/幅81/奥行40
 台石 高さ17/幅87/奥行不明

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 どんびき橋の東約100mの道路の北側沿いに、地藏2体と並んでいる。前の道路は広いが、木々に囲まれていて陽が当たりにくく、地藏堂も井戸公碑も苔がかなり生えている。草もかなり大きくなっていて、それを刈って調査した。
 碑石は灰色(と思われる)の目の粗い自然石で、碑石全面及び台石にもまったく文字が彫っていない。
 (調査日2021年10月20日)



【浜田市125】 浜田市弥栄町程原下 六地藏横 泰雲院殿義嶽良忠大居士

所在地 浜田市弥栄町程原下 六地藏横 旧道三差路

北緯34°44'43.86" / 東経132°06'03.98"



(単位：cm)
 碑石 高さ123/幅52/奥行33
 台石 高さ17/幅82/奥行86

【建立年】明治31年(1898)
 【建立者】(主唱人名あり)
 【碑石前面】泰雲院殿義嶽良忠大居士(右に)明治三十一年戊辰(左に)九月祥日建之
 【碑石左面】主唱人/牛尾波八/大崎善太/小倉新太/牛尾信平/品川定一朗/斎藤兼人/石工長濱住/日下長三郎
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 前碑(No.124)と同じ道路沿い。地藏堂の隣にこの碑が立つ。ここは通称「水神森」というようだ。地藏堂から続く擁壁がかぎの手に続き、旧道があったよう。碑石は目の粗い茶色の自然石で、傷みはなく、主唱人等の文字も大きく彫ってあって読むことができた。
 (調査日2021年10月20日)



【浜田市126】 浜田市弥栄町安城 横谷 旧道沿い 井戸公墓

所在地 浜田市弥栄町安城 横谷 横谷集会所向いの旧道沿い

北緯34°51'45.54" / 東経132°10'51.91"



碑石 高さ135/幅43/奥行40
 台石1段目 高さ27/幅63/奥行66
 台石2段目 高さ85/幅113/奥行105
 台石3段目(コンクリート) 高さ20/幅190/奥行不明

【建立年】明治30年(1897)
 【建立者】(発起人名等あり)
 【碑石前面】井戸公墓
 【碑石右面】発起人 永見近太郎 / 明治三十年立
 【碑石左面】世話人/田野島力太郎/全 近太郎/全 駒之助
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 横谷集会所の前の川を渡った南側に旧道があり、その道沿いに立つ。
 前を通っても発見できず、近所の方に再度案内していただいた。木や草に覆われてほぼ見えない状態だったが、撮影ができればるところまで草を刈った。台石を含めるとかなり大きな碑だ。碑石は茶色がかった灰色の自然石で傷みはなく文字も読めた。
 (調査日2021年10月20日)



【浜田市127】 浜田市弥栄町安城 程原上 白供養横 泰雲院良忠居士

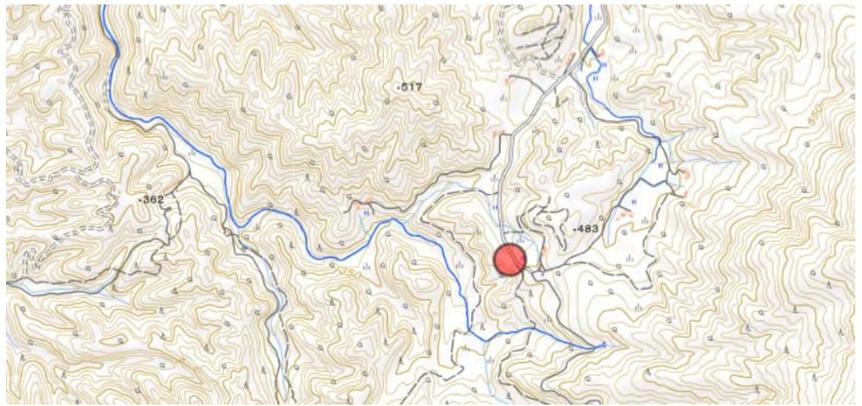
所在地 浜田市弥栄町安城 程原上 白供養横

北緯34°44'11.56" / 東経132°05'50.23"



碑石 高さ141/幅75/奥行35
 台石1段目
 高さ26/幅94/奥行 不明
 台石2段目
 高さ25/幅117/奥行 不明
 台石3段目
 高さ26/幅148/奥行 不明

【建立年】大正8年(1919)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院良忠居士(右に) 大正8年(左に) 八月日建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 No.124、125と同じ道路沿いで、No.125をさらに南に進むと道路から少し入った場所に「白供養」があり、その奥に地藏とこの碑が立つ。
 少し高手の斜面に立っているので3段ある台石の奥はどれも埋まっており奥行が計測できない。
 碑石はややベージュっぽい灰色の目の細かな自然石で、苔もほとんどなく表面はきれい。文字も読みやすかった。
 (調査日2021年10月20日)



【浜田市128】 浜田市弥栄町杵東西ノ郷 道路沿い (梵)泰雲院殿墓

所在地 浜田市弥栄町杵東西ノ郷 道路沿い

北緯34°46'06.64" / 東経132°04'12.84"



(単位: cm)
 碑石 高さ123/幅88/奥行40
 台石(石組)
 高さ62/幅190/奥行不明

【建立年】明治29年(1896)
 【建立者】不明
 【碑石前面】(梵)泰雲院殿墓(右に) 明治二十九年(左に) 丙申六月善法日建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 杵束まちづくりセンターにも近い道路沿い。隣には西の郷自治会掲示板もあり、地域の皆さんがよく目にする場所なのだろう。側溝を渡る小さな橋を渡ると、背の高い石組みの台石の上にながちりとした碑が立っている。周囲はきれいにしている。
 碑石は黒っぽい茶色の自然石。目は細かく、彫ってある文字はやや浅めだがよく読める。
 (調査日2021年10月25日)



【浜田市129】 浜田市弥栄町杵束 仲三集会所 泰雲院殿之碑

所在地 浜田市弥栄町杵束 仲三集会所

北緯34°45'46.61" / 東経132°04'19.84"



碑石 高さ70/幅60/奥行32
 台石1段目
 高さ20/幅45/奥行39
 台石2段目
 高さ23/幅108/奥行100
 台石3段目(石積み)
 高さ38/幅187/奥行165

(調査日2021年10月25日)

〔調査の経過〕
 弥栄中学校の下にある、仲三集会所の道路側の庭園風の場所に、台石を3段積んだこの碑が立っている。MAPによると山賀から移動してきたといい、台石にその名が残る。手入れは行き届いており、碑石にも台石にも苔はほとんど生えていない。碑石は黒っぽい目の細かな自然石で文字もはっきり読める。台石は1段目だけ種類の違う石で、歴史を物語っている。

【建立年】明治32年(1899)
 【建立者】山賀連中
 【碑石前面】泰雲院殿之碑(右に)明治三十二年(左に)八月日建之
 〔一段目台石前面〕山賀／連中
 〔そのほか〕文字なし



【浜田市130】 浜田市弥栄町杵束 下谷 集会所上 泰雲院殿碑

所在地 浜田市弥栄町杵束 下谷 集会所上 450m

北緯34°45'28.59" / 東経132°04'40.63"



(単位：cm)
 碑石 高さ70/幅62/奥行34
 台石1段目
 高さ34/幅120/奥行不明
 台石2段目
 高さ120/幅240/奥行不明

(調査日2021年10月25日)

〔調査の経過〕
 県道34号沿いの下谷集会所の横の道を約450m以上上がった地点から、左に少し歩いて上がると広場になり、その斜面にこの碑が立つ。碑石は高さ70cmと小ぶりだが、2段目の台石は城壁のように石を120cmも積み上げてある。ここが通りに面していたころは、迫力ある眺めだったことだろう。灰色の目の細かな碑石に傷みはなく文字もはっきり読める。

【建立年】明治29年(1896)
 【建立者】(発起人名あり)
 【碑石前面】泰雲院殿碑(右に)明治二十九丙申年(左に)七月善法日建立之／發起人／村竹鶴松／金高現太
 〔そのほか〕文字なし



【浜田市131】浜田市弥栄町杵束 仲三 道路沿い広場 **不明**

所在地 浜田市弥栄町杵束 仲三 道路沿い広場

北緯34°44'57.89" / 東経132°03'33.08"



【調査日】2021年10月25日

〔そのほか〕文字なし

〔調査の経過〕

拝観MAPによると違う場所にあるように載っているが、そこに向かう途中の道路沿いの広場でこの碑を発見。隣に「4」の番号札もある。最近この場所に移転してきたのではないかとそう考えると下の2段の台石が新しいことも納得がいく。碑石は黒っぽい灰色の自然石だが全面に白っぽい苔が生えている。碑石にはなにやら文字らしきものが彫ってあるが、残念ながら読めなかった。

【建立年】明治30年(1897)

【建立者】不明

【碑石前面】不明

【碑石左面】明治三十年丁酉七月廿八日

(単位: cm)

碑石 高さ120/幅41/奥行41

台石 1段目
高さ17/幅93/奥行92

台石 2段目
高さ36/幅136/奥行110



【浜田市132】浜田市弥栄町杵束 仲三 林道沿い **泰雲院殿之塚**

所在地 浜田市弥栄町杵束 仲三 林道沿い

北緯34°44'38.76" / 東経132°03'16.67"



【調査日】2021年10月25日

〔そのほか〕文字なし

〔調査の経過〕

前碑(No.131)から南に向かつて林道を上がる。落ち葉が多く走りにくい。約1.2キロ上がったカーブの外側にこの碑が立っている。碑の左側にはカーブミラーがあるので、この林道は以前は地域の皆さんの生活道路だったのだろう。碑石は茶色っぽい、目の粗い自然石で、目立った傷みはない。台石には2段とも、石の間にセメントを入れて補強してある。

【建立年】明治27年(1894)

【建立者】横川・谷連中

【碑石前面】泰雲院殿之塚(右に)

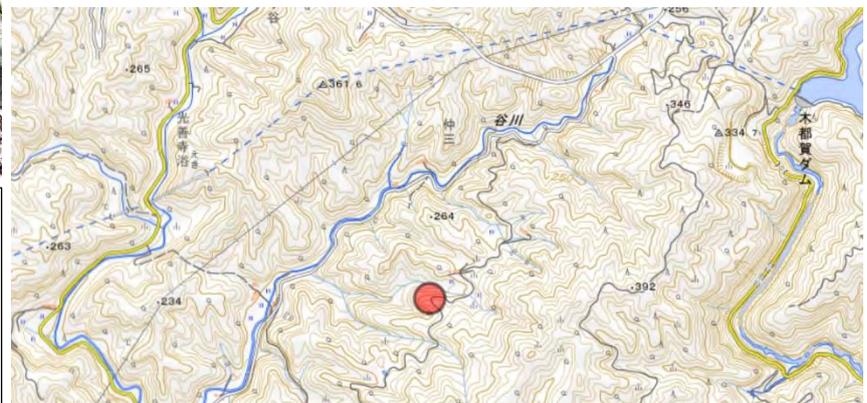
明治廿七年十月日(左に) 横川 / 谷 / 連中

(単位: cm)

碑石 高さ101/幅64/奥行25

台石 1段目
高さ29/幅103/奥行105

台石 2段目
高さ29/幅150/奥行173



【浜田市133】 浜田市弥栄町杵束 田野原下 **泰雲院殿之碑**

所在地 浜田市弥栄町杵束 田野原下 道路沿い

北緯34°43'32.75" / 東経132°04'28.93"



(調査日2021年10月25日)

【建立年】大正14年(1925)
 【建立者】(発起人名あり)
 【碑石前面】泰雲院殿之碑(右に)
 大正十四年十一月建之(左に)
 発起人 斎藤元一
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 田野原下の細い道路を何度も
 行き来して、擁壁の上にあるこ
 の碑を発見。周囲の草を刈って
 調査した。
 碑石は目の細かい灰色の自然
 石。草に埋もれるような状態だ
 ったが、傷みはなく表面もきれ
 い。文字もはっきり読める。
 台石は3段あるが、その下、道
 路までの高さ1・2段も石を積
 んで擁壁にしており、建てたと
 きの方々の意気込みを感じ
 る。

碑石 高さ76/幅60/奥行38
 台石1段目
 高さ13/幅54/奥行38
 台石2段目
 高さ12/幅110/奥行102
 台石3段目
 高さ14/幅146/奥行不明



【浜田市134】 浜田市弥栄町杵束 熊野山集会所横 **なし**

所在地 浜田市弥栄町杵束 熊野山集会所横

北緯34°43'11.36" / 東経132°02'56.34"



(調査日2021年10月25日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 熊野山集会所の右横にあり、そ
 の右には太子堂がある。道路の
 境には浜田市の防災サイレン
 の柱もある。
 道路から少し入った場所に立
 っているため、周囲を草で囲ま
 れがちで、庭木もいくらかある
 ようだが、調査では写真が撮れ
 るように草を刈らせてもらっ
 た。
 碑石は目の粗い灰色の自然石
 で、文字が何も彫ってない。

(単位：cm)
 碑石 高さ144/幅45/奥行25
 台石 高さ20/幅120/奥行不明



【浜田市135】浜田市弥栄町杵束 田野原上 **梵字1文字**

所在地 浜田市弥栄町杵束 田野原上 道路沿い

北緯34°42'50.15" / 東経132°04'12.41"



(調査日2021年10月25日)

この碑の特徴は何と云っても前面に梵字1文字を彫っていることだが、碑が道路を下から上がる人に対して正面になるように斜めに立っている。碑石は目の粗い灰色の自然石。

【建立年】明治32年(1899)
 【建立者】(世話人名あり)
 【碑石前面】梵字1文字(右に)二月十日/世話人/長谷田□太(左に)明治三十二年
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道34号から横尾神社と上田野原集会所の間の道を入り、約500以上上がった右側に立っている。
 台石は2段だが、No.133の碑と同様、道路まで約1段の高さに石を積んで擁壁にしている。



(単位: cm)
 碑石 高さ93/幅74/奥行18
 台石1段目
 高さ16/幅100/奥行不明
 台石2段目
 高さ20/幅134/奥行不明

【浜田市136】浜田市三隅町今浦 旧道沿い **井戸明府**

所在地 浜田市三隅町今浦 旧道沿い

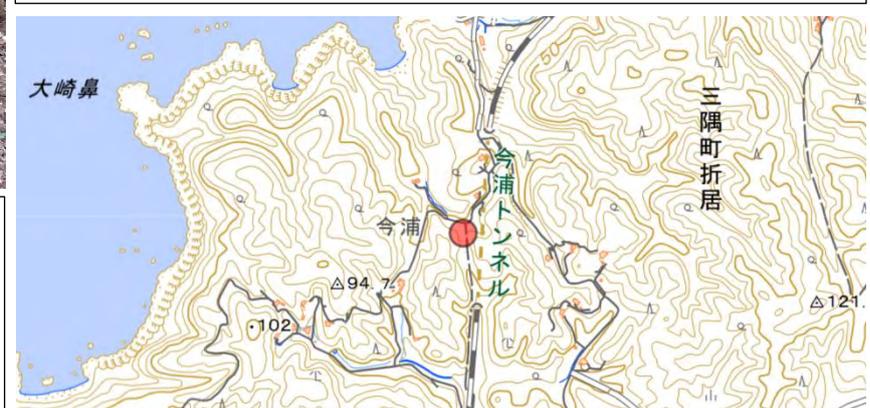
北緯34°48'48.50" / 東経131°57'47.12"



(調査日2021年9月10日)

この碑は軟らかそうな緑色がかった灰色の自然石。2段ある台石はコンクリートに石をはめ込んである。

【建立年】昭和6年(1931)
 【建立者】今浦區
 【碑石前面】井戸明府(右に)明治十七年九月發起(左に)昭和六年八月十四日/今浦區
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 場所はJR山陰線の今浦トンネルの上になる。今では人が全く通らなくなった旧道沿いにひっそりと立っている。調査のために地元の方が周囲をきれいにしてくださった。
 明治17年発起で47年後の昭和6年に完成している。どんなドラマがあったのだろうか。



(単位: cm)
 碑石 高さ116/幅97/奥行40
 台石1段目(コンクリート)
 高さ32/幅137/奥行103
 台石2段目(コンクリート)
 高さ57/幅198/奥行163

【浜田市137】 浜田市三隅町東平原上 集会所近く なし

所在地 浜田市三隅町東平原上 集会所近く

北緯34°48'21.22" / 東経131°59'16.84"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 近年整備された広い道路から少し入った場所。今では猪の防護柵があるので、以前は生活道路だったと思われる。碑の横には地藏堂の一部だけが残っており、地藏は碑の台石の上に乗せてある。
 碑石は比較的目の細かそうな灰色の自然石。厚さが12枚の板状の石だ。



(単位：cm)

碑石 高さ114/幅75/奥行12
 台石 高さ11/幅85/奥行58

【浜田市138】 浜田市三隅町東平原上 中ノ原 柿園内 なし

所在地 浜田市三隅町東平原上 中ノ原 柿園内

北緯34°48'15.68" / 東経131°58'56.85"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 現在は一帯が柿園になっていて、所有者の許可を得て猪の防護柵を越えて入ることになるが、地図を見るとこの碑は細い道の上に立っており、以前ここには生活道路があったようだ。
 碑石に文字はないが、ちょうど手を合わせるのにふさわしい大きさと形の石を「芋地藏」として辻々に建て、大切に守ってきたのだろう。
 碑石は目の細かそうな灰色の自然石で傷みはない。



(単位：cm)

碑石 高さ85/幅48/奥行33

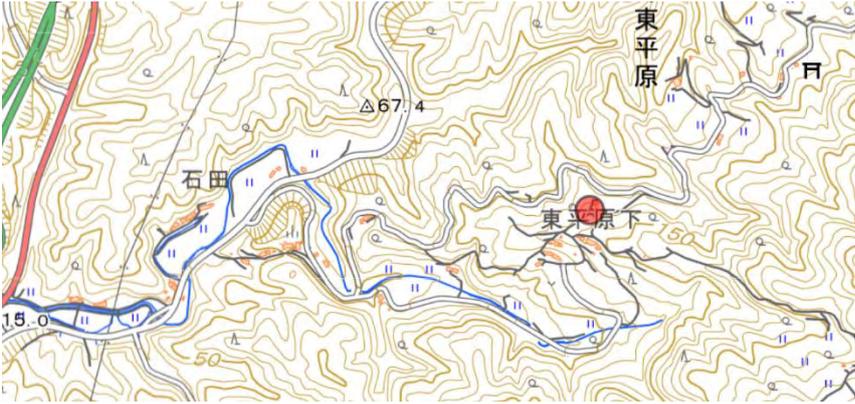
【浜田市139】浜田市三隅町東平原下 寺田平 なし

所在地 浜田市三隅町東平原下 寺田平 寺田氏宅入口

北緯34°47'49.23" / 東経131°58'54.79"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。寺田氏宅に上がる入口の道路法面を整備して、地蔵とこの碑が立っている。共通の台石が2段あり、2段目はていねいな石積みをした擁壁になっている。周囲は非常にきれいに手入れされている。
 碑石は目の細かい黒っぽい自然石で高さ195センチもあり、堂々たるもの。造花ではあるが花立てに花を供えてあり、これまでこうしてずっと大切に守られてきた。
 (調査日2021年9月21日)



(単位：cm)
 碑石 高さ195/幅106/奥行60

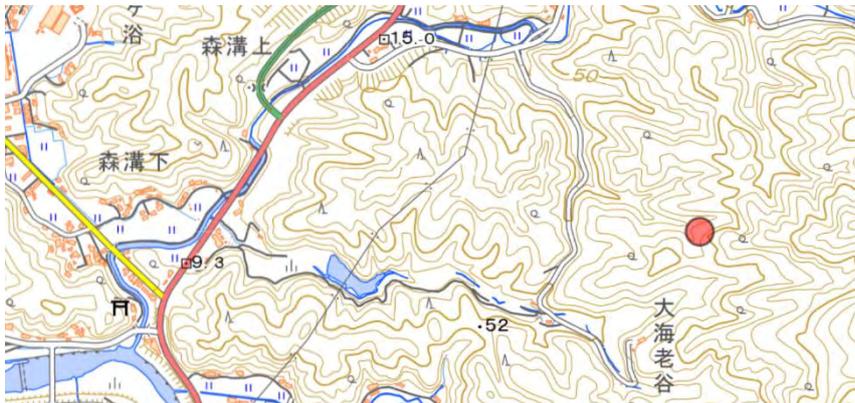
【浜田市140】浜田市三隅町東平原下 宮ノ尾 旧里道沿い なし

所在地 浜田市三隅町東平原下 宮ノ尾 旧里道沿い

北緯34°47'28.47" / 東経131°58'33.68"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。以前は東平原下の主要な道の一つだったが、今は通る人がほとんどない山道になった。詳しい方に案内をお願いした。碑の近くには神社跡もあった。舗装路に車を止めて徒歩で約20分登った道のわきに静かに立っている。台石は薄い1枚岩の1段のみで、2、3段目に見える台石は斜面の崩壊を防ぐ目的で置いたもののように。
 碑石は目の細かい灰色のすりとした自然石。台石の上に微妙なバランスで立っている。
 (調査日2021年9月21日)



(単位：cm)
 碑石 高さ128/幅38/奥行42
 台石 高さ11/幅114/奥行90

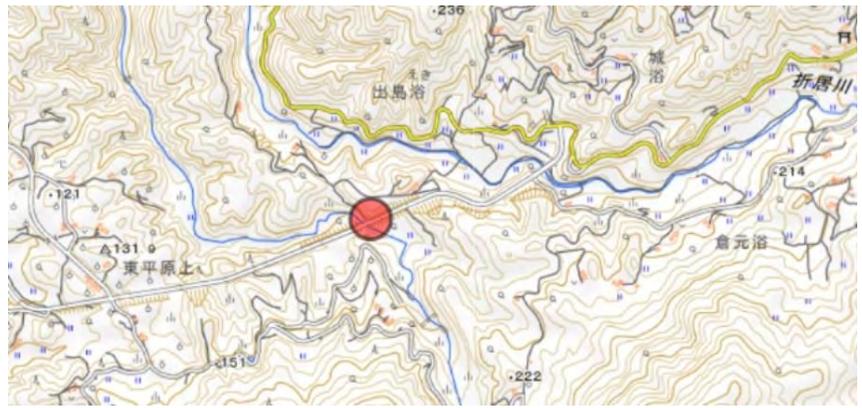
【浜田市141】浜田市三隅町東平原 地藏橋たもと 句碑

所在地 浜田市三隅町東平原 地藏橋たもと

北緯34°48'24.34" / 東経131°59'50.92"



〔建立年〕昭和54年（1979）
 〔建立者〕美川句会
 〔碑石前面〕石見路にすたれゆくもの甘藷供養／目洲
 〔碑石後面〕昭和五十四年八月／美川句会
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 昭和54年の建立は浜田市内田町に建てたときのもの。その後浜田道の建設を経て姿が見えなくなっていたが、三隅町のこの場所にどなたかによって移転していた。
 俳句は、戦前まで石見地方を中心に盛んに営まれていた甘藷供養が戦後次第に営まれなくなっていることを嘆き、今一度サツマイモ、ひいては食への感謝を訴えている。
 （調査日2022年5月20日）



(単位：cm)

碑石 高さ108/幅56/奥行23
 台石 高さ30/幅84/奥行65

【浜田市142】浜田市三隅町福浦 福浦集会所前 泰雲院殿碑

所在地 浜田市三隅町福浦 福浦集会所前

北緯34°48'18.12" / 東経131°57'16.38"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕泰雲院殿碑
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 元光円寺だった場所が現在福浦集会所になっている。周辺には民家がかかなりあり道路も入り組んでいる。
 この碑は元は寺の境内にあったと思われるが、集会所、道路擁壁の工事の際に、ここに移動したようだ。台石は場所の形状に合わせたコンクリート製。
 碑石は目の粗い黒っぽい灰色の自然石。傷みはほとんどないが白っぽい苔が生えている。
 （調査日2021年9月10日）



(単位：cm)

碑石 高さ121/幅42/奥行43
 台石（コンクリート）
 高さ96/幅89/奥行85

【浜田市 143】 浜田市三隅町古市場 上古市集会所 なし

所在地 浜田市三隅町古市場 上古市集会所

北緯 34° 47' 16.10" / 東経 131° 57' 05.40"



(単位：cm)

碑石 高さ85/幅48/奥行22

台石 高さ46/幅156/奥行不明

(調査日 2021年9月10日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 上古市集会所の庭に立っている。この庭の右側には鳥居があつて石段を上がつた先に神社もあり、井戸公碑は石段の下に地藏堂と並んで立つ。
 碑石には文字は何も彫られてないが、近所の高齢女性によると昔から「芋塚」と伝わっていると言う。
 碑石は灰色の自然石で節理が見られ、一部は剥落しているようだ。白っぽい苔も生えている。



【浜田市 144】 浜田市三隅町古市場中組 山本家墓地 なし

所在地 浜田市三隅町古市場中組 山本家墓地手前

北緯 34° 47' 01.40" / 東経 131° 56' 26.67"



(単位：cm)

碑石 高さ90/幅44/奥行37

(調査日 2021年9月10日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。古市場中組の、県道171号から山道を少し上がり山本家の墓地に行く途中、道のそばに立っている。碑の奥は広場になつていて、以前お堂があつたという。
 碑石は艶のある青みがかつた灰色の自然石で、全面に濃淡の模様がある。傷みは全くない。台石はなく、碑石だけで立っている。



【浜田市145】 浜田市三隅町古市場 禮光寺 泰雲院殿

所在地 浜田市三隅町古市場 禮光寺宝物殿左手

北緯34°47'16.10" / 東経131°57'05.40"

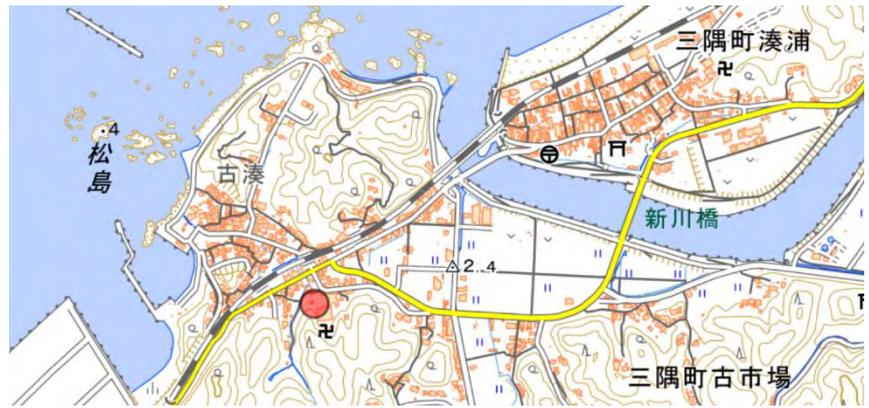


(単位：cm)

碑石 高さ160/幅112/奥行46

台石 高さ38/幅134/奥行不明

【建立年】昭和23年(1948)
 【建立者】門殿・下古市・古湊青年
 【碑石前面】泰雲院殿
 【碑石後面】昭和二十三年六月／門殿／下古市／古湊／青年建
 □ 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 古市場の禮光寺の境内に「一乗殿」という宝物殿があり、その左手の斜面がツツジをたくさん植えて手入れが行き届いた庭園になっている。その庭園の下の方にこの碑が立っていて、碑までは4段の石段が設けられ、ていねいな扱いだ。碑石はベージュっぽい灰色、目の細かい硬そうな自然石で傷みはない。
 (調査日2021年9月10日)



【浜田市146】 浜田市三隅町松原 川土手 なし

所在地 浜田市三隅町松原 松原橋上流の川土手 2基のうちの1

北緯34°46'44.92" / 東経131°55'38.29"



(単位：cm)

碑石 高さ132/幅66/奥行39

台石 (コンクリート)

高さ19/幅86/奥行65

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。岡見川河口近くにかかる松原橋の上流の右岸に2基並んで立っている。こちらはその右側で、背の高い方。2基共通の広い台石の上にそれぞれ台石があり、その上に碑石が乗っている。碑石は目の細かくない、濃い灰色の自然石。白っぽい苔が生えている。碑の前には花立てがあり、こちらの碑の花立てにはシキミが供えてあった。
 (調査日2021年9月10日)



【浜田市147】 浜田市三隅町松原 川土手 なし

所在地 浜田市三隅町松原 松原橋上流の川土手 2基のうちの1
北緯34°46'44.92" / 東経131°55'38.29"



(単位：cm)
碑石 高さ109/幅64/奥行34
台石 (コンクリート)
高さ14/幅85/奥行65

(調査日2021年9月10日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
前碑(No.146)の左側。少し背が低い。
こちらの碑石は目の粗い、茶色っぽい自然石。苔は少ない。後面に節理が見られるので、剥離が進むかもしれない。
左右の碑は大きさ、石質ともに違うようなので、別々の場所の碑をここに移動させて並べたのかもしれない。2基の間の地面にある「昭和四十四年十一月三十日」はその設置の日と思われる。



2基が並んでいる様子(右)。
左は2基の間の地面に埋められているセメントの表記



【浜田市148】 浜田市三隅町中山 中山自治会館横 井戸明府

所在地 浜田市三隅町中山 中山自治会館横 六地藏横
北緯34°46'14.97" / 東経131°55'22.78"



(単位：cm)
碑石 高さ261/幅130/奥行59
台石 (コンクリート)
高さ28/幅222/奥行154

(調査日2021年9月6日)

【建立年】明治45年(1912)
【建立者】不明
【碑石】井戸明府(右下に) 明治四十五年/江崎守□□治刻(左に) 島根縣事務官補從七位長谷川金一郎書
【調査の経過】
中山自治会館横の広場の六地藏の横に立っている。高さは碑石だけで261cmあり、三隅町では最も背が高い。コンクリートの台石を入れると289cmだ。
前に1対の石灯籠があり、これは大正元年に奉納されている。碑石は茶色っぽい目の粗い自然石で、ところどころ割れ目も見えている。



【浜田市149】浜田市三隅町岡崎 三保第2水源地裏 なし

所在地 浜田市三隅町岡崎 三保第2水源地裏 専正寺向い

北緯34°47'21.17" / 東経131°57'29.78"



(調査日2021年9月10日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 専正寺の向いの三隅川沿いにある三保第2水源地の裏で、岡崎集会所の東にあたる。
 井戸公碑としては珍しく、高さよりも幅が広い形。当初はもう少し背が高かったが、上部が崩落したのかもしれない。隣に地藏が建っており、台石も高いので、こちらの方がかなり大きい。
 碑石は目の粗い茶色の自然石で、白っぽい苔がかなり生えている。



(単位：cm)

碑石 高さ111/幅119/奥行29

台石 高さ14/幅115/奥行73

【浜田市150】浜田市三隅町小野 洞明寺 なし

所在地 浜田市三隅町小野 洞明寺境内

北緯34°47'04.87" / 東経131°57'59.29"



(調査日2021年9月10日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 洞明寺の山門を入ってすぐ右手に立っている。
 台石に見える石は前石である。
 碑石は硬そうな灰色の自然石で、文字は何も彫ってない。



(単位：cm)

碑石 高さ92/幅40/奥行30

【浜田市151】 浜田市三隅町向野田 良忠寺 泰雲院殿之碑

所在地 浜田市三隅町向野田 良忠寺境内

北緯34°46'20.60" / 東経131°57'44.11"



(単位：cm)
 碑石 高さ157/幅68/奥行54
 台石 (コンクリート)
 高さ27/幅105/奥行107

(調査日2021年9月6日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿之碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 良忠寺の山門を入って右手に立っている。
 前面に碑銘はあるが、そのほかに文字が全く彫つてなく、情報がないのが残念。
 碑石は目の細かくない灰色の自然石。傷みはなく、白っぽい苔がわずかに生えている。



【浜田市152】 浜田市三隅町 下河内集会所 なし

所在地 浜田市三隅町 下河内集会所

北緯34°45'45.90" / 東経131°58'22.49"



(単位：cm)
 碑石 高さ135/幅39/奥行55
 台石 高さ50/幅168/奥行220

(調査日2021年9月6日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 三隅川に沿って走る県道48号沿いにある下河内集会所。右手の庭に祠とこの碑が立っている。台石が変わっており。20センチの丸い石を3〜5段、ぐるりと周囲に積み重ねて台石になっている。
 碑石は灰色の自然石で、苔は少し生えているが傷みはないようだ。



【浜田市153】 浜田市三隅町向野田 元神社参道 なし

所在地 浜田市三隅町向野田 元神社参道

北緯34°44'54.33" / 東経131°57'10.87"



(単位：cm)
碑石 高さ84/幅52/奥行11

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石】文字なし
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
向野田地内にある比較的新しく広い道路の交差点の近くにある。
交差点の北側の草地を進むと20段ほどの鉄の階段があり、その階段を上がったすぐ右手にこの碑が立っている。碑を過ぎて少し進むと元神社と思われる建物が倒壊しており、鉄階段はこの神社への参道だったと思われる。井戸公碑も参道脇に建てられたのだろう。
碑石は硬そうな茶色の自然石で傷みはなく、薄いがしっかり立っていた。
(調査日2022年3月8日)



【浜田市154】 浜田市三隅町芦谷本谷 道路沿い 不明

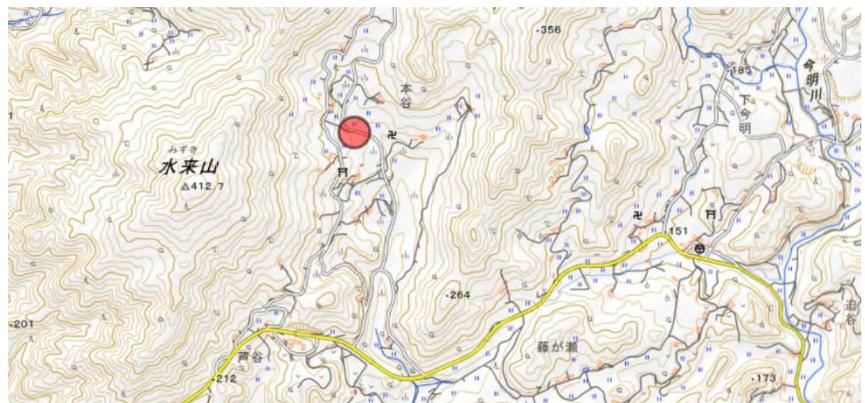
所在地 浜田市三隅町芦谷本谷 道路沿い 高手

北緯34°47'27.12" / 東経131°59'43.72"



(単位：cm)
碑石 高さ109/幅51/奥行50
台石 高さ20/幅126/奥行107

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字不明
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
県道304号を北へ約900m進んだ左手の高手にこの碑が立っている。
碑石に何か文字のようなものが見えるが、判読できなかった。台石は土と石とで碑石を囲むように支え、間はセメントで補修してある。
通りがかった地元の方も「昔から芋塚と呼んで親しんできた」と話していた。
碑石は硬そうな灰色の自然石で、傷みもなく、苔も生えてない。
(調査日2021年9月23日)



【浜田市155】 浜田市三隅町井野諸谷 室谷との間の田 **なし**

所在地 浜田市三隅町井野諸谷 室谷との間の田

北緯34°48'27.89" / 東経132°00'31.13"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。井野地区の諸谷と室谷の間、折居川の両岸にゆるやかな傾斜のある田んぼが広がっている。そのほぼ中央に立っているのがこの碑で、草に覆われ気味だ。文字は何も彫られていないが、この谷で農業に精を出す皆さんを見守ってきたのだろう。少し離れた場所に台石のような石がある。何かのときに上の碑石がこの台石から外れたのかも知れない。碑石は目の細かい、硬そうな茶色がかった自然石で、傷みはなく、苔もない。

(調査日2021年9月21日)



(単位：cm)

碑石 高さ182/幅72/奥行41

【浜田市156】 浜田市三隅町上今明 西川氏畑 **泰雲院殿碑**

所在地 浜田市三隅町上今明 西川氏畑

北緯34°47'49.99" / 東経132°00'53.97"



【建立年】明治29年(1896)
 【建立者】上今明・金口組中
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石後面】明治廿九年八月建之 / 上今明組中 / 金口組中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 田んぼの上の道路から最初に見たときは、なぜ田んぼの中に碑が立っているのだろうと不思議だったが、近づいてみると幅2畝を超すような巨石がたくさんあり、こっだけ耕地にできなかつたのだろう。碑石は目の細かい硬そうな黒っぽい灰色の自然石で、傷みもなく、苔も生えてない。この碑も悠然と立って、下に広がる田んぼで農業に取り組む皆さんを見守ってきたのだろう。

(調査日2021年9月21日)



(単位：cm)

碑石 高さ125/幅55/奥行49
 台石1段目 高さ26/幅104/奥行90
 台石2段目 高さ34/幅158/奥行140

【浜田市157】 浜田市三隅町下今明藤ヶ瀬 なし

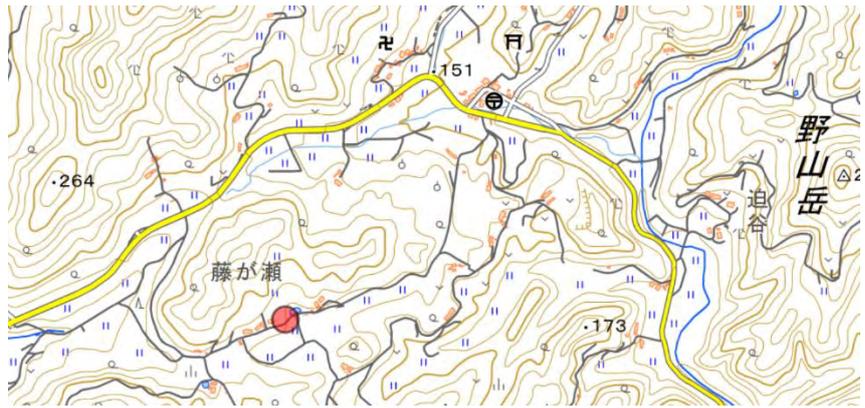
所在地 浜田市三隅町下今明藤ヶ瀬 道路沿い 地藏堂横

北緯34°46'57.30" / 東経132°00'17.25"



(調査日2021年9月23日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 道路横に小さな地藏堂と肩を寄せるように並んで立っている。右横には広いコンクリートの土台が残っているので、お堂でもあったのかもしれない。碑石には文字が何も彫っていない。
 石質は硬そうな灰色の自然石で傷みはなく、苔もほぼない。



(単位：cm)

碑石 高さ89/幅75/奥行37
 台石 高さ10/幅83/奥行105

【浜田市158】 浜田市三隅町下今明大井出口野地 みのり会館 なし

所在地 浜田市三隅町下今明大井出口野地 みのり会館

北緯34°47'03.50" / 東経132°00'48.39"



(調査日2023年3月29日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 以前は県道304号沿いに馬頭観音と並んで立っていたが、県道拡幅工事に伴い、2023年3月に約600m西の、みのり会館の前庭に移転した。
 石質は目が少し粗い灰色の自然石で、傷みはなく、移転の際に表面がきれいにされていた。碑石に文字は彫られていないが、以前から地元の皆さんに「芋塚」と親しまれており、安定した場所を得てこれからも大切に保存されていくことだろう。



(単位：cm)

碑石 高さ103/幅40/奥行20

【浜田市159】 浜田市三隅町下小原 徳泉寺北 200m なし

所在地 浜田市三隅町下小原 徳泉寺北 200m K304 沿い
北緯 34° 46' 36.95" / 東経 132° 00' 57.49"



碑石 高さ136/幅38/奥行22
台石 1段目
高さ18/幅70/奥行30
台石 2段目
高さ63/幅107/奥行40

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
徳泉寺の北約200mの県道
304号沿いに立つ。
碑石に文字は何も彫られてい
ない。
2段目の台石は石を何個も組
み合わせている。直接碑石を支
えているわけではないが、碑石
のある斜面が崩れないように
してあり、台石として計測し
た。
碑石は硬そうな茶色がかった
灰色の自然石で傷みはなく、苔
も少ない。
(調査日 2021年9月21日)



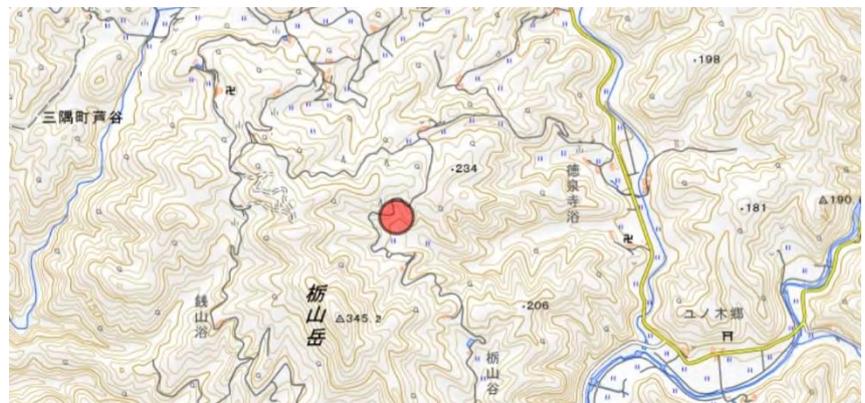
【浜田市160】 浜田市三隅町芦谷下芦谷 旧里道沿い なし

所在地 浜田市三隅町芦谷下芦谷 道路下 旧里道沿い
北緯 34° 46' 32.53" / 東経 132° 00' 25.63"



(単位: cm)
碑石 高さ109/幅47/奥行17
台石 高さ22/幅93/奥行不明

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
現在ある舗装された道路から
下へ約10mの斜面を降りた場所
に以前の古い道があり、その道
沿いに立っている。
道との境に約60cmの高さに石
を組んで擁壁を造り、その上に
この碑が立つ。
碑石には文字は何も彫ってな
く、石全体が後ろに傾いてい
る。
碑石はもろそうな灰色の自然
石で、傷みはないようだが白っ
ぽい苔がかなり生えていて、と
ころどころ剥離もあるようだ。
(調査日 2021年9月23日)



【浜田市161】 浜田市三隅町上小原柚ノ木 K304 沿い なし

所在地 浜田市三隅町上小原柚ノ木 K304 沿い

北緯34°46'16.31" / 東経132°01'06.13"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 県道304号沿いのカーブの内側に、山を削る形で急斜面に立っている。路面からは約2倍の高さ。そのため2段目の台石は高さも高くかなり規模が大きくなっており、コンクリートで補強もされている。
 碑石には文字は何も彫っていない。
 石質は硬そうな茶色の自然石で傷みはないが、白っぽい苔がかなり生えている。

碑石 高さ117/幅59/奥行40
 台石1段目(コンクリート)
 高さ22/幅103/奥行87
 台石2段目
 高さ61/幅160/奥行190



【浜田市162】 浜田市三隅町下小原 大下谷 なし

所在地 浜田市三隅町下小原 大下谷

北緯34°47'27.12" / 東経131°59'43.72"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 現在の舗装道路から道のない斜面を少し上がった場所に立っている。今はだれも通らないが、碑の前と後ろは平らな面が続いているので、以前は道だったと思われる、碑が立っている場所は道路の辻だったのかもしれない。
 台石はなく、碑石も土に埋まっている、しかも前に少し傾いている。
 碑石は茶色がかった灰色の自然石で、傷みはないが、白っぽい苔がかなり生えている。

(単位: cm)
 碑石 高さ88/幅41/奥行27



【浜田市163】 浜田市三隅町周布地 周布地集会所上 **井戸正明之碑**

所在地 浜田市三隅町周布地 周布地集会所上

北緯34°48'13.49" / 東経132°02'31.57"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸正明之碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 県道303号の東側に周布地集会所があり、建物の右に上上がる作業道がある。碑はその作業道沿いに立っている。集会所が建つ前からここにあったといい、今は碑石の下が埋まっている。すぐ隣に台石になりそうな石があるが、元はこの上に乗っていたのだろうか。碑石は硬そうな茶色っぽい灰色の自然石で傷みはなく、多少白っぽい苔が生えている。



(単位：cm)

碑石 高さ83/幅58/奥行67

【浜田市164】 浜田市三隅町井野大谷 神事場内 **なし**

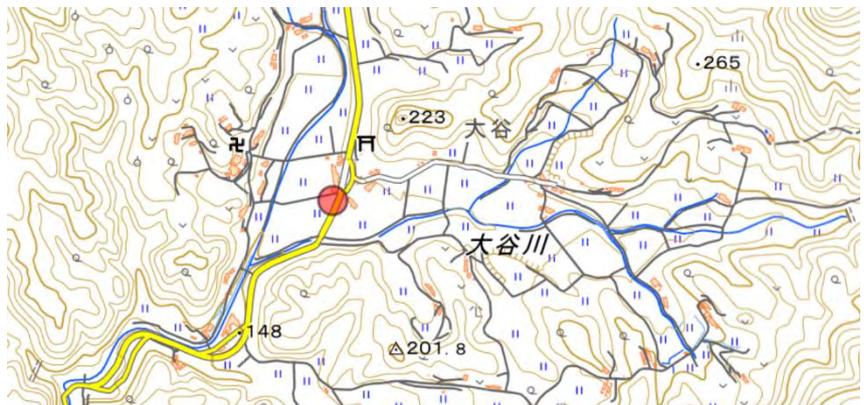
所在地 浜田市三隅町井野大谷 井野八幡宮下 神事場内

北緯34°47'43.78" / 東経132°02'28.34"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 井野八幡宮の下、県道303号沿いにある「神事場」の奥に立つ。台石は一番上に御影石の板を置きその下に2、3段石を組んでいる。碑石は斜め前の神社の方が正面になっている。碑石、台石ともに文字が何も彫っていない。
 石質は硬そうな黒っぽい自然石で艶がある。傷みもなく、苔も生えてない。



(単位：cm)

碑石 高さ137/幅76/奥行38
 台石 高さ87/幅116/奥行129

【浜田市165】 浜田市三隅町久根郷 報恩寺 梵字1文字

所在地 浜田市三隅町久根郷 報恩寺境内

北緯34° 47' 02.26" / 東経132° 01' 50.40"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】安政3年(1856)
【建立者】當村中
【碑石】梵字1文字(右に)安政三辰年(左に)二月大安日 當村中
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
報恩寺境内で最初に見たときは碑石が草で覆われていたため文字は見えなかったが、草を取り除いて現れた大きな梵字1文字は迫力があり、その下の蓮の花のレリーフもかなり大きなもの。台石はないがダイナミックな碑だ。浜田市No.135 弥栄町の碑と並んでユニークな碑の一つだ。
碑石は茶色の自然石で傷みはなく、白い苔が少しある。



(単位: cm)

碑石 高さ129/幅98/奥行30

【浜田市166】 浜田市三隅町井野下大口 山道沿い なし

所在地 浜田市三隅町井野下大口 山道沿い

北緯34° 46' 33.06" / 東経132° 02' 00.39"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
地元の方の紹介による。
現在の舗装道路沿いに地藏堂があり、その横の山道を少し上がったところに立っている。地藏堂が隣に立っていたが、下に降ろされたという。残ったこの碑は、直径170cmの円形の台石の上に乗っているが、少し後ろに傾いている。
碑石には文字が全く彫られていない。
石質は茶色っぽい自然石で、傷みもなく、苔も少ない。



(単位: cm)

碑石 高さ112/幅91/奥行20
台石 高さ50/幅170/奥行170

【浜田市167】 浜田市三隅町上大口 **泰雲院殿之墓**

所在地 浜田市三隅町上大口 道路辻

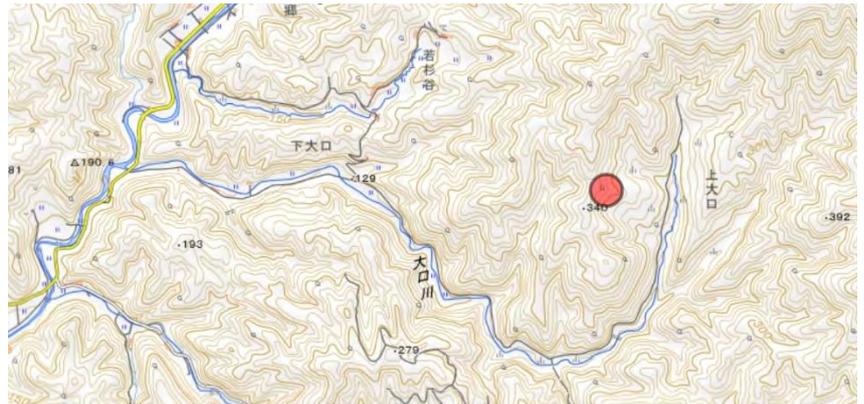
北緯34°46'31.17" / 東経132°02'41.06"



(調査日2021年11月28日)

【調査の経過】
上大口に現在人は住んでないが、以前住んでいて懐かしいという地元の方14人と一緒に下大口から山越えして訪ねた。所要時間1・5時間。碑の場所は上大口の外れで3方向に別れる道の辻。後ろにはかなり土が落ちてきていたものの、碑はきれいな状態で残っていた。碑石は白っぽい自然石で、傷みもなく苔もほぼ生えておらず、新しい碑のように見えた。

【建立年】明治36年(1903)
【建立者】上大口若連中
【碑石】泰雲院殿之墓(右に)明治三十六年五月一日 / 山根甚太郎(左に) 上大口 / 山根五郎 / 若連中
【そのほか】文字なし



(単位: cm)

碑石 高さ120/幅55/奥行32
台石 高さ75/幅258/奥行不明

【浜田市168】 浜田市三隅町井野上小原小山 **なし**

所在地 浜田市三隅町井野上小原小山 道路沿い高木

北緯34°45'43.44" / 東経132°02'36.68"



(調査日2021年9月21日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石】文字なし
【調査の経過】
地元の方の紹介による。舗装された道路の脇の雑木林の中にひっそりと立っている。道路から見える距離だが、以前はここに道があったのだろう。碑石に文字は全く彫られていない。
石質は白っぽい灰色の自然石で、傷みはないが、苔がかなり生えている。



(単位: cm)

碑石 高さ96/幅42/奥行39
台石 高さ23/幅66/奥行52

【浜田市169】浜田市三隅町黒沢的野 六地藏堂 (梵)泰雲院殿之碑

所在地 浜田市三隅町黒沢的野 六地藏堂内

北緯34°45'33.84" / 東経132°03'06.61"



(調査日2021年9月8日)

【建立年】昭和4年(1929)
 【建立者】不明
 【碑石】(梵)泰雲院殿之碑(右に)享保十八年五月廿七日歿(左に)昭和四年八月建立
 【調査の経過】
 黒沢的野の県道179号沿いに六地藏堂があり、その中央に井戸公碑が立つ。地蔵は左に3体、右に3体となる。この碑の前にだけ花立てと線香立て、賽銭箱(?)がある。お堂の中は最近の建物かと思うほどきれいだ。
 碑石は硬そうな灰色の自然石で傷みはなく、苔も生えてない。



(単位: cm)

碑石 高さ91/幅62/奥行44

【浜田市170】浜田市三隅町黒沢長尾 なし

所在地 浜田市三隅町黒沢長尾 道路沿い

北緯34°44'35.45" / 東経132°01'16.04"



(調査日2021年9月23日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。道路沿いの約2以上の斜面に立っている。この路線は現在工事中で、近いうちに通りやすくなると思われるが、現在は未舗装。碑は登りに向かって右カーブの内側の斜面の高い場所にある小さな地藏堂のその上にある。
 碑石には文字が何も彫られていない。
 石質は艶のある青みがかった灰色の自然石で、傷みは全くない。苔がわずかに生えている。



(単位: cm)

碑石 高さ104/幅46/奥行17

【浜田市171】浜田市三隅町黒沢下古和 出合橋近く なし

所在地 浜田市三隅町黒沢下古和 出合橋近く

北緯34°44'29.71" / 東経131°59'32.34"



(調査日2021年9月8日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。県道が48号と179号に分かれ、出合橋の東からは179号となる。179号になってすぐの南側の歩道の外、水路の向こう側にコンクリートで場所を造り、この碑がある。碑石には文字が何も彫っていないので情報が無いが、歩道に解説板が立っている(下欄に記載)。
 碑石は目の粗そうな茶色がかった自然石で傷みはなく、苔もほとんど生えてない。



(単位: cm)

碑石 高さ93/幅78/奥行25

【浜田市171】浜田市三隅町黒沢下古和 出合橋近く なし 続き (解説版)

芋代官 井戸平左衛門 頌徳碑

井戸平左衛門が、19代大森代官を命じられたのが享保16年(1731)60歳の時であった。その翌年の享保17年、西国でイナゴ、ウンカが大発生し稲が食い荒されて全滅、大飢饉となった。いわゆる「享保の大飢饉」である。この飢饉での餓死者は全国で十二万人にもなったと伝えられている。平左衛門はこの惨状を見て、幕府の許可なく代官所の米蔵を開放、また、領内の村々の年貢を減免し、その年の米の取米も、一部の村でゼロにするなどの対策もとり、領内村民の飢饉を救った。

もう一つ、飢饉対策として、九州からさつま芋の種芋を入手し、領内の村人に栽培を試みさせ、なんとか栽培に成功、石見地方での栽培が広く普及して米が不作でも飢えを凌ぐことが出来るようになったということである。

平左衛門は、享保18年(1733)病のため備中(岡山県)笠岡で亡くなったが、この彼の功績を讃える頌徳碑がその後各地で建てられ、島根県、鳥取県、広島県などで約500基にもものぼると言われている。この石碑には刻字がないため何時頃建てられたものかは不明だが、この付近では、黒沢的野と下河内に建っているのがみうけられる。

地区の人達は、この石碑を昔から「いも塚様」と呼び親しんでおり、今でも平左衛門の遺徳を忍び、その功績に感謝している。

2001.3月 黒沢5区 集落活性化事業

【浜田市172】 浜田市三隅町矢原 安楽寺参道法面 なし

所在地 浜田市三隅町矢原 安楽寺参道法面

北緯34°43'54.50" / 東経131°57'29.72"



(調査日2021年9月6日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 安楽寺の山門に入る手前の道路の東側斜面の、道路から約1・5坪の高さに立っている。少し離れた場所に地蔵もあってその間が平らになっているので、以前は道路が少しずれてついていたのかもしれない。碑石には何も文字は彫ってない。
 石質は少し目の粗そうな、茶色がかった灰色の自然石で、傷みはないようだが、白っぽい苔が生えている。



(単位：cm)

碑石 高さ132/幅40/奥行24
 台石 高さ35/幅108/奥行100

【浜田市173】 浜田市三隅町矢原 松永牧場裏 なし

所在地 浜田市三隅町矢原 松永牧場裏

北緯34°43'41.28" / 東経131°57'04.04"



(調査日2022年3月8日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。
 現松永牧場の北側に、以前常福寺という寺院があり（現在は岡見に移転）その境内入口付近に井戸公碑があるという古写真があるので、牧場の許可をいただいて、草が少ない時期に裏山に入らせていただいた。下は国土地理院の地図だが、まだ寺のマークが残っている。
 竹林の中を探して歩くと、ちょうど以前の寺の入口にあたる場所に、立派な台石と共に石碑が残っていた。
 石碑に傷みはないようだが、文字は何もなかった。



(単位：cm)

碑石 高さ142/幅46/奥行45
 台石 高さ83/幅180/奥行不明

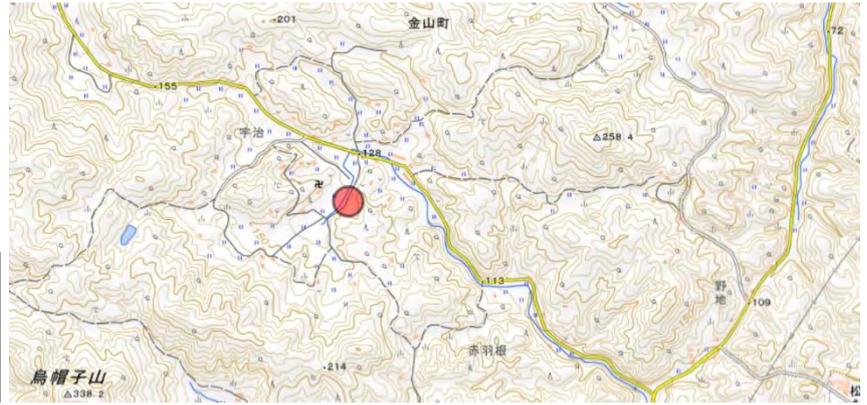
【益田市01】益田市金山町宇治 六地藏近く なし

所在地 益田市金山町宇治 六地藏近く

北緯34°44'18.67" / 東経131°54'33.79"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 竹や草に覆われていた場所を地元の皆さんがかなり広い範囲にわたって草刈りしてくださり、鮮やかに姿を現した。
 「昔から『芋塚さん』と親しんできたが、昭和58年の水害で倒れてしまった。碑は起こしたものの、そのときに台石と離れたのかも」と地元の方の話。かなり大きな碑石なので起こすのも大変だったと想像されるし、今回の草刈りも大変ありがたいことだった。
 碑石は目の粗い茶色っぽい自然石。白っぽい苔がいくらか生えている
 (調査日2020年9月17日)



(単位：cm)

碑石 高さ160/幅88/奥行55
 台石 高さ20/幅160/奥行77

【益田市02】益田市木部町釜口 旧山陰道鎌手峠 なし

所在地 益田市木部町釜口 旧山陰道鎌手峠

北緯34°44'22.80" / 東経131°52'56.36"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石・台石】文字なし
 【調査の経過】
 地元の方の紹介による。木部町釜口に旧山陰道の鎌手峠があり、そこに「芋塚様」の案内板が立っている。
 昔の人がこちらの山陰道を歩いて往來していた時代に、芋塚様としてこの碑に手を合わせたい人もいたことだろう。全体として三角形の形で安定しているようだ。碑石には文字は全く彫られていない。
 石質は目が粗めの灰色の自然石。傷みはないようだが、緑色の苔が少し生えている。
 (調査日2020年4月15日)



(単位：cm)

碑石 高さ115/幅77/奥行60